

知事
參事
奏任出仕

庶務本課
社寺取扱
地券取扱
測量方

文部省三等出仕
正五位田中不二磨殿

御省御用地上野山内本坊跡境界不分明之場所先達而双方官員立會測量候通改正繪圖出來候間御廻申候尤坪數七十壹坪三合七勺五才相増合計別紙之通ニ候間先般差進候坪數書付と御引替相成度此段申進候也。

明治六年十月五日

上野本坊跡

内一件野山同。

一、貳萬九千八百七坪四合五勺。

同所中堂跡

一、壹萬三千九百九拾三坪九合貳勺五才。

同所續原

一、四千七百八拾坪壹合貳勺貳才。

通計四萬八千五百八拾壹坪四合九勺七才。

——上野公園書類

八月十三日明治六年

○

文部省

上野山内其省用地ノ儀別紙圖面朱引并朱點ノ通二區ニ分ケ御渡相成候條東京府ヨリ請取往來道敷等不都合無之様同府協議ノ上取極メ間敷坪數等詳細取調繪圖面ヲ以可届出此旨相達候事。別紙

但在來教師館地所ノ儀ハ寺坊建家僧侶墓所等モ有之儀ニ付其省ヨリ寺院へ遂示談候上東京府へ打合更ニ申出候様可致候事。

東京府

上野山内元本坊跡中堂跡其外共別紙圖面朱引并朱點ノ通文部省用地トシテ御渡相成候條引渡可申尤往來道敷等不都合無之様同省協議ノ上取調可申且又右ノ外公園地ニ被定候場所經畫ノ儀追々見込相立大藏省へ相伺候様可致此旨相達候事。別紙

大藏省

別紙ノ通文部省東京府へ相達候旨可心得候事。

——太政官日誌

附記
上野教師館

〔附記〕 上野教師館

知事
參事
奏任出仕

庶務本課

帝都時代ノ遊園

五三七

文部省御中

上野山内大佛下教師館周圍無之不取締ニ付、周圍御取設相成度段御申越之趣致承知候、右は兼御談濟之通當府へ御引渡可相成場所ニ付、夫迄之處周圍御取設之義は差支無之候、乍併公園施設調行届次第不經數月渡方申進候義モ可有之候條其邊豫多御承知有之度、此段御答申進候也。

六年九月二日

上野大佛下外國教師館周圍無之甚不取締ニ付、別紙繪圖面之通竹ニ多周圍致度候間、可否至急御回答有之度、此段申進候也。

明治六年八月廿七日

東京府

文部省

知事
參事
奏任出仕

庶務本課
社寺取扱

文部省御中

上野大佛下教師館之義、兼多及御引合置候趣も有之候ニ付、右居館東四軒寺之内一字新築之御見込寛永寺へ御打合之處無差支旨申立候ニ付、不日御着手相成候段御掛合之趣致承知候、右は御示談濟ニ候へは、當府ニ於多差支無之候、然ル處兼多申出候墳墓建家等速ニ至當之御處置を受け上地致し度旨、即今尙又同寺方申出候ニ付、右は御省

方直ニ御示談可有之筈ニ付、御省へ願出候様申聞、書面下戻置候間、尙御取調濟表面御引渡之事ニ相運可申と存候、此段御答旁申進候也。

明治六年十月十五日

文部省御中

東京府

上野大佛下教師館之義、兼多御掛合之趣も有之候ニ付、右居館新築之場所取調候處、可然場所無之、不得止同山東四軒寺之内へ一字新築之見込、猶寛永寺へ打合候處、聊差支無之段申出候、依之右之場所へ不日着手可及候條、此段御心得迄及御掛合候也。

明治六年十月十四日

東京府御中

文部省

淺草寺境内
見世物立退
豫告

淺草寺境内
見世物立退
豫告

是月○明治六年(紀元)八月淺草寺境内○市内諸觀覽物等ニ一時立退ヲ豫告ス。

○番外布達。淺草公園諸願何。

淺草寺境内見世物立退豫告

番外七十三號

第五大區八小區

長

淺草寺境内ニ是迄諸見セ物楊弓場等差許置候處、右場所ハ公園地可相成取調ニ付、御確定之上ハ一時引拂申付候義可有之、其節差掛難澁不致様、兼多此旨可申聞置事。

明治六年八月

東京府知事 大久保一翁

帝都時代ノ遊園

番外布達○淺草公園諸願伺同。

知事

庶務本課

參事

奏任出仕

下駒込町森田六三郎外百八十六人之者共々淺草寺境内引拂之儀ニ付、別紙之通歎願書○今差出候處、先般御達相成候趣意は直様爲引拂候儀ニは無之、殊ニ御發令ノ上ナラテハ住居之成否は御沙汰難相成儀と存候、乍併到底引拂候事ニ覺悟不致候、差掛難澁之譯を以御達有之候儀ニ付、其邊心得違無之様申諭、書面下戻可申哉、此段相伺候也。
六年八月十七日
淺草公園諸願伺

〔附記、一〕 愛宕山石階馬上昇降

附記、一
愛宕山石階
馬上昇降

九月一日○明治六年、愛宕山正面數十級の石階を馬上にてやすくと昇降する人あり。御藏前町の人なり、元小金牧士の由にて、諸人俯眺して歎歎す、石井清三郎といふ。
續武江年表

〔附記、二〕 上野東照宮參詣

附記、二
上野東照宮
參詣

同○明治六年九月十六日より上野東照宮庶人參詣する事始る。府社に被仰出、黒門前へ奉納の大幕を立つ、山内提燈多く出る池の端へ下る坂出來し、此邊の市中には葵御紋のちやうちん多く掲ぐ、十六日晴、十七日雨。
續武江年表

芝公園境界
決定

十月五日○明治六年(紀)、芝公園地○市内ノ境界ヲ決定ス。芝公園書類。

芝公園境界
決定事蹟

芝公園境界決定 芝公園書類云フ、

東京府

芝増上寺境内公園地經界取定之儀ニ付、今五日午後三時半ヨリ當省官員差出候間、於其府も同時同所○官員可差出、此段相達候事。

大藏省事務總裁
參議 大隈重信

明治六年十月五日
第六千九十四號

東京府

府下芝増上寺○現脱カ舊内今般公園ニ可相定分界線爲測量、當寮官員明九日より出張致候條、其府官員立會とシテ場所出張可致、此段相達候事。

但雨天日送之事。
明治六年十月八日

租稅頭陸奥宗光代理
租稅權頭 松方正義

前書達ニ付、庶務本課より十二等出仕渡邊莊平、社寺取扱愛甲十五等出仕差出候事。

九日○明治六年(紀)、寬永寺○市内出願シテ大慈院境内○市内ニ假本堂ヲ建設セント請フ、十二月○明治六年(紀)、工事ニ著手ス。○上野山内一件。

寬永寺假本堂建設 寬永寺本堂ハ戊辰ノ役回祿シタル儘ナリシヲ、曩ニ徳川氏ヨリ交付シタル東照宮本地堂有ルヲ以テ、一時之ヲ移シテ假本堂ト爲ス。事上野山内一件ニ見ユ。

奉願上候覺

帝都時代ノ遊園

寬永寺假本
堂建設事蹟

寬永寺假本
堂建設

當山本堂之儀ハ去ル辰年五月事變之節燒失之儘ニモ、再建之企モ難行届、一山一同悲歎罷在候處、兼御届申上候通り、先般東照宮元本地堂徳川家ノ本堂建物之基ニ貫受申候就ル者、衆徒大慈院境内地之内、更ニ別紙繪圖面朱引之分千四百坪本堂地ニ御定被下置度奉願上候、左候得ハ右元本地堂如何様ニモ自他之丹精ヲ以、御沙汰御聞届被成下候様、此段奉願上候。以上。

明治六年十月九日

東叡山 永 寺

東京府知事大久保一翁殿

上野寛永寺義去ル戊辰五月兵火之節本堂燒失いたし、其儘ニ相成居候付、再建之義兼一山衆徒志願ニ候處、從前東照宮脇ニ有之候藥師堂一棟、今般徳川家ノ貫請候付、山内大慈院境内繪圖面朱引之場所ヘ引建直シ、假本堂ニ致度旨、別紙之通願出候處、場處ニ於テ差支無之候ニ付、願之通聞届可申と存候、一應右願書相添、此段相伺候也。

明治六年十月廿八日

東京府知事 大久保一翁

教部大輔穴戸璣殿

○朱書
伺之通。

明治六年十一月四日 園

知事

參事

奏任出仕

庶務本課
地券取扱
社寺取扱

上野寛永寺假本堂取建願出教部省へ御廻相成候處、朱書之通回答有之候付、左ノ附紙ヲ以相達可申哉、此段相伺候也。

明治六年十一月

書面願之趣聞届候事。

明治六年十一月十日

御届

當山東照宮元本地堂今七日ヨリ取崩取掛、本堂地ニ引移候間、此段御届ケ奉申上候。以上。

明治六年十二月七日

東叡山 永 寺

東京府知事大久保一翁殿

〔附記〕 三圍境內歌川國芳碑

先生諱國芳、號一勇齋、又號朝櫻樓主人、井草氏、稱孫三郎、江戸人、以寛政丁巳十一月十五日、生於銀街第一坊、文久辛酉三月五日沒於新和泉街、享年六十五、葬於淺草八軒街大仙寺、考柳屋吉右衛門、妣柏谷氏、先生幼而聰慧、僅七八歲、好見繪本、愛玩北尾重政所畫武者鞋二卷、同政美諸職畫鑑二卷、頓語畫人物、十二歲時畫鍾馗提劍圖、其狀貌猛壯、行筆秀勁、如老成者、當是之時、一陽齋歌川豐國所謂浮世繪師之巨擘、而名於時、嘗見此圖、大為歎賞、以爲不易得之才、稱揚特厚、先生遂爲之弟子、研究有年、先是豐國之門有國政、國長、國滿、國丸、國次、國直等數子、皆於給事、許稱歌川氏、受以偏名國字、於是歌川畫技傳播都鄙、豐國既

歿、數子前後相繼彫落殆盡。先生與國貞、濟美、濟名、若魯、靈光、巍然長存。其業雁行。國貞巧於閨房美人仕女婉淑之像。先生長於軍陣。名將勇士奮武之圖。雖嬰孩童無不知其聲價者。先生娶齋藤氏。生二女。長名鳥早世。次名吉配。田口其英。以為嗣。先生與梅屋鶴壽情交尤密。恰如兄弟。鶴壽贊成其業。四十年亦如一日。可謂真友矣。今茲癸酉。正當十三年忌辰。其門人及其英相謀為追薦會。以余與先生有舊。請製碣文。而墓石有限。不得繡縷。以余之所識。塞其責云。

明治六年癸酉十月

友人東條信耕撰

萩原疊書并篆額

宮龜年鐫

新撰東京名所圖會

上野公園施設請負出願

十一月○明治六年(紀元二五三三年)和泉町○市內神田區住榎本某上野公園○市內下谷區施設請負

ヲ出願シテ許容セラル、幾モナク之ヲ撤ス。○上野公園書類。

上野公園施設請負出願 上野公園出願ニ、

上野公園施設請負出願事蹟

知事

參事

奏任出仕

庶務課

地券取扱

社寺取扱

租稅權頭松方正義殿

府下和泉町地主商人榎本六兵衛儀、上野山內公園取設方一手引請被仰付度旨別紙之通

願出候處、右ハ可然被存候間、先般御打合濟公園規則ケ條ヲ以同人ニ相達シ、追々著手爲致可然哉、尤現場ニ臨ミ願人見込取捨致度儀も候ハ、其時ニ勘辨之上御談事可申と存候、差向御別意無之候ハ、前斷正院にも何方取計可申と存候、此段御打合申候、否御答有御座度候也。

以書付奉願上候。

上野山內此度公園遊觀場御開相成候趣承知仕候、自然右様相成候儀ニ候ハ、私一手ニ引請被仰付度、猶御沙汰次第見込申上候様可仕候、此段奉願上候。以上。

明治六丙年十一月

榎本六兵衛

東京府知事大久保一翁殿

上野山內公園取扱方之義ニ付、府下和泉町商人榎本六兵衛へ一手請負申付、猶現場ニ臨ミ同人見込致取捨其時々御談事可有之旨御打合之趣致承知候。右は最初方施設之方法入費之計算等無之ハ、何分難及詮議候間、右目論見帳并繪圖面相添、今一應御申越有之度、此段及御回答候也。

明治六年十二月二日

租稅權頭 松方正義

東京府知事大久保一翁殿

知事

參事

奏任出仕

庶務本課

帝都時代ノ遊園

五四五

内務卿木戸孝允殿

府下公園設置之儀、人物貞實にして身元相應之もの相撰相任可申存候處、榎本六兵衛義別紙之通願出、不都合之儀も不相見得且身代相應之もの會議所掛も相務候者に付、別紙調書へ多少取捨致、聞届可申存候、此段届いたし候也。

榎本六兵衛

上野公園取設方一手引請度旨、出願之趣聞届候條、施設方法ヶ條中尙實地ニ臨ミ取捨可相達、此旨可相心得候事。

二月

書面御下ヶ之儀願書

先般上野公園之儀ニ付願書差上置候處、猶熟考仕申上度次第モ御座候間、右出願一ト先御下ヶ被下置候様仕度奉存候、此段奉願上候。以上。

明治七戌年三月八日

榎本六兵衛

東京府知事大久保一翁殿

知事

庶務本課

參事

奏任出仕

内務卿木戸孝允殿

新和泉町榎本六兵衛儀、上野公園取設一手引受度段願出候ニ付、可聞届云々當三月庶第

四百拾貳號を以相伺置候處、今般別紙之通申出候間、右願書御下戻被下度候也。

四月十八日

○朱書 四月二十日知事公御持參之處、木戸卿出勤無之ため、中村大外史へ御談相成候由、以書付奉申上候

先般上野公園地之儀、私一手引請申度段願書差上候處、熟考仕申上度儀も有之候間、右書面一ト先御下ヶ奉願候、然ル處再三熟慮仕候得共、何分大業之儀ニ付見込難、相立候間、爾後右公園地之義は出願不仕候、此段御聞濟奉願候也。

明治七年戌四月十七日

第一大区十四小區
新和泉町五番地主
榎本六兵衛

東京府知事大久保一翁殿

上野山内公園御取設ニ付、私一手引請奉願上候處、先般御沙汰之次第も御座候間、概略見込之趣左ニ申上候。

一、公園取設心得方之儀は、都る先般御布達面ニ基候儀は勿論ニ御座候得とも實地ニ臨ミ施設之法、勘考仕候得は、自ら取捨可有之候間、右等は末ヶ條ニ奉申上候。

一、公園地境界之義は、別紙圖面之通文部省御用地を除之外、元四軒寺と唱候當時外國人居住之場所、および凌雲院境内を除、同院南本覺院地内より下寺通に掛新道切開き、下寺は坂本門迄一圓、西北は寒松院地内より東照宮境内に懸、一圓公園地と相定申度候。
一、公園之周圍は柵矢來を以る區別相立、適宜之場所に柵門相建番人附置可申候。

一、在來黒門并左右袴腰と唱候場所、堤上手入レいたし、西洋風石柱等之門摸造し、額或は傍示石の公園と歎遊觀場と歎書、兼る横文を用ひ記載可致候。

一、不忍池之儀は、公園中眺望第一場所候處、町屋地先之もの植溜又は建物等いたし、不體裁は勿論往々池中之不潔を生し候ニ付、夫是とも爲取拂候上、惡水混合不致様土手築直し、池之端仲町より新架橋修造仕度見込に候得とも、場廣之地ニ付、急速一定難仕、猶此一區は漸次見込可申上候。

一、凡公園之儀は清潔を専らニして、老幼婦女子ニ至迄安心ニ遊歩いたし候様ニ無之候るは、公園之主意不相立候間、遊觀之ものも市中ニ在て自ら野外を散步し候様之景況ニいたし度、就るは是迄山内ニ取建有之候葭簣張掛茶屋之類は一時取拂被仰付候様仕度、然る後改る適宜之地所のミ貸渡し候るは自儘之家作いたし、自然不體裁に相成可申哉ニ付、園中相當之修造いたし、業體相撰ミ候上、貸渡し可申候、且遊覽之もの持參は格別、園中ニる酒肉を賣候儀は相禁し申度候。

一、心得方御書取之内、公園中商業之もの爾後第五時を限り、渡世差許と御座候處、日之長短ニも寄候間、必五時と限り候るは自然不都合之儀も可有之歟、尤衆人月に歩し花ニ吟し、就中晩夏初秋之頃、樹陰ニ涼風を追ひ候義も可有之哉、隨る人望を失ひ、商業之損害も不少候間、黄昏を限り爲引拂候様仕度候。

一、園中商業之ものは、平常右之通差定候得とも、東照宮六月一日本祭、其他毎月十七日

小祭之日は參詣人多く、自然夜ニ入候るも二三時間之内は群集いたし候間、右祭日に限り時宜見計ひ爲引拂申度候。

一、園中茶店に於る時宜により書畫古器物等を始百般之物品一時展觀之ため、又は集會等ニ付日を期し候儀は、前條之限ニ無之様仕度候。

一、公園中に相成候寺院代地被下方、并引拂方之義は、其筋より被仰渡候様仕度、建物之義は坪數ニ隨ひ相當之手當可仕、且其場所ニおひて賣拂候ハ、相對を以る買請候様可仕候。

但し下寺通り之義は、別紙繪圖面掛紙之通町屋取建、右地代上り高を以る公園諸入費に相充申度心得ニ御座候。

一、公園中邏卒屯所を置狼藉を防、衆庶をして安心ニ遊歩爲致申度候。

一、公園内ニ住居可爲致取締人、并番人掃除人ともハ、園中之模様ニ應し適宜之場所の分離いたし候故、只今豫め難取極候間、右等は追る實地ニ臨ミ取調可申上候。

一、園中人道車馬道等は現場ニ臨ミ不申候るは地割見込難相立、追る適宜ニ取設け繪圖面を以る可申上候。

一、園中規則之儀、落成之上歐米各國之風ニ習ひ門側に揭示いたし申度候。

右之通概略見込之趣申上候得とも、猶實地ニ臨施設之際に至候ハ、取捨増補之廉數多可有之候間、右等は追々取調可奉請御差圖候、尤も一手引請被仰付候上は、公園周圍柵矢來は勿論、荆棘竹叢刈拂より新道切開其他總る公園に係り候諸入費一手出金仕、官費を

仰ぎ中間敷候、尤も總體場廣之義ニ付、其時々模様ニ隨ひ漸々取開候場も可有御座候間、現今入費積り算計難相立、且豫め落成之月日等を期し候儀は御用捨可被成下候、猶此外御尋之廉も御座候ハ、追々申上候様可仕候以上。

明治七年第二月

十二月十九日○明治六年(紀元二五三三年) 明治天皇眞崎松平慶永邸○武藏國北豐島郡ニ幸ス。

○明治天皇みゆきの跡。

眞崎松平慶永邸行幸 明治天皇みゆきの跡所收眞崎御邸行幸記を引ク。

未(眞崎御邸行幸記御世譜局)

明治六年十二月十九日金曜

行幸記

本日午前第八字宮内省ヨリ左之通申來。

今十九日午前第九字御出門、兩國橋ヨリ御乗船ニテ隅田川橋場邊ニ行幸被仰出候ニ付、右爲御小休、其御邸に臨御被爲在候、此段申入候也。

六年二月十九日

宮内卿 徳大寺實則

正二位松平慶永殿

右ニ付御請左之通。

眞崎松平慶永邸行幸

眞崎松平慶永邸行幸事蹟

今十九日午前第九字御出門隅田川橋場邊ニ行幸ニ付、右爲御小休慶永邸に臨御被爲在候旨被仰下、謹畏奉リ候也。

六年十二月十九日

正二位 松平慶永

宮内卿徳大寺殿

堤宮内少丞參邸、諸事注意指揮ヲ爲セリ。

午前第九字ヨリ内匠課内膳課、或雜掌又仕人直丁等御先着之輩參ス。

第十字兩國橋御乗船ノ注進アリ。

伊達卿○宗池田卿龜井卿○監等參邸ス。

第十一字春風丸着御、太政大臣公○三條實美別莊臨御、茶菓獻呈ノヨシ、御供廻ノ仕人注進アリ。

慶永○松平茂昭○松平一般之小禮服、御波戸場ニ奉出迎、太政大臣公別莊横ノ御波戸場に御着船御歩、慶永御左、茂昭ハ御右御先導、此日御波戸場ヨリ邸内迄御歩ノ爲砂路ヲ設ケ、

邸内ヨリ臨幸、翠深紅遠之門ニ玉座ヲ設ク、着御慶永謁見、勅語アリ、次茂昭謁見、次常子爲子及信次郎謁見、献上如左。

大杉折一重生菓子蜜柑一籠。大活鯉五喉同持入。

宮内卿披露、此時慶永モ侍セリ、勅語アリ。次ニ玉食被爲在、内膳課ニ頼ミ鴨御吸物、鯉洗身、小鳥燒等献上、宮内卿侍從等モ菓子ブドウ酒、杉折辨當ナリ等差出ス。雜掌仕人直丁其外海軍士官東府官員等モ茶菓子及杉折ブドウ酒シャンパンビール等差出ス。

帝都時代ノ遊園

皇上物見の臨御、隅田川景等天覽、慶永出天前、第一字三十分御供廻、慶永に勅語アリ、御歩、慶永茂昭御前導如前、御波戸場春風丸乘御伊達從二位宗邸臨幸被爲在、第五字還幸。

慶永宗城二人ハ爲御禮馬車ニテ參朝ス。宮内卿ヨリ左之通演達。

今日臨幸品々獻上等御満足被思召候、只今御入浴御對面可被爲在之處其儀無之、此段宜申聞候様ニトノ勅語之由被傳申候。

兩人退出セリ。

雜記

今日之臨幸ハ家從始女中向モ一同門前ニテ拜觀ス、其外百姓町人モ拜見スル者多シ。邸内並御波戸場見分トシテ十六日午後第一字前香川宮内少丞相越ス、御用場ハ前日内匠課ヨリ參リ拵ヘ致ス、宗城伊慶永平之邸ヘ臨御アリシ根元ハ先ツ山内龜邸ニ臨幸アリ、此日ハ越中島操練天覽ナリ、且先々月二十六日頃溜池黒田邸ヘ鴨鷹ニテ合ハセ候ヲ天覽ノ爲行幸被爲在、差支之儀有テ御延引、山内邸ノ行幸ハ容堂内山在世之時被爲在、在筈之處不快タルニヨリ其事止ヌ、故ニ彼公之遺志ヲ思召テノ行幸ノヨシ、黒田邸ニ行幸ハ御慰トハ乍申、御一新前後ヨリ格別盡力其功アル松平伊達等ヘ行幸被爲在、可然旨於越中島岩倉公ノ論說確乎トシテ動カサリシト、是ヨリ行幸ニナリシト云。黒田ヘハ二十六日行幸ナリト云。

古今著聞集に、院の御隨身泰の頼方都鳥を或る殿上人に參らせたるを、成季にあつけら

れて侍り、食物なども知らて萬の蟲を喰はせ侍るも所せくおほえて、小田原美作義平か許にやりて飼候方侍りしを、建長六年十二月廿日前相國の富小路の亭に行幸ありし次日、相國都鳥をめして叡覽に備えける。おとゝ女房にかわりて、すみ田川すむとしきゝし都鳥けふは雲井の上にみるかな、前三河守ト部兼直もおなしく和歌を奉る、にこりなき御代にあひみる隅田川住ける鳥の名を尋ねつゝ。

こは誠に面白くもありと兼てより思ひしが、時世の替る事とはいひながら、建長六年十二月四日相國の亭に行幸したまひ、ことしも年の名こそかわれ、明治六年にして陰陽の曆の違ひはあれと同じ十二月なり、日は一日の違ひにして、此草の庵に行幸し玉ふ、建長の世には都鳥を叡覽あらせられ、こたびは隅田川の氣色を天覽あらせられたり、おのが物見に臨御し給ひて、あれこれと叡覽あらせられ、慶永侍り奉りて奏聞しけるは、このわたりは臣在原業平が都鳥の歌を讀たる名所はこゝらわたりなり、天皇もはしめて此景色のこよなきを叡覽あらせられ、みことこのりありしなり。
にこりなき御代にあひおふ隅田川けふの行幸のかしこかりけりと心にうかみたりしをしるすものは慶永なり。

右一件御世譜之内に記載すへき旨にて老公様より御廻しに相成、寫、松平康莊候ヨリ借用寫)

(明治六年十二月十九日主上御幸御入用記會計方)

記

一、金五百拾七兩貳步三朱銀貳匁五分五厘

内

- 貳兩貳步貳朱
 - 貳兩三歩
 - 壹歩
 - 壹歩三朱
 - 壹歩貳朱
 - 壹歩三朱三匁七分
 - 三拾七兩貳歩
 - 壹兩三歩貳朱
 - 拾壹兩貳歩
 - 六兩貳歩
 - 六兩三歩
 - 八兩貳歩
 - 壹朱
 - 四兩壹歩
- みかん三箱。
 - ふとふ酒壹樽。
 - 石灰壹俵。
 - 土瓶七ツ。
 - 茶碗三十。
 - 水引貳百把。
 - テレンフ椅子六脚。
 - 火鉢一尺四寸貳枚損料。
 - ふとふ酒。
 - ヒイル酒貳拾四本。
 - サンハン酒九本。
 - コツフ拾貳。
 - マチ壹把。
 - クツヌキ壹ツ。

- 四兩三歩
 - 六兩貳歩
 - 貳兩三歩
 - 貳兩壹歩
 - 貳兩貳歩
 - 六兩
 - 四兩貳歩
 - 三歩
 - 三兩
 - 貳兩貳歩
 - 壹兩壹歩
 - 壹兩
 - 拾四兩三歩
 - 四拾五兩壹歩三朱銀五匁五分
- タハコサシ壹ツ。
 - 銅亂壹ツ。
 - クツヌグイ貳枚。
 - 同 壹枚。
 - 同 壹枚。
 - カスワンテイフル掛壹枚。
 - シウタン縫手間代。
 - 菓子器壹ツ。
 - 御手桶壹荷。
 - 小同 壹荷。
 - 御手水桶壹ツ。
 - 洗桶壹ツ。
 - 岡持桶壹ツ。
- 内
- 參拾五兩
 - 貳兩壹歩三匁

帝都時代ノ遊園

御臺階上々々
御干菓子品々々
御蒸菓子品々々
御臺附壹ツ
極上みかん百入

三兩三步
四兩貳朱貳匁五分
壹步壹朱

上蒸菓子五ッ宛十五人
御蒸菓子五ッ宛廿人
粕ていら壹かま。

拾六兩貳步貳朱

内

三步貳朱
壹兩三步貳朱

丸形タアフル壹脚。

貳步貳朱

南京椅子拾脚。

壹兩三步

雲テノ包壹脚。

六兩

同大横物貳脚。

五兩貳步

軍配形四脚。

右者御借入相成申候損料如此。

六拾五兩三步壹匁五分

此銀三貫八百八拾六匁五分

五百八拾五匁

貳百四拾匁

大極上四分板六十枚。
松六分板三十枚。

八拾四匁
七拾貳匁
六拾六匁
拾參匁五分
三拾五匁
四拾匁
四拾五匁
百四拾匁
百六拾匁
三十五匁
五拾匁
六拾八匁
拾五匁
四百拾三匁
拾八匁
七拾匁
八百四十匁

杉四分板四本。
中貫八丁。
松貳間貳寸角六本。
松引物壹丁。
竿縁五本。
大貫四丁。
壹間捶拾本。
杉五寸角四本。
同三寸丸太八本。
同八寸角拾本。
白竹貳拾本。
杉皮三束。
桶壹本。
釘類品々。
太繩三束。
むしろ十枚。
大工貳拾八人手間。

四百三拾貳匁
貳百三拾匁
三拾五匁
參拾匁

嵩貳拾四人。
澁屋拾人。手間。
あく洗階色代。
シヨゴ壹ツ。

右御不淨所壹ヶ所新規出來、御天井張替、戸袋損繕張替共如此。
六兩貳步壹朱銀貳匁貳分五厘。此銀三百九拾七匁。
右御殿御門内壁中塗ヨリ、大津上塗迄、並ニ壁木舞ヨリ、荒壁裏返シ、下付中塗上塗左官手間、土練手傳諸色共如此。
壹兩壹朱三匁八分五厘。
此銀六拾七匁六分。

内
貳拾五匁
拾貳匁
貳拾七匁
三匁六分
七兩貳步銀壹匁七分
九尺貳間立壹枚。
開キ戸壹本。
九尺四本立壹口。
釘タシ引手壹ツ。

此銀四百五拾壹匁七分

内
貳百八拾五匁
拾貳匁
貳拾六匁五分
九匁六分
三拾六匁八分
拾四匁
六拾匁
五匁貳分
杉柁目開戸貳枚。
貫キ返シ三丁。
大引坪貳組打カネ壹口。
鐵縁壹枚分。
雪隠戸壹枚。
小障子貳枚。
手間貳人分。
鐵ヒネリサル壹組。

右御襖建具共新規御出來代如此。

五兩貳步三朱銀七分五厘
此銀三百四拾貳匁
此手間拾九人
右者御進獻物持人、並御道具持運共被召遣候手間代。
六拾兩銀壹匁五分九厘

内

貳步

壹步三朱
三百拾五文

九兩

內

別段 四兩

別段 貳兩

別段 壹兩

貳兩貳步

壹兩壹步

三步五百文

壹兩三步

壹兩

三步

壹兩壹步壹朱

壹貫百文

三步三朱

土瓶四ツ。
檜柄杓三本。
同水灑一本。

有明樓たか始中居共四人。

右四人。

料理番四人。

右四人。

初村治兵衛座敷御借受御挨拶。

柙屋文右衛門同斷御借受。

右同斷茶炭之外共同所番附之者。

大祝茶半斤。

桃の色茶半斤。

雲香茶壹斤。

棒砂糖貳本。

烏羽玉菓子拾貳。

眞鍮火最〇新〆規出來代。

壹朱三百三拾四文

壹步

三朱四百文

三朱四百文

拾兩貳步

貳兩貳朱

三朱貳百九文

壹朱三百文

壹兩壹步三朱
四百五拾文

九拾八貫五百文

貳兩百文

拾壹兩三朱
三百六拾四文

貳步貳朱四百拾七文

壹兩三朱

右者内譯之通諸御入用如此。

七拾五兩壹步三朱銀九分七厘

內

同環附誤直シ。

御掛物切詰代。

堤五郎人力車代。

天谷五郎七外同斷。

鯉五本御進獻御用。

鯉貳本御用意被下。

土びん鈎五ツ。

御進獻御品稻荷堀迄小遣人力車代。

生花代

酒五斗貳升五合。

鯉節八箱。

被下煮肴六十人前之外共御入用。

切炭八箱。

中白米壹斗四升貳合半。

五拾兩貳步
 九兩三步壹朱
 六兩
 壹兩
 三步
 貳兩壹步壹朱壹匁貳分五
 三步
 壹兩三步
 壹朱銀貳分五厘
 貳朱銀三匁
 壹步三朱
 壹兩貳朱
 貳步壹朱貳匁貳分五厘
 壹朱三百七拾五文
 右者御庭御垣根御掃除共悉皆御入用。
 九拾三兩貳步三朱
 此銀五貫六百貳拾壹匁貳分五厘
 手間百壹人。
 竹三十七束建仁寺垣長サ貳拾間出來御入用。
 竹割切人足拾貳人。
 同持込車力賃錢。
 要垣根押縁小物竹代共。
 皮附杭丸太四本。
 黒竹穂四束代。
 染棕梶繩七拾把。
 針銅代。
 中五寸釘三把。
 夕、キ種。
 砂。
 杉丸太杭木五本。
 木舞繩五十把。

内

三百匁
 貳貫貳拾五匁
 壹貫五百文
 九百匁
 百六匁
 貳拾貳匁五分
 拾八匁七分五厘
 三百六拾匁
 三百九拾匁
 右者書面之通有明樓書附之者如此。
 三兩壹步壹朱銀貳匁五分
 此銀百九拾七匁五分
 内
 百匁
 壹兩貳步貳朱
 生鯉鴨三羽。
 小鳥十把。
 上折貳重詰拾五。
 碗盛さしみ附。
 中折貳重詰。
 御碗盛附。
 下折三十。
 さしみ鉢肴。
 茶碗共六人前。
 折詰三ツ。
 同 五ツ。
 吸物口取さしみ。
 煮肴汁中八人前。
 吸物さしみ。
 鉢肴三拾人前。

御敷膳拾枚。
 うなきかき
 雇賃舟代共。

右者眞崎御邸に主上御幸被爲、在候節、書面之通御入費如此御座候也。

會 計 方

朱松平康莊侯ヨリ借用寫。

明治天皇みゆきのあと附記

附記、一、
招魂社馬
場模様替

〔附記、一〕 招魂社馬場模様替

十二月廿日○明治六年

〔達書〕

東 京 府

府下第三大區四小區招魂社境内競馬場模様替ニ付、別紙圖面之通同所往來地七拾壹坪境内へ圍込、并屋敷地百拾坪返附致度、陸軍省伺之趣聞届候條、此旨相達候事。前紙圖面略之。

大 藏 省

府下第三大區四小區招魂社境内競馬場模様替ニ付、別紙圖面之通同所往來地七拾壹坪境内へ圍込、并屋敷地百拾坪返附致度、陸軍省伺之趣聞届候段、東京府へ相達候條、此旨可相心得事。同上。

太政官日誌○記事類纂同。

附記、二、
銀座車馬
道落成

〔附記、二〕 銀座車馬道落成

〔第拾貳號〕

番外百五十一

府下京橋ヨリ新橋迄新築馬車道落成ニ付、來明治七年一月五日ヨリ諸車通行相關候事。

右之通土木寮建築局ヨリ達越候間、市在區々無洩可觸知者也。

明治六年十二月廿八日

東京府知事 大久保一翁

〔第拾七號〕

番外二十七

市在區々 戶 長

今般京橋ヨリ新橋迄通路修築成功相成、中央ハ車馬道左右ハ人道ト區別相立候ニ付、自今錯雜無之様、屹度可相心得事。

右之趣市在區々無洩可相達者也。

明治七年二月二日 東京府知事 大久保一翁

〔第拾九號〕

番外四十三

區 長 戶 長

京橋ヨリ日本橋迄、新橋ヨリ源助橋迄、車馬道路假修築相成、中央兩側一條之緣石ヲ据、區別相立候ニ付、其左右諸人通行致シ、互ニ錯雜無之様可致、車馬ハ街衢廣狹之別ナク、帝都時代ノ遊園

一般中央ヲ通行可致儀ト可相心得事。

明治七年二月廿七日

東京府知事

大久保一翁

法令類纂

明治七年二月二日

二月二日京橋ヨリ新橋迄道路修築竣功中央ヲ車馬道左右ヲ通路ト爲ス櫻楓ヲ植へ其區ヲ分ツ。

明治七年二月廿七日

二十七日京橋ヨリ日本橋迄新橋ヨリ源助橋迄道路假修築成就シ區域ヲ分ツテ中央兩側一條ノ縁石ヲ据中央ヲ馬車左右ヲ人道ト爲ス。東京府史提要

七年○明治○紀元一月一日芝○市内増上寺火有リ本堂焼失ス。○火災宗教

兩篇参照。

増上寺火
蹟増上寺火事

増上寺火 火災宗教兩篇ヲ見ヨ。

増上寺○中前門ノ内ニ山門アリ其内ニ本堂アリシニ明治六年二月大教院ト爲リ其十

二月災ニ罹リ後復造營セズ。

東京府誌

卅一日○明治六夜増上寺本堂炎上鐘樓も焼亡す山内は恙なし。眞土竊に放火す所なりミい

りてより間もあらずして富山にもかゝる大夏 増上寺○中本堂東向横二十間縦三十五間○中明治六年惡漢の爲に火せられ本堂ハ灰

續武江年表

燼に委す山門其他鬼峩として今猶存す。

東京名所鑑

〔参考〕

本朝に所有伽藍造立の規則もと梵土の餘風たりといへともみな震且の寺院を模移せずといふ事なし。然に時世沿革ありて道則又異あり、債伽藍經營を勘考するに、元興法隆大安西大招提興福東大廣隆等をはじめ鑑眞道慈義淵良辨開建は陳隋の制度にもとづき叡山東寺高野園城等の如き傳教弘法慈覺智證等の創立ハ唐代の謨範をうつし建仁東福より五山十刹大德妙心鎌倉五山永平惣持等に至るまで千光聖一圓成宗燈大覺祖元道元懷辨等の所立ハ宋朝の清規をうつし黃檗永源瑞聖佛國等の隱元圓應木庵心悅等の造れるハ明國の制に憑據す。此際に造立せる寺院數萬みなかれこれに准據し宗わかち法ことなりといへども會儀悉く同じからざるハなし。我淨家の伽藍大に是に異なり四箇八ヶの本山各表示ありて外國の風姿によらず。今且く當山の如き高樓雲に聳え丹青相煥たるものハ東照宮淨家を顯揚し蓮門を扶起し弘願の一法を萬歳に巍然たらしめ給へりしとき國師不殘の二師に地を點檢せしめ青山忠成をして土木の功を成ぜしめ給へり故に不日にして七堂の全備三寶の蓮社落成をとなへ都鄙の壯觀となれり實に九品上界の道場八家十宗の冠刹なり。其時國師上足の廓山了的に命して圓山の陰に堂を建門戶院宇の制を禪台の他宗にとらしめばやとせられし時廓山ひとり議して云凡そ法林禪刹八家九宗の蘭若は此土の得道を本

として龍會の曉天をまつ、娑婆を寂光の淨土に即して、自身を本有の如來と觀す然ハ除暗遍照の爲に開く所にして、出離厭欣の宗風と遙にことなり、故に境地の秀雅を愛重し、山林の勝景に衆をあつむ、かの豊嶺の霜餘長樂の花外に心うつりて、他の嘉尚を盛とし、詩歌文章の良媒をたのしむ、般舟白蓮の遺珍豈是と等ふせんや、今國家我宗を中興とし、大師の遠徳を仰き給ひて此靈境を賜へり、かまへて他評先蹤に本意を失ふへからず、大相公の寶算を無量壽に奉祝し、松氏の先靈後葉の神儀をして清泰七妙の國に遊はしめ奉るべし、又遠近の老少歩を金容にはこびて現當をいのらしめん爲にハ門をいる事遠からずして壽尊を安置すべし、道遠けれハ至らんとするも是をたち、老年の男女結縁にたよりなし、又迷夢を攪し愚卷を撃にハ洪鐘を新鑄すべし、京師花頂黒谷等の本堂南面は是一宗に本山とし、高祖の眞影を本尊に仰か故なり、今金城東面なり、當山金城の恩渥によれり、佛法東漸にかたとり、西土欣慕のたよりとして萬年未代祝禱同しかるへしと議諫ありしかバ、つゝに本堂を境地の正中に經營し、三門を九谷の半ばにひらき、輪藏祖堂神廟鐘閣左右に並列し、子院祭社南北に連續せり、されば當山の伽藍ハ西夏によらず、他宗にもとづかずして武城に卓舉し、赫々たる遺風萬邦當山開建のち諸國に寺院建立あるはみな範を當山にせり及ハしむる事、陰陽不測の嘉瑞にして、ひとへに廓山の遺芳によるものなり、もし堂を作るに範を他宗にとりなバ、既に岡高くうしろにつゞき、林茂く前後につらなり、水流れ谷清し、氣象登臨釋仙の窟宅とし、眞人の留履すべき

所多し、廓山是をしらずして議述すべきや、若又さとらずといはゞ、何ぞ宗徒の草木風をのそみて威制をうけ、四方の雨笠徳を仰ぎて會下に雲集せんや。

本堂 東向箱棟、金御紋、表裏五ツ宛、左右二ツ、四方欄干、三方上り段、向牌金御紋、唐破風、彫物龍首象鼻。

桁行二十間、五尺三寸、梁間十六間、五尺五寸、但四方之板縁除、平闕外、東方縁頗長二十三間、横二間、半外陣、平闕内、南北十八間、東西四間、半、左右御所間、南北四間、半、東西六間、外陣、天井四間、半、○内陣、南北八間、東西六間、○須彌高一間、○總柱數六拾六本、○疊數合七百三拾貳疊、半、○向拜寛々録ニハ八間に三間、又八間、貳尺八分、三間、貳尺五寸、同書ニ云、地より瓦の上まで十九間。

△幡 内陣廿二流、外陣三十六流、御所間南北二十二。

△花曼 内陣廿六、外陣十七。御所間南北二十二。

△人天蓋 外陣。 本尊阿彌陀如來 山記云、元和二辰年、伊勢國桑名城、城主本多美濃守忠政朝臣寄附。 座像惠心僧都作、御長四尺。

寺記云、此本尊もと伊勢國八田にありしと云、又靈空和上ハ惠心僧都刻して大安寺に納る所の像なりと云。

△佛天蓋 安永三年十一月會下之大衆より寄附、典譽大僧正代。

△四柱寶幢 須彌楹上に安置。

△二祖 左光明大師、右圓光大師。 何れも厨子入。

△三牌 左南方火德星君、火都星衆、中今上皇命、聖壽萬安、右大檀那本命元辰、吉凶星斗。

傳廊の餘 本堂右の方拾間、往古衆寮への道。

帝都時代ノ遊園

△五具足 龜鶴鐺。

△尊牌 上野御入棺阿らせられし尊靈方也、御年回の節御法事本堂にて奉修。

△後門の畫 釋迦世尊觀女成佛の所を畫す。

廻廊の跡又衆寮とも云。桁行三十間梁間三間、外に一間通庇。

三縁山志

上野新黒門
等解放

三月八日 元○明治七年(紀)。上野新黒門下寺通及不浄門 内○共ニ市ノ通行禁

示ヲ解ク。○上野公園書類。

上野新黒門
等解放事蹟

上野新黒門等解放 新黒門ハ戊辰五月不浄門ハ辛未下寺通ハ壬申以來各通行ヲ禁止シタルモノ、七年三月同時ニ解禁セラル。

知事
参事
奏任出仕

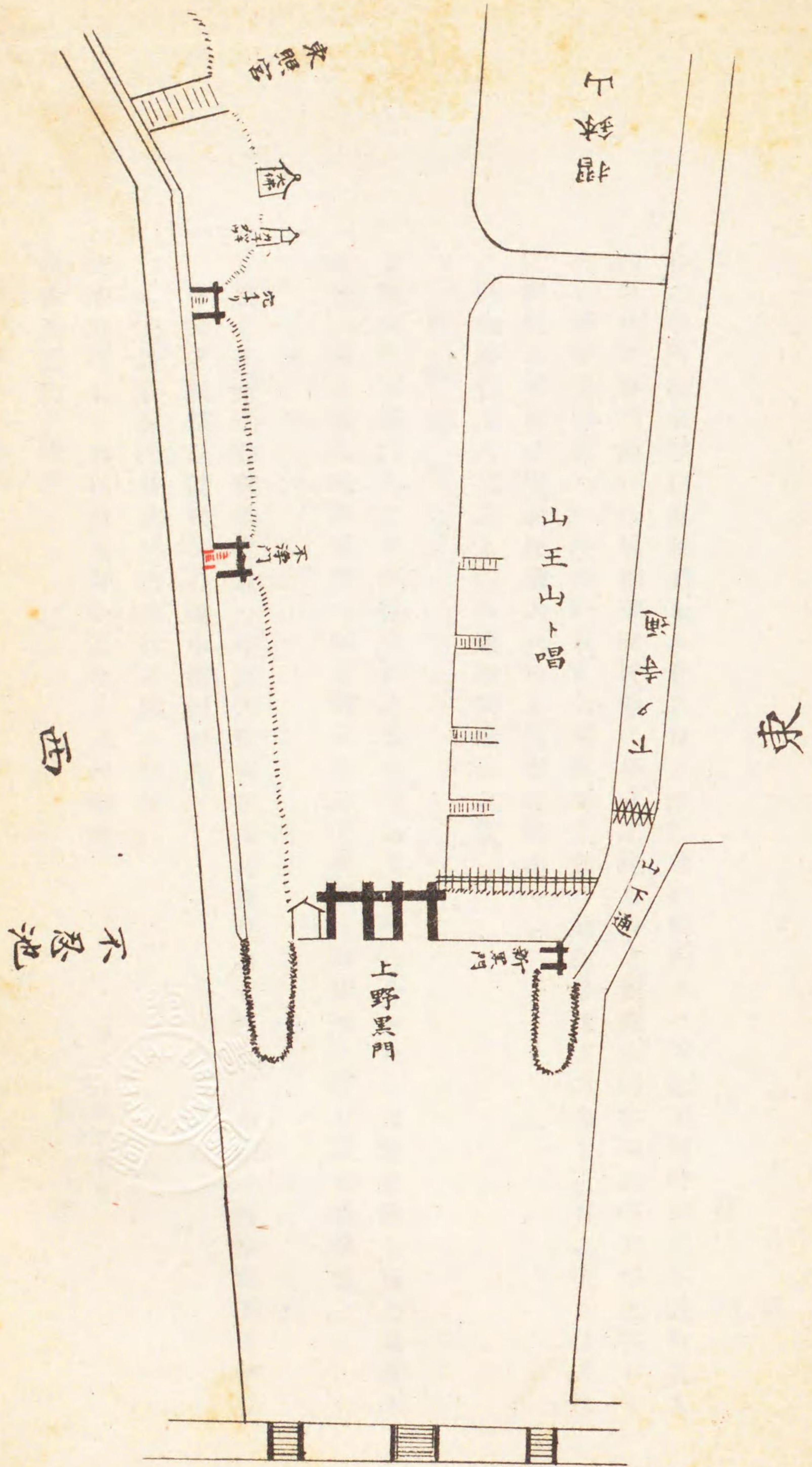
庶務本課
營繕取扱
社寺取扱

上野新黒門外二ヶ所年來往來留之處、大破ニおよひ自然違式律ヲ犯シ候もの不少候處、通行御差許ニも相成候ハ、不忍天龍町料理渡世之もの申合、不浄門前へ架橋之義申立候趣戸長ヨリ申出候。右ハ去月中警視廳方も掛合有之候節、公園調中ニ付暫時見通吳候様直談ニ及候處、廿日間位之事ハ不苦哉之旨答も有之候處、爾後廿日餘ニも相成、且追々花見之節ニ相向ヒ候得とも、公園着手之儀者差向目的無之、其内下寺通之儀ハ既ニ開路之都合、不浄門之儀ハ願意御聞届、三ヶ所とも通行御差許ニテ可然哉、達書并警視廳へ掛合案添相伺候也。

三月八日

第五大區拾小區

長



上野山内
新 黒 門
下 夕 寺 通
不 淨 門

右之場所往來差止置候處、來ル廿六日方通行差許候、依テハ不忍天龍町料理屋渡世之申合、不淨門前へ小橋補理度旨、兼テ申立之趣も有之候處、右門并通路等有形之儘ニシテ小橋架渡候義ハ一時差許候、尤公園修築之節ハ通路等改正之義も可有之哉ニ付、夫迄之假橋と可相心得、此旨願人共にも可相達候事、但、取拂竹木人足之ものへ渡遣候儀伺之通。

警、視廳御中

上野山内不淨門外二ヶ所往來止之儀ニ付、去月中御打合ニおよひ置候儀も有之候處、來ル廿六日方通行差許候筈ニ候、右御承知之上其筋へ御達有之度、此段申進候也。

三月

追テ不淨門前架橋之義ハ、不忍天龍町料理屋渡世之ものとも出願ニ付、補理差許候義ニ有之候條、此段爲御心得申進置候也。

上野新黒門外貳ヶ所通行之儀ニ付伺

此新黒門七ヶ年以前五月十五日方切相成、
今般御開門奉願度。

第五大區拾小區
上野山内 新 黒 門

帝都時代ノ遊園

五七一

文部御省持三ヶ年以前申年八月中竹矢來ニ
テ往還通行止相成、今般竹矢來御取拂奉願度。
大學東校御持四ヶ年以前未年六月中メ切相
成、今般御開門奉願度。

同 下 夕 寺 通
同 不 淨 門

右三ヶ所共御府附ニ御座候處、頭書之通相成年立、大破之場所方往來人潛伏通行致候も
の有之、右は違式律ニ悖戾ニ就るは、前書三ヶ所とも通行相成候ハ、爲非常旁辨利可然
旨、當小區久山少警部申聞候折柄、幸土地爲繁榮、不忍天龍町里俗辨天境料理茶屋渡世之も
の一同申合出銀致不淨門前小橋新規補理相掛ケ申度旨申出、相糺候處出銀ニ付紛敷義
も無之候間、自今右三ヶ所往來通行相成候上、前書小橋相掛リ候様仕度、別紙繪圖相添
此段奉願候也。

但、竹矢來竹木之分殊之外相齧居候間、右竹木所片付人足ニ爲御手當御渡被下置間敷
哉、奉伺候。

明治七年三月

右區戶長
池 田 端 幸

安三十八號

第五大區小十區上野山内往來止之義ニ付、同大區少警視より別紙之通申出候條書類相
廻候、可然御取計有之度、此段申入候也。

明治七年二月廿二日

警 視 廳

東京府御中

當大區元小十ノ區上野山内往來留三ヶ所之義ハ、別紙書載之通ニテ何レモ三ヶ年以前
ヨリ施行相成來候處、其竹矢來等大破損第一揭示札ニ於ケル至小ニテ眞ノ往來留トモ
難相見、窃ニ通行候者多分有之、乃チ違式ヲ以テ之ヲ制スルニ至リテハ、憫然之次第ニ付、
是迄之如ク往來難爲致場所ニ候得ハ、竹矢來或ハ欄柵等之修覆揭示札共相當之設置有
之候乎、又ハ人民之便宜ヲ以テ取除相成候乎、何レニテモ其一ニ相成候様致シ度、同區戶
長其筋へ可差出書面之寫シ、同區詰警部差出候ニ付、則相添、此段申上候間、至急其筋へ御
掛合有之度候也。

明治七年二月十九日

第五大區詰
綿貫 少 警 視

上野公園書類

〔附記〕 上野公園事件取扱方

知事
參事
奏任出仕

庶務 本 課
社 寺 取 扱

上野山内公園地取扱方之儀、戶長方別紙之通伺出之處、外公園地淺草芝之振合も有之
候得ハ、彼是照合取調中ニハ候得共、上野之儀ハ最早遊觀之時節差急候儀ニ付、先ツ下
紙之通御指令相成可然哉、相伺候也。

三月二十日

帝都時代ノ遊園

附記
上野公園
事件取扱
方

第五大區拾小區上野山内公園可相成場所當區に御預ケ相成候ニ付左之廉

一、東照宮境内違變其他事替り候儀者、祠官掌方御訴申上、町用掛り加印候儀と相心得可申哉。

一、右祠官掌方伺願等差出候節、御預り場所ニ關係候儀者打合、戸長加印致候様、御達御座候様仕度候。

○下紙 東照宮社地經界未相立候得共、右ハ淺草觀音堂同様、公園中ノ堂社ニハ不相成者歟、昨年租稅寮打合候公園規則中、公園内ニ存在セル社祠堂塔及ヒ祭祀法務ニ必用ノ建物等ハ、祠官寺僧ニテ進退可爲致事。

右ノ通有之候得ハ、先ツ左ノ通ニテ可然哉。

○朱書 第一二條追テ一定ノ規則可相達、夫迄ノ内地所ニ屬スル事件ハ願伺其外共、總テ祠官掌方長打合連印致候義ト可相心得事。

一、當區御預り場所内異變其他とも町用掛方御訴入費之義者、其都度御下ケ願候儀と相心得可申哉。

○下ケ紙脱落

一、右區御預り場所内掛茶屋渡世之もの當時百七拾軒餘相出居候ニ就ル者、戸長町用掛ニ朝暮心附不取締無之様可仕候得共、多人數場廣之義ニ付左之通奉伺候。

○下紙 第四條伺之通。

但、取締人名并入費高銘細可届出事。

一、當區御預り場所内大小便所都合貳拾壹ヶ所有之、是迄掃除之義、同所葭簀張掛ケ茶屋之者共、適宜ヲ以掃除方致來候處、右ニル者規則も不相立、不潔勝ニ有之、追々開花之時節ニ向ヒ遊觀之者多人數罷出候ニ就ルハ、別ル不潔無之様取締相立申度、然ル處當節山内葭簀張掛ケ茶屋百七拾軒餘有之、此上猶相増可申候間、右之内至當之人物四日程相撰、便水所見廻り并ニ掛茶屋取締之義、私共手切中付苦カル間敷哉、尤聊入費等モ相掛リ可申候得共、是者不相當之義無之様、一統相談之上適宜ニ爲取計可申奉存候間、此段奉伺候也。

明治七年三月

右區戸長 池田 端 幸

上野公園書類

上野山下道

是月○明治七年(紀元二五三四年)三月。上野山下町○市内下谷區。道路ヲ開キ下寺通坂本門○市内下谷區。

ニ直通ス。○上野公園書類。

上野山下道路開鑿 事、上野公園書類ニ具ス。

知事

奏任出仕

庶務 本課
營繕 取扱

兼テ相伺置候上野下寺通開路之義、最早好時節ニ付修繕取掛可申候間、左之通相達シ可

帝都時代ノ遊園

五七五

上野山下道

路開鑿事蹟

申哉、相伺候也。

第五大區七小區

長

上野山下町里俗袴腰土手際、下寺通坂本門へ直線開路相成候ニ付、右土手際ニ補理有之候、床店、道路之差支ニ相成候間、當月限爲引拂可申、此旨相達候事。

三月

但、本文之趣、同所請負人中田なかにも承知可申達候事。

知事

參事

奏任出仕

庶務本課
地券取扱
營繕取扱

上野山下里俗下夕寺通在來之通路、別紙圖面之通模様替取開キ修繕之上、左之通御屈差出可申上候哉、此段相伺候也。

但、本文伺濟之上者、入費入札之上取極猶可相伺候也。

上野山下里俗下寺通在來之通路、戊辰之役往來止相成候儘ニ多不便利ニ付、別紙圖面朱引之通模様替道路取開キ候得者、車馬通路者勿論、出火之節別多便利相成候間、床店取拂民費ヲ以開路致候、此段御屈申上候也。

明治七年一月十日

東京府知事 大久保一翁

内務卿大久保利通殿

知事
參事
奏任出仕

庶務本課
營繕取扱

上野山下町開路ニ付、床店取拂之義達置候處、一百日猶豫願出、不都合之申立御聞届難相成筋ニ付、左之通可申達候哉、相伺候也。

三月廿日

但、本文之趣、其時ニ臨ミ不都合之申立等無之様兼テ戸長へ達置候末、前願之如き一旦

御差許相成候多ハ無、際限事ニ付、尙又戸長へ嚴重可相達存候。

書面願之趣難聞届候條、先般相達候通可相心得候事。

乍恐以書付奉歎願候

第五大區上野山下町七區
左ニ連印之者一同

奉申上候、今般上野山下町里俗袴腰土手際より下寺通坂本門へ直線開路ニ相成候ニ付、取拂可申旨御達有之、此段奉畏候得とも、一時取拂ニ相成候多ハ連印之者一同移轉之場所ニ差支、殆當惑難澁至極ニ奉存候間、何卒以御仁恤、一百日之間御日延御猶豫被成下度、此段以連印奉歎願候也。

山崎 彌助七〇外人略

前書之通俱々奉願上候也。

帝都時代ノ遊園

五七七

明治七戌年三月廿日

東京府知事大久保一翁殿

第五大區七小區
戸長

伊藤新右衛門

上野山下町里俗袴腰土手際々下寺通坂本門の直線開路相成候ニ付、右土手際ニ補理有之候、床店、道路之差支ニ相成候間、當月限爲引拂可申、此旨相達候事。
右被仰渡拜承仕候也。

明治七年三月十六日

上野山下町里人
床店諸人
中田たか
後見
伊藤新右衛門

東京府知事
大久保一翁殿

上野山下町里俗袴腰土手際々下寺通坂本門の直線開路相成候ニ付、右土手際ニ補理有之候、床店、道路之差支相成候間、當月限可引拂旨御達之趣、右區戸長の早々可申通旨被仰渡、奉畏候、依之御受書奉差上候處、仍如件。

第五大區七小區戸長
池田端幸
同大區當番三氣二付小區戸長
關輪定吉

三月十五日

〔附記〕 上野公園掛茶屋賦金

知事

參事

奏任出仕

庶務本課
出納本課

附記
上野公園
茶屋賦
金

上野山内葎簧張渡世之者より賦金取立方之儀、戸長々伺出御指令案相伺候也。
伺之通可取計事。

四月廿日

上野山内掛茶屋賦金取立方窺

第五大區拾小區上野山内公園御地所掛茶屋渡世之者拜借之義、新規并ニ從前開業之者共更ニ當三月三十一日御差許ニ就る者、右新古開業ニ不拘本月一日ハ賦金取立上納可仕哉。

一、同斷掛茶屋渡世之者都る十五日前休業、并ニ十五日後開業等之分ハ半月分賦金取立上納可仕哉、奉窺候也。

明治七年四月十九日

右區戸長
池田端幸

知事

參事

奏任出仕

庶務本課
出納本課

上野山内掛茶屋賦金取立方、別紙之通申出御聞届可然哉、御指令案相伺候也。
書面申立之趣承届候事。

四月廿九日

上野山内掛茶屋賦金取立目的申上書

帝都時代ノ遊園

第五大區七小區

上野元黒門町廿六番地

○朱書
但上野黒門袴
腰前西脇

一、壹坪ニ付表裏平均銀壹匁五分。

同所三橋町十一番地

○朱書
但同斷袴腰
前東脇

一、同斷ニ付平均銀壹匁八分。

同所山下町壹番地

○朱書
但同所山下
東下

一、同斷ニ付平均銀壹匁。

右三ヶ町壹坪當リ

合銀四匁三分。

右三ツ割平均

銀壹匁四分三厘三毛三絲三忽。

此十分ノ五。

銀七分壹厘六毛六絲六忽六微。○朱書
但壹坪御地代。

此金壹錢壹厘九毛。

右者上野山内掛茶屋渡世之もの共方出稼場所ニ不拘同一ニ御規則之通賦金壹坪ニ付銀七分壹厘ツ、取立翌月十日限り上納仕度、此段申上置候也。

明治七年四月

右區戸長

田 端 幸

上野公園書類

上野文部用地異變心得

上野文部用地異變心得事蹟

四月廿日○明治七年(紀元二五三四年)。上野山内文部省用地○市内下谷區。ニ於ル異變心得ヲ

決シ、文部省ニ照會ス。○上野公園書類。

上野文部用地異變心得 上野公園書類云フ、

知事

參事

奏任出仕

庶務 本 課

上野山内文部省用地ニ於變事有之節心得方戸長方伺出、左之通御指令相成可然哉、相伺候也。

伺之通可相心得事。

四月廿日

右之通御指令相成候上者、文部省へ一應掛合置候方可然哉、書面案左ニ、

文部卿木戸孝允殿

上野山内御省御用地内ニ於テ異變等有之節心得方、所戸長ヨリ別紙之通伺出候ニ付、其通可相心得旨可申達存候處、此條御省ニ於るも兼多御心得之筈トハ存候得とも、右場所ハ外官用地とも違ひ、境界堀垣等之手當も無之、殊ニハ人民群集之場所ニも有之候間、兼

帝都時代ノ遊園

五八一

テ御注意相成候様いたし度、此段一應及御協議候也。

四月廿日

猶以別紙御一覽後、御差戻有之度候也。

上野山内文部省御搆地之儀ニ付、

第五大區十小區上野山内當時文部省御搆地之内、異變其他事替り候義者、御同省方直ニ其御筋に御届可相成義ニ付、戸長町用掛者右ニ關係不仕、其模様承り込候儘書取御届可仕義と相心得可申哉、奉窺候也。

明治七年四月

右區戸長
池田端幸

知事

參事

奏任出仕

庶務本課

上野山内文部省用地ニ於テ事變有之節、心得方、戸長伺出之義ニ付、別紙之通回答有之候間、其旨御達可致と存候、此段相伺候也。

四月廿五日

會^{○朱書}第二百八十三號

當省用地上野山内之儀、外官用地とも違ヒ境界塀垣等無之、殊ニ人民群集之場所、旁以一層注意可致段、其戸長方之申立書相添御協議之趣致承知、取締向精々注意可致候條、尙ホ

取扱方之義は他官用地同様可相心得旨、其戸長へ御達有之度候也。

明治七年四月廿五日

文部卿 木戸孝允

東京府知事大久保一翁殿

猶以御差越之別紙御返却およひ候也。

卅日^{○明治七年(元)}上野東照宮^{○市內}西坂ヲ石階ニ改ム。^{○上野公}

上野東照宮石階築造 上野東照宮社地西方參詣坂路ハ曩ニ徳川家達ノ開鑿出願有リ、七年四月永峰某等同社尊信ノ徒更ニ之ヲ石階ニ改築ス。

上野東照宮
石階築造
上野東照宮
石階築造事蹟

知事

參事

奏任出仕

庶務本課
社寺取扱

上野花園町永峯彌吉外三人東照宮社内西坂石垣修繕いたし候ニ付、山内妙教院上地跡百坪六拾四間石置場ニ拜借願出、事實無相違相聞へ候處、右地所ハ通路之差支にも不相成場所ニ付、御許容相成可然哉、隨テ賦金收納之儀ハ、掛茶屋同様ニ見做シ候るハ、不相當ニも可有之ニ付、河岸地物揚場拜借之例ニ倣ヒ、最寄本地代二十分之五爲相納可然哉、指令案添相伺候也。

願之趣聞届候、尤公園設築着手之節ハ、日限中といへとも可爲取拂候間、此旨可相心得候事。

但、賦金最寄本地代二十分ノ五可相納事。

四月三十日

○下紙
全ク寄進之儀ニ付賦金之廉ハ御用捨可然奉存候。

社寺取扱

第五大區十小區
上野花園町十三番地
永峰彌吉
外三人

右之もの、上野山内公園御地所日數六十日之間拜借、石置場申立候間相糺候處、相違無御座候間別紙相添、此段申上候也。

明治七年四月十九日

右區戸長
池田端幸

上

第五大區十小區
上野花園町十三番地
永峰彌吉
外三人

乍恐以書付奉願候

一、上野山内妙教院上地跡
間口拾間

壹ヶ所

此坪 百坪。

右者東照宮境内西坂不陸にて、雨天之節參詣人之もの登戻ニ難澁罷在候處、信者之輩申合右坂石段ニ仕度寄附仕候就るは、境内地續前書公園御地所之内、奉恐入候得共日數六十日之間、石置場ニ拜借仕度、尤賦金之義は御規則之通上納、勿論右御場所御用之節は御

沙汰次第上納可仕候間、出格之以御仁恤願之通被仰付度奉懇願候也。

明治七年四月十九日

東照宮世話人惣代
第五大區十小區
上野花園町十三番地
永峰彌吉
外三人

東京府知事大久保一翁殿

知事
參事
奏任出仕

庶務本課
社寺取扱

上野花園町永峰彌吉外三人、東照宮石垣修繕中同所山内ニ於テ石置場拜借有之候處、雨天引續候ニ付猶三十日間猶豫之儀別紙之通願出、無餘儀相聞候間御指令左之通ニテ可然哉、相伺候也。

願之趣無餘儀相聞候間届候事。

但、公園着手之節ハ取拂之義、先般相達候通可心得候事。

七月三日

上野花園町十三番地
永峰彌吉
外三人

乍恐以書付奉願候

一、第五大區十小區
上野山内妙教院上地跡當時公園御地所
間口拾間

壹ヶ所。

帝都時代ノ遊園

右者東照宮境内西坂不陸ニ雨天之節參詣人之もの登戻ニ難澁罷在候處信者之輩申合、右坂石段ニ仕度寄附仕候就るは境内地續前書公園地御地所之内日數六十日之間石置場ニ拜借奉願候處、五月二日御許容被成下難有奉存然ル處期限濟可取拂處、雨天引續旁營繕向抄取不申、奉恐入候へ共猶日數三十日之間拜借仕度、尤御規則之義は相守可申、御場所御用之節ハ御沙汰次第上納可仕候間、何卒以御仁恤願之通被仰付候様奉懇願候以上。

明治七年七月三日

前書之通相違無御座候也。

東照宮世話人惣代
上野花園町十三番地
永峰彌吉
○外三
略

第五大區十小區戶長
池田端幸

上野公園書類

東京府知事大久保一翁殿

〔附記一〕

上野公園掛茶屋取締

上野山内掛茶屋取締人名御届

同斷 第五大區十小區 上野山内掛茶屋取締人 上野町貳丁目拾貳番地借店 橋本源左衛門	同斷 第五大區十小區 湯島天神町五小區 同斷 下谷仲御徒町四丁目拾四番地 山倉吉五郎
同斷 第四大區六小區 根津宮永町拾五番地 堀江善藏	同斷 第五大區十小區 湯島天神町五小區 清水藤兵衛

附記、上野公園掛茶屋取締

メ四人

右人撰仕掛茶屋取締相心得候様可致旨申渡候間、此段申上候也。

明治七年四月

上野掛茶屋取締人手數料之義申上書

第五大區十小區戶長
池田端幸

第五大區十小區
上野山内公園地掛茶屋取締人
上野町貳丁目拾貳番地借店
橋本源左衛門
外三人

右之者共掛茶屋取締手數料之義、同所掛茶屋渡世之もの一統談し合之上、拜借地壹坪ニ付金壹厘五毛宛差出度申出候間算當仕候處、當四月ハ六月迄取締人壹人ニ付壹ケ月金九拾錢位ニ相成、賦金上納高壹割位ニ相當リ、私共ニおゐて勤辦仕候處掛茶屋之もの共申出不相當ニも無之、尤櫻開花前後ハ掛茶屋盛大ニ候得共、秋氣ハ冬氣ニ向候る者休業之もの多有之、因る開花之頃と見合人員十分ノ四位ニ相成可申、右人員減シニ隨手數料も相劣、本年之義爲試驗掛茶屋之もの共申出之通ニ取扱可申。
一、當四月ハ賦金上納ニ就る者、同月ハ本月迄三ヶ月分壹坪ニ付金壹厘五毛宛掛茶屋之もの取扱、取締人ハ相渡候様可仕。
一、取締人手當之義、自今手數料之名義ニ取扱可申。
右廉々御聞置被下置度、別紙申上候也。

帝都時代ノ遊園

明治七年六月

右區戶長 池田 端 幸

以書付申上候

一、今般上野公園御地所掛茶屋取締人四名之もの手數料之義、一同之ものに相談仕候處、拜借御地所賦金上納仕候月、取締之者手數料として拜借地坪一ト坪ニ付壹ヶ月壹厘五毛宛之割合ヲ以差出可申様、一同相談取極仕候間、此段申上候以上。

明治七年六月

右掛茶屋總代 河野 傳 藏

大塚安兵衛

戶長 御中

宮本錄三郎

上野公園書類

老附記、二
令樹愛護

〔附記、二〕 老樹愛護令

府下從來樹木不多處、樹木町之地住居仕候ハ人身健康相妨候由ニテ、外國人於テモ當所樹木追々減少見受候テ嘆且誹候由、然ルニ屋敷地近時自主ノ權御授相成候乍御美事得自由候より轉移賣買甚繁ク、其地賣渡每多分ハ樹木伐拂勝ニテ、彌以樹木可減ト致心配、伐木止方夫是焦慮仕候得共、何分可然存付無之、其可止良圖モ無之義申上モ赤面恐怖ニハ候得共、御院より健康保養ノ理ヲ以御告諭相成、當府於テ右御趣意ニ基キ、幹圍何尺以上ノ大木ハ區長戶長之檢査ヲ受伐取候様ニモ相定候ハ、大樹猥リニ伐拂候弊可相止哉、加之士族家祿奉還之者に處々開墾地ニ御拂下ケ相成候ハ、亦一際伐木甚敷ニ可至、其前何トカ御一令希望仕、此段申上候也。

明治七年四月十四日

東京府知事 大久保 一翁

太政大臣三條實美殿

○朱書
上申之趣、樹木ハ人身ノ健康ヲ保養スルモノニシテ、府下ノ如キ人家稠密ノ場所ハ最切要ノモノニ付、路傍街頭ニ至ル迄樹木ヲ移植シ、漸ク繁茂ヲ要スルノ折柄、近來地所賣買等ノ際猥ニ樹木ヲ伐拂候者モ有之趣、甚タ不宜事ニ候條、不得止事由アルニ非サレハ、可成丈伐木不致ハ勿論、大樹古木ハ殊更愛護ヲ加ヘ候様、其府ニ於テ一般へ懇々論達可致候事。

明治七年四月三十日

太政大臣三條實美印

記事類纂

〔第貳號〕

番外

市在各區

長 戶 長

樹木ハ人身之健康ヲ保養スルモノニシテ、府下ノ如キ人家稠密ノ場所ハ、最モ切要ノモノニ付、路傍街頭ニ至ル迄追々樹木ヲ移植シ、漸ク繁茂ヲ要スルノ折柄、近來地所賣買等之際、猥リニ樹木ヲ伐拂候者モ有之、私有物ト乍申、都下體裁ヲモ損シ、且ハ心ナキ

所置ト既ニ外國人ノ誹謗モ有之、旁不宜事ニ候條、不得止事由アルニ非サレハ、可成丈
伐木不致ハ勿論、大木古樹者殊更愛護ヲ加ヘ候様、府下一般へ懇諭可致、此旨相達候事。
明治七年五月三日 東京府知事 大久保一翁

法令類纂

各公園經營
請負願却下

五月三日○明治七年(紀元二五三四年)。六年○明治〇紀元二五三三年。以降ノ出願ニ係ル各公園經營

請負書類ヲ一括シテ却下ス。次デ再願ヲ爲ス者有リ、亦聽サズ。○各公

各公園經營
請負願却下
事蹟

各公園經營請負願却下 各公園例則ニ見ユ。

明治六年七月廿二日

第二大區六小區
飯倉町六丁目

飯島德兵衛

同小區芝榮町
八番地借地

石渡長三郎外二名

外二名

外二名

第二大區十五小區
麻布三軒家町

三田銀次郎

鹿兒島縣士族
出頭 永田義近

義近

芝公園

明治七年三月二日

同斷

明治六年九月二日

淺草

東京府同

和田驥

第十一區二小區
本所五ノ橋町

丸山傳兵衛

東京府士族

山田虎清

同

増田篤

第十六區一小區
谷中初音町三丁目

川瀬治郎吉

第五大區八小區

淺草寺

第六大區一小區
三十七番地

伊藤八兵衛

淺草

右何レモ公園地經營請負願出有之候處、内務省内意ノ次第モ有之ニ付願書下戻、左ノ通
リ可相達哉、口達案添相伺候也。

口達案

各所公園地請負ノ儀出願ノ處、右ハ第一大區十五小區坂本町ニ設有之府下會議所掛ノ
モノ兩三名ニ合議ノ上ナラデハ、差向不爲差許ニ付書面下戻ス。

五月三日

帝都時代ノ遊園

鹿兒島縣士族永田義近其外公園請負願過日差戻候處其處會議所掛ノモノヘ相談シ候處承諾不致旨ニテ尙又別紙ノ通願書出候依テハ左ノ通相達シ書面下戻可申哉口達案相伺候也。

公園經營請負ノ義者會議所掛ノ外結社出願ノモノ有之候トモ差向不差許方假令右掛中出願ノモノ無之候トモ官府ヨリ強テ可申付御趣意ニハ無之依テハ合併ノ義モ掛ノモノ承服不致候トモ別ニ達方モ無之筋ニ候間此旨可相心得候尤後日規則等確定ノ上廣ク望ノモノヘ相任セ不苦譯ニ相至リ候ハ其節可申出依テ書面ハ下戻候事。

六月廿四日

公園經營ノ儀ニ付再願

客年三月中公園御設立御布告有之ニ付協同ノ者相議シ同九月二日淺草寺増上寺兩所經營ノ負任相願候得共若シ手配貫底セス不都合相生候テハ恐入候ニ付本年二月十七日更ニ淺草寺一ヶ所相願爾後五月十日頃御府呼出ニテ會議所ノモノ兩三名合併ノ上ナラデハ御採用難相成趣被仰渡ニ付不取敢會議所出頭ノ者ヘ掛合ニ及候處願書ノミニテハ事實不明ノ由ニ付參考ノ爲メ概畧方法書等相渡置候然ルニ會議所中公園願立候者有之ニ付連署難致旨兩三日ヲ經テ斷リ有之左候ヘハ此上何様掛合及候トモ承諾不仕ハ必定ニ御座候然ルニ御府ニ於テハ會議所者合併不致候テハ御採用不相成會議

所ニ於テハ合併ハ勿論鈴印スラ承諾不仕此ニ於テ私共冥蒙方向ヲ失ヒ如何共難仕場合ニ立至申候元來無稽ノ私共其邊ノ處一向辨知不仕實以失望罷在候尙ホ御諒察ノ上御採用相成候ハ難有仕合ニ奉存候間幾條ノ廉々愚蒙ノ私共豁然了解仕候様何分ノ御指令被下置候様奉願候以上。

追テ愚案法方書等ハ御指揮次第可差出申候

明治七年六月十二日

第二區 本芝下町八番 鹿兒島士族 永田義近	第六區 本所花町七番 東京府士族 和田驥
第十一區 本所五橋町八番 丸山傳右衛門	同所 龜戶村二番 丸山傳兵衛

東京府知事大久保一翁殿

十三日 ○明治七年(紀元)五月。營繕會議所掛田畑謙藏西村勝三公園經營ノ方

案ヲ上申ス。乃チ太政官ノ指揮ヲ請フ。○各公園

會議所公園經營上申 其趣旨六年三月十三日會議所當番行岡庄兵衛藏田清右衛門ノ上

書スル所ニ異ラズ宜シク彼條ヲ參看ス可シ。

庶千二拾九號

公園經營之儀ニ付伺

府下公園經營之儀ニ付會議所掛之もの方別紙之通見込申出差向之處尤之儀と存候間

帝都時代ノ遊園

會議所公園
經營上申

會議所公園
經營上申事

其見込を以取計不苦候哉御指揮相伺候也。

七年五月十三日

東京府知事 大久保一翁

太政大臣三條實美殿

公園ノ儀是迄評議モ御座候處未タ出來ニ至リ不申右地所住居ノ者曖昧ト仕不都合ノ趣相聞申候因テ及再議候處原來修繕費用ノ出ル所無之候テハ一時有志ノ者取立候テモ永續ノ方法覺束ナク候間假令ハ公園地五萬坪有之候ハ即二萬坪餘ヲ以テ費用出途ト仕借地或ハ借屋等ニイタン其餘ハ公園ノ地ト相定草木樹石都テ遊觀ニ供シ候様ニ取立酒店茶店ノ類猥雜ノ儀ハ一切無之前書借地等ノ賦金ヲ以テ修繕入費ニ充可申候右仕様諸公園ノ定則ニ御取極御座候ハ公園出來可相成右望ノ者モ可有之奉存候
明治七年戊戌年第五月十三日

會議所掛

田畑 謙藏

西村 勝三

東京府知事大久保一翁殿

各公園例則

増上寺丸山
進退請願

十七日○明治七年(紀元二五三四年)五月増上寺上書シテ芝公園丸山○市内芝區ノ地進退從前

ノ如クナランコトヲ請フ、聽サズ。○芝公園書類

増上寺丸山進退請願 下記ノ如シ。

知事

庶務 本課

増上寺丸山
進退請願事

參事
奏任出仕

社寺 取扱

今般芝公園地其區扱所ニおひて取扱申渡ニ付増上寺へ心得相達候處壬申六月中丸山稻荷社跡其外明地開墾いたし休息所取建度云々願濟之趣も有之ニ就テハ右開墾入費消却之爲め來ル卯年迄是迄通取扱度旨別紙之通願出候處壬申六月御允可ハ全ク掛茶屋取建之主ニテ開墾ハ其客タルヲ以テ御聞届ニも相成事ナラン假令普通之開墾地ト雖モ素々御拂下カ拜借トカノ許可ナクシテ私有地同様之處分御差許之例ハ無之筈加之現今まで右開墾場所ニ不限山内一般掛茶屋渡世之もの方自儘に出銀センメ區入費ハ一錢モ不差出有之候得ハ今日ニ至ル迄幸ヲ得ルト云フヘシ且現今聊御有恕之御指令アラハ他日返テ苦情之種ト可相成も難計候間斷然左之通御指令相成可然哉相伺候也。

五月十九日

願之趣難聞届候條先般相達候通可心得候事。

五月

去ル十五日山内公園地ニ可相成儀ニ付追々築造着手迄出稼掛茶屋等最寄借地本地代十分之五可相納旨御達且戸長中ニ進退被仰付候ニ付願書

増上寺

元當山持地所之儀、這回公園地ニ可被遊御達之趣奉敬承候、然ル處御維新以來荒蕪之地開墾云々一般御布達之趣も有之候ニ付、當境内山林叢昧之地其儘差置候も無益之儀と奉存、同志輩と懇議ヲ遂ケ夫々出金仕、新ニ道路ヲ開キ、凸凹ヲ平定シ、掛茶屋等ヲ新建仕、貧民生活之一端ニ仕度旨奉願候處、別紙寫之通御許可ヲ蒙リ、其爾來追々繁昌仕、出稼人共々月々開墾入費別紙勘定書之通相納候得共、未夕全納ニ不相成、殆ト當惑仕候、依之來卯年十二月まで取扱方從前之通被仰付候得は、金主之者に勘定相立候條、何卒格別之御詮議ヲ以願之通被仰付度、此段奉願候也。

明治七年五月十七日

增上寺住職

權大教正 石井 大宣

東京府知事大久保一翁殿

以書付奉願候

當山内安國殿構外丸山稻荷社跡地、並摸寄明地、且茅野天神社跡地構内、何レモ近來掃除不行届荒地ニ相成居、方今御主意ニ相觸奉恐入候、夫ニ付元來當御區内之儀者場末之地故活計立兼候向も御座候哉ニ付、別紙繪圖面朱引之場所開發、草花類植附養生場ニ致休息所取建候ハ、追々見物人罷出、窮民産業之一助ニも相成、將自然御區内繁昌之基と相成候半と奉存候間、何卒右之振ニ仕度奉存候、此段御聞濟被成下候様奉懇願候。以上。

壬申六月

增上寺

第二大區御役所

書面願之趣聞届候事。

壬申六月十二日

印

記

一、金三千九拾三圓七拾五錢。

此譯、丸山一圓茅野天神跡地并ニ當時新道通り其外共、壬申年六月より昨年五月迄開墾、并ニ追々道路普請入用共口々如別紙。

一、金百貳拾壹圓九拾九錢九厘八毛。

内拾圓道具代引落ス。

此譯、福聚院跡地開發明治二巳年十二月カ午四月迄、都合六度ニ植木屋吉兵衛拂合、金三千貳百五圓七拾四錢九厘八毛。

一、金八百九拾圓〇貳拾四錢壹厘壹毛壹糸。

右者明治六年六月より當四月迄、寓居人共より諸入用割合金、受取高如別帳。

此譯

一、金三百四拾八圓〇〇貳毛貳糸。

前同斷、年中寓居人世話懸リ之者共ニ手宛其外入費、口々仕拂帳之通。

帝都時代ノ遊園

一金五百四拾貳圓貳拾四錢〇八毛九糸。
壬申六月中願濟開發前出金三千九拾圓七十五錢之内の消却

一、金差引發貳千六百六拾三圓五十錢〇八厘九毛壹糸。

右之通相違無御座候也。

開墾入費消却法之儀ニ付願書呈上候處、御聞届難相成旨、御達書面御下、之條敬承仕候也。

明治七年五月廿日

增上寺代
訓導

吉水 玄儀

東京府知事
大久保一翁殿

芝公園書類

附記、一、
上野東照宮祭茶屋
夜間營業

〔附記、一〕 上野東照宮祭茶屋夜間營業

第五大區十小區上野山内東照宮祭典ニ付、同所公園地之内兼多許可ヲ蒙リ出稼致居候、葭簀張掛茶屋之者共、昨年祭典中之類例ニ倣ヒ、本月三十一日六月一日兩夜午後十時迄軒提燈差出營業仕度段、別紙略之通願書指出候ニ付、一應承紀候處、火之元之義ハ勿論嚴肅取締相立可申旨申立候ニ付、別紙相添奉伺候也。

五月廿七日

右區戸長
池田 端 幸

知事

參事

奏任出仕

庶務本課
社寺取扱

附記、二、
上野公園
便所修繕

〔附記、二〕 上野公園便所修繕

上野山内公園地便所之儀ニ付申上書
第五大區十小區上野山内公園地ニ有之大小便所、從前文部御省又ハ掛ケ茶屋之もの申合、補理候分貳拾壹ヶ所有之候處、今般御沙汰之次第も御座候ニ付、私共見分不辨之場所貳ヶ所取毀シ候上、新規取設候ヶ所五ヶ所、都合貳拾八ヶ所ニ相成從前之分大破相成居候ニ付、此度繕ヒ修繕、新規取設ヶ所共、此代價金三拾三圓ニ相成候處、此入費之義は差向年寄ニ立替仕拂致置、掃除人下田畑村農中村五左衛門月々請取候下肥

上野公園書類

伺之趣聞届候間、不取締無之様猶注意可致候事。

五月

警視廳御中

東照宮祭典ニ付、本月三十一日六月一日兩夜午後十時迄軒提燈差出渡世致度旨、上野公園地内掛茶屋渡世之もの方願出聞届候間、此段爲御承知申進候也。

五月廿七日

帝都時代ノ遊園

五九九

代價ヲ以右營繕入費ニ宛テ、追々引去追々計算之上、猶御届可申上候、一應此段申上置候也。

七年五月

右區戸長
箕輪

光晁

池田

端幸

上野公園書類

是歲

○明治七年(紀元二五三四年)

○市內淺草區。

二櫻樹ヲ植栽スル者有リ。

○柳北全集。

日本堤植櫻
日本堤植櫻
事蹟

日本堤植櫻

八、
日本堤栽花記

自今戶橋北至芳原、陂陀一道、長五百弓、呼曰日本堤、都人士之遊芳原者、皆莫不取路于此、而堤上空濶、無一株花木、頗爲寥索矣。夫五街之繁盛也、綺樓香閣、層々連、而麗娼妙妓、獻媚爭嬌者、無慮數百千人、每歲先花候、移栽櫻花若干株于街之中央、以供客之賞翫、里俗謂之夜櫻節、迨其花謝客散、則不復愛惜、摧折爲薪而止、可謂無情之甚者也。街之五勢樓主、中村長兵衛、有慨于此、客歲甲戌暮春、與同志者六名謀、移所謝櫻樹於堤之兩側、以供明年之觀、乞諸官以爲每歲之例、今年又照例增植、鬱葱交陰、於是乎絕世名花、免一旦摧折之禍、而堤亦長爲遊賞之地、至于與夫墨水之勝、爭其輸贏、豈非風流場裏一快事耶。若夫濃雲釀雨、暮鐘送聲、長堤春靜、風塵不驚、萬枝芳、嬌然逞嬌、夕綴白玉、晨璧紅綃、五陵之貴、三輔之豪、拂彩雲、踏香雪、來買千金之宵、使人有度巫峽、遊瑤臺之想也。既而薰風自南、微熱侵肌、車丁揮汗、白馬不嘶、讒出城市、來上斯堤、則嫩綠陰淨、風露濺衣、氣蘇神活、灑然快然、爭赴佳期、適望蘇小之室、遠敲玉環之

扉。涼簾風簾、誰敢思歸、已有樊川綠葉之憾、又非武陵迷津之比也。嗚呼、一轉從前、寥索無踪之閑地、而爲遊賞得意之佳境者、果誰之力也歟。頃中村氏等欲建石以圖不朽、來乞文於余、余安得不喜而記之。明治八年第五月柳北成島弘撰。

柳北全集

六月三日

○明治七年(紀元二五三四年)

芝公園地

○市內芝區。

取締請負ヲ請フ者有リ、之ヲ却

下ス。○芝公園書類。

芝公園取締請負請願事蹟

芝公園取締請負請願

芝公園書類云フ。

知事

參事

奏任出仕

庶務本課

芝新門前町石橋源兵衛義、増上寺へ示談之上、山内へ建物取設有之趣之處、公園經營可相成ニ付テハ、出張官員休息所御用相勤、且園内之掃除いたし見守番等差置度云々、別紙之通願出御届無之方可然ニ付、指令案相伺候也。

願之趣難聞届候事

六月九日

乍恐以書付奉願上候

第貳大區七小區
芝新門前町拾八番屋敷住居
石橋源兵衛

右源兵衛奉申上候、今般芝増上寺境内上地被仰付、彌以る公園御開發ニ相成候趣奉拜承、右御場所之義は山水之勝景相兼、素々眺望不少候處、此上花木泉石之美觀御設ニ相成候ハ、御府内第一等之勝景地ニ相成、四方遊覽之もの常ニ雜沓致シ、御場所は勿論最寄壹圓繁昌之義と乍恐奉存候、附るは先年中右御場所追々荒蕪ニ相成候ニ付、花草植付休息所等取設、土地繁昌爲被仕度段、芝増上寺々其筋に奉出願候處、御聞濟ニ相成候趣ニ付、同寺に申談、多少之建物取設休息所相始候處、日増ニ繁昌仕難有仕合奉存候、此般御公園御開發ニ付るは、御盛舉萬分の一ニも御爲筋ニ相成候義仕度奉存候得共、何分行屆兼、乍然御公園開發中御出役之方々御小休所御用相勤且又御園内之掃除私自費ヲ以る不潔無之様仕、樹木泉石不取締之義無之様見守番之もの差置、時々見廻候様致御爲筋之一助ニ相成候様仕度、右之段何卒以る御仁恤御聞濟之程奉願上候、以上。

明治七年六月三日

石橋源兵衛

東京府知事大久保一翁殿

公園經營會議所意見

四日 〇明治七年(紀元二五三四年)六月。是ヨリ先會議所掛上申ニ係ル淺草公園築造請負願及公園設計企畫ヲ添へ、是日 〇明治七年(紀元二五三四年)六月四日。再ヒ太政官ニ公園經營方ヲ稟申ス。〇各公園例則。

公園經營會議所意見

公園經營會議所意見 會議所掛一般公園設計企畫及淺草公園築造請負願ハ多額ノ經費

ヲ要スルニ依リ、太政官ハ當分從前ノ儘差置ク旨ノ指令ヲ與フ。

〇朱書。庶千貳百貳拾號

府下公園經營ノ儀ニ付再伺

府下公園經營ノ儀ニ付テハ、昨六年五月中概略規則添乙三百四拾貳號ヲ以相伺候處、右者歐米各國ニ開設スル諸種公園ノ體裁モ有之、申請ノ趣規則粗概ニ候條、尙實地ニ參考シ築造ノ仕方、失費收納ノ計算等一層精密ニ調査ヲ遂ケ相伺候様御指令ニ付、着手方法深ク勘辨致候ニ、御指令ノ如ク取計候ニハ巨萬之金員相投シ候半テハ成功無覺束、然ルニ府下人民未ダ公園等施設ノ着目無之、剩サヘ即今百事民費課出多ノ際、別ニ公園築造入費トシテ割賦出銀セシメ候ハ、地主共ニ於テモ必然苦情相生シ可申歟、前條始終兼テ上申仕候件モ有之、左リ迎現在ノ儘差置候テハ不都合ニ候間、會議所詰合ノモノヘ見込尋問致シ候末、同所詰總代田畑謙藏外壹人ヨリ別紙ノ通申出候、概ネ右等ノ趣意ヲ以差向施設方相起シ、漸次盛大ニ推及シ候外有之間敷存候、何分ノ御指揮相成度、此段再應相伺候也。

明治七年六月四日

東京府知事 大久保一翁

太政大臣三條實美殿

猶以金龍山元境内公園築造方、藏田清右衛門外壹人ヨリ願出、規則中實地ニ鑑ミ、多少取捨可致、廉有之候得共、御參考ノ爲メ束ネテ相伺候也。

帝都時代ノ遊園

○朱書。伺之趣詮議ノ次第有之、當分從前ノ通可致置事。

明治七年九月廿九日

太政大臣
三條實美印

奉願候覺

兼テ御布告相成候公園地之内、金龍山淺草寺公園築造並ニ保存受負方、私共へ引受被仰付候様仕度、則別紙方法概略相添へ此段奉願上候、築造入費之義ハ凡金三萬圓、落成期限ハ凡三ヶ年見込ニ御座候、建築仕様繪圖面等ハ御沙汰次第差出可申候。以上。

明治七年四月

會議所掛
藏田清右衛門

會議所掛
西村勝三

東市府知事 大久保一翁殿

公園營業見込概略

- 一、新道路ヲ開キテ車馬ノ往來ヲ便ニス可キ事。
- 一、路傍ニ椅子ヲ置テ觀客ノ休憩ニ備フ可キ事。
- 一、競馬場取建可申候事。

○附箋

(佛國)

一、公園中競馬場アリ、競馬路長サ一千九百メートル、又一筋ハ二千九百メートル、其中ニ

觀馬臺アリ、大サ五千人ヲ容ル、ニ足ルト。

但、取建ノ有無ハ御府ノ御指令ニ從フヘシ。

- 一、草木花園ヲ取建候事。
- 一、巡查番人屯所相設度候事。
- 一、塀圍ヲ取建可申候事。

一、門番人看守植木師掃除人相備フ可キ事。

一、角觥觀セ物ノ常小屋ヲ造築シ、望ニ應シ貸渡ス可キ事。

但、從前ノ小屋ハ龜造ニシテ、汗穢甚シク觀覽ニ宜カラス、其弊ナカラシム。

○附箋

一、公園中觀客ニ供スヘキ觀セ物ノ常小屋ハ、國中産スル處各種ノ奇品、或ハ佳麗ノ工織物人形等ノ類ヒニシテ、從來ノ戲場ニ類スル如キモノハ相除可申、尤歐米州ノ如キ素ヨリ角觥ノ技術ナシ。

但、角觥ノ義ハ御指令ニ從フヘシ。

一、植木師或ハ珍禽奇獸ヲ籠養スル者、別ニ公園中ニ於テ家屋造築ヲ許ス可キ事。

一、料理屋及待合茶屋ハ、凡七八軒程公園中ニ造築ヲ許ス可キ事。

但、造築清潔ヲ專ハラトシ、園ノ風致ヲ助クヘキ事。

一、樹陰或ハ池畔等ニ葎簀張茶店ヲ體裁ヨク取建可申候事。

但、從前之葎簀張茶店ハ位置不整、多クハ道路ノ妨ヲナシ候故、一旦悉皆爲引拂、更ニ取

帝都時代ノ遊園

建候事

一、從前淺艸寺屬地當時上地町屋ノ分、公園附屬地ニ御渡被下候事。
一、車馬ニ乗テ遊覽スル者ヨリ相當ノ修路費ヲ受取度候事。

(米國)附箋

公園中車馬道何里、乘馬路何里、步行路何里ト人馬路トヲ異ニス、既ニ園中規則ノ中ニ○馬車道ヲ歩行スヘカラサルノ揭示アリト。
以上。

公園經營之義別紙之通御指令相成候處、右ハ公園地ノ名ヲ存スルノミニシテ、修築等之儀ハ先ツ延引可致トノ御趣意ト存候、依テハ右地所葭簧張等之處分ハ總テ是迄之通取計可申哉、且西村勝三ヘ左之通可申達哉、旁相伺候也。

九月三十日

達案

書面公園築造之方法正院ヘ相伺候處御詮議之次第有之、當分從前之通可差置旨御指令相成候間此旨可相心得、依テ願書ハ先ツ下戻候事。 九月

庶千二百二十一號

公園經營之儀ニ付會議所掛之者方差出候見込書相添、去月中庶第千貳拾九號を以相伺候處、今般更ニ別紙之通相伺候付、前伺書は御引替御下戻被下度、此段申上候也。

明治七年六月四日

太政大臣三條實美殿

東京府知事

大久保 一翁

各公園例則

溜池日枝祠
畔架橋新道

八日○明治七年(紀元)六月二五三四年溜池○市内赤坂區ニ架橋シ、日枝神社○市内麴町區社頭ニ通スル

新道ヲ開鑿ス。○記事類纂。

溜池日枝祠畔架橋新道ハ、

願書

日枝神社境内ノ儀、前面ハ坂路南ハ溜池ニテ僻邑ニ等シキ不辨之場所柄困却致候ニ付、溜池ヘ假橋架渡候得ハ、日夜無差別庶人通行大ニ便利ニ相成ハ勿論、社頭も自繁昌、説教拜聽等も猶盛大ニ罷成、敬神尊奉之御趣意ニ基教化ノ一助共可相成趣ヲ以テ、先官等ヨリ棧橋假渡ノ義、去ル壬申十一月奉出願候處、當西二月十日御許可被下置候節、彼是手配等仕候處、追々諸色騰貴相成、自力ニテ難架調時日遷延致候内先官免職轉任等ニテ素志不遂ニ付、此節更ニ當社氏子有志炭屋磯右衛門銀主示談相濟候ニ付、猶篤ト場所柄等吟味仕候處、先般御許可相成候場所全體地低ニテ、強雨之節ハ地水暴漲通行難出來、偶橋架之詮モ無之事ニ付キ場所換仕度、因テハ當社鳥居西空地ヨリ境内迄幅五間突通シ、溜池左右埋立、中央八間ヘ假橋架渡、夫より赤坂田街三丁目四丁目之間空地ヘ通路相開キ申度、右戸長町用掛并開墾之地主小澤繁之助方及示談候處、差支無之段承届候間、御許容被

帝都時代ノ遊園

六〇七

溜池日枝祠
畔架橋新道
事蹟

成下度奉願候。就テハ週分ノ入費拂及候ニ付、償却迄ニハ凡九十七ヶ月程通行ノ諸人、并馬車、人力車等より橋錢相受度、右年内無稅被仰付被下度、然ル上ハ橋梁道路修繕等も無別條可仕候。將又前文ニモ申上候通、不辨ノ場所殊ニ從前ニ相變リ、社參モ微々タル事ニテ數息罷在候ニ付、御採用相成下候得ハ、御社頭繁榮、追々御修復之義モ行届、旁上下之融通兩全之義ト奉存候間、何卒實地御檢査之上、特別之御檢義ヲ以テ御許容被成下度、別紙繪圖并橋架入費、橋錢書共相添、此段不願恐奉願候也。

明治六年十一月

東京第一區八小區彌 左衛門町十三番地商 炭屋磯右衛門	日技神社 柴田實忠
木村作嗣	池田尹孝
千勝興文	坂口政豐
同 前田勇平	

東京府知事大久保一翁殿

日枝社境内道路修繕方并新規二ヶ所入費書

日枝社内新開道路、新規掛渡橋二ヶ所、并表門通一ノ鳥居迄道路修繕方共入費高、凡金子三百圓之見積リ、左ノ通、

一日往來 凡六百人。

但、壹人ニ付、拾五文ツ、橋錢。

一ヶ月金貳拾七圓見込。

外一日往來人力車 凡五拾輪。

一ヶ月ニ付、金四圓五拾錢見込。

但、壹輪ニ付三拾文ツ、。

一日馬車往來 凡五車。

但、壹車ニ付六拾文ツ、。

一ヶ月ニ付、拾錢見込。

一日荷馬往來 凡三拾足。

但、壹疋ニ付三拾文ツ、。

一ヶ月ニ付、金貳圓七拾錢見込。

合金三拾五圓拾錢。

右九十七ヶ月

合金三千四百四圓七拾錢 橋錢上リ高。

内金七百廿七圓五拾錢 番人手當入費。

但、壹日ニ付廿五錢ツ、。

内金千三百圓 修繕方入費高。

九十七ヶ月

帝都時代ノ遊園

內金千貳百九拾三圓四拾錢八厘三毛 金利息。

但金拾五圓ニ付一分ノ割合。

此合金三千三百貳拾圓九拾四錢八厘三毛 惣入費高。

右之通ニ御座候。

酉十一月

日枝社御役所

炭屋 磯右衛門

第一大區八小區
彌左衛門町十三番地前

炭屋 磯右衛門

日枝神社祠掌

柴田 實正

外五人

右之者今般日枝神社境内ヨリ赤坂溜池堀へ假橋掛渡當區赤坂田町三丁目四丁目境横町へ通路相開申度段奉願候ニ付差障有無御尋御座候間取調候處赤坂田町壹丁目壹番借地小澤繁之助所持同町三丁目十三番地同所四丁目十番地内道敷相成候ニ付願人共ヨリ被及示談候由ニテ繁之助并道路ニ關シ候地主共於テモ差障無之旨申出候間此段申上候也。

癸酉十二月

第三大區十四小區
戶長 秋元 嘉晴

同 內海 利作

記

掛橋皆新ニ付拾五ケ年メニ橋板手摺其外小普請右入費凡ノ見込金貳百圓右免許相成候月より連月壹圓ツ、積金元利ヲ以修繕仕度依テ割合勘定右ニ學。

金百八拾圓 免許相成候月より連月百八拾ケ月積立金。

同百六拾貳圓九拾錢 貳拾五圓ニ付貳拾五錢割利息之分。

元利

メ金三百四拾貳圓九拾錢。

內

金貳百圓九拾錢 橋修繕料引。

差引殘リ

金百四拾貳圓 積金之事。

右修繕之儀十ケ年メニ大修繕掛渡之分惣新規橋杭ハ相保候見込入費凡金四百圓依テ尙百廿ケ月積金。

金貳百六拾貳圓 積立金。

同貳百四拾六圓六拾錢 廿五圓ニ付廿五錢割利息分。

元利メ金五百八圓六拾錢

內金四百圓 修繕料引。

差引殘

帝都時代ノ遊園

金百八圓六拾錢。

右之通見込勘定ニ御座候、尤年限延減又ハ見込之外臨時修繕等之節多分入費相當候共無差支修繕向於當社取計候、依テ此段申上候也。

彌左衛門町十三番地	炭屋磯右衛門	日枝神社祠掌	柴田實忠
類ニ付	田尹孝	同	千勝興文
欠席	田尹孝	同	千勝興文
同	坂口政豐	同	前田勇平

東京府知事大久保一翁殿

記

先般奉願候架橋之儀ニ付、後年爲修繕料社納ノ内ヨリ連月金壹圓ツ、積立ノ譯ハ、社納ノ内ニテ社費取賄差引殘金祠官掌分配仕來候儀ニ付テハ、右社費中ヨリ月々金壹圓ツ、積立至其元利ヲ以テ修繕向永續仕度心得ニ御座候、御尋ニ付、此段申上候也。但、本文社入之儀ハ月々増減モ有之候ニ付、分配方之儀豫御定候事ハ難出來候、爲念申上候也。

日枝神社祠掌
千勝興文

明治七年四月

東京府知事大久保一翁殿

赤坂溜池の架橋之儀ニ付再伺

日枝神社祠掌官前田勇平其他之者、同社内より赤坂溜池へ新規架橋、并山内道路新開之義願出、差支之儀モ無之候ニ付、聞届置可然哉、先般相伺候處、將來保存ノ方法相立、詳細目論見帳可差出、旨御差圖ニ付、即願人共ニ相達候所、架橋仕様帳并將來保存ノ方法等別紙之通リ申立候間、右書類相添再應相伺候、可然御指揮有之度候也。

甲戌三月十九日

東京府知事 大久保一翁

内務卿木戸孝允殿

○朱書
書面新道取開、并入費支消之爲道錢取立之義共聞届候、尤保存入費社納之内より蓄積之儀ハ、神官へ分賦之内ヲ以テ積立候義ハ不苦、且境内新道敷外之義ハ、不用地ニモ候ハ、上地可致候事。

明治七年六月八日

内務卿 大久保利通

記事類纂

〔第貳拾號〕

番外

第三大區一小區
同大區八小區

長

日枝神社神官等ヨリ兼テ願濟之架橋並新開道トモ今般落成之趣届出候ニ付、來ル十四日ヨリ通行相開、定期之通道錢收入之儀聞届候條、爲心得此旨相達候事。

帝都時代ノ遊園

六一三

明治九年一月十二日

東京府知事

大久保一翁

法令類纂

日吉橋 溜池ニ架ス、亦日吉社ノ背ヨリ田町三四丁目ノ間ニ渡ル、長サ八間、廣サ三間、木造。

東京府誌

日枝神社參詣人の便益を謀りて、氏子中の有志者、明治八九年頃溜池に一橋を架す、本社に因みて日吉橋と號つけたり。橋錢として文久錢一孔を徴す、故に錢とり橋の名あり。五ヶ年間持續して官有に歸し、後ち大に修繕を加へ、當時新しき木橋を架す。

新撰東京名所圖會

〔附記〕 二州橋烟火

六月十六夜、矢吹含弘要余二州橋觀烟火戲、舟中作四絕句、

長江暮色已生秋、簾影燈光倒浸樓、熱不因人平日志、却分涼味就君舟。

霹靂空中忽一聲、金蛇百道劈雲行、家家燈閣人爭倚、烟戲開時月未生。

水風特地灑船窓、吹滅畫燈銀一缸、恰是江心涼月到、金波倒照玉人雙。

萬舟櫂比岸西東、飛電流星光漸空、烟火夜深場已撤、絃歌四面湧江風。

房山樓集戊甲作。

芝公園地料決定

是月二〇明治七年(紀元)五三四年(六月)芝區。芝公園地〇市内舊借地人ヲ調査シ、地料徵收ノ方法ヲ決定ス。〇芝公園書類。

附記
二州橋烟火

芝公園地料決定事蹟

芝公園地料決定

ハ、芝公園書類左ノ如ク見ユ。

知事

參事

奏任出仕

庶務本課

芝公園地借地人ヨリ出銀心得、所戸長方別紙伺出候處、下紙之通御指令相成可然哉、然ニ別紙借地人調書之内、多數之坪數相占メ候ものも相見得候處、上野山内掛茶屋之もの處分ニ差響不都合ニは候得共、現實蕎麥店或ハ植木屋之類諸種之商店差許候ハ、其元貧民生活之ため、且最寄繁昌之爲メニせんとの趣意ニ相見ヘ、全ク上野山内葺簧張之比ニハ無之候得ハ、今更制限通ニ爲所直候譯ニハ難相至、尤其中通常葺簧張も有之候得共、是ニ輕重差等ヲ附ケ候節ハ、おのつから住居之ものへ多少之權ヲ與ヘ候姿ニ多、他日所拂處分ニも差障可申哉と存し候、出稼一般と見做シ地代ハ一樣ニ取立、坪數ハ是迄之儘ニシテ差置候方尤向後出稼出願之分ハ制限通ニ爲取設候方可然や、相伺候也。

六月

増上寺元境内今般公園地ニ可相成ニ付上地被仰付、右地ニ出稼罷在候掛茶屋其外借地人共地代之義は、最寄本地々代十分ノ五御取立ニ相成候ニ付、最寄地代一坪當リ左之通、

芝片門前壹貳丁目

表坪壹坪ニ付、壹ヶ月地代金三錢三厘三毛。

帝都時代ノ遊園

裏坪壹坪ニ付、同斷金壹錢六厘七毛。
右表裏平均壹坪ニ付金貳錢五厘。

此十分ノ五 金壹錢貳厘五毛。

右之通リニ御座候間、火焚所住居之分は壹ヶ月壹坪ニ付金壹錢貳厘五毛宛、葎簧張水茶屋花園等ニ相成候分ハ、猶此半高金六厘貳毛五糸つゝ、月々坪數ニ應シ區内ニ取立置年兩度ニ上納仕度。

一、公園地下各寺院之區域御治定ニ相成候迄は、出稼人共別冊人銘書借地之分地代一般取立申度。

○下紙。
第二條

伺之通

但、向後出稼出願之もの有之節、差支無之場所ハ可差許候得共、今般其區へ扱申渡候ヲ境トシ、以後三分ハ惣テ昨六年一月中相達置候葎簧張制限規則之通たるへ候條、此旨可相心得候事。

一、右園内地ニ向後異變有之節、入費は出稼總借地人之坪數ニ割合、其都度々取集メ申度。
一、去ル十四日上地被仰渡候ニ付、當月分は半ヶ月分地代取立申度。

○下紙。
第三條 四條

伺之通。

右差向候廉々奉伺候也。

七年五月

第二大區三五小區
秋本政富

芝公園書類附載 芝公園内地借地坪數人名調書ニ據レハ、貸地總坪數四千四百六拾五坪九合七勺ニシテ、内貳千六百廿九坪壹合ハ火焚所住居地、千八百三拾六坪八合七勺ハ葎簧張并花園地ナリ、借地人名之ヲ畧ス。

〔附記〕

上野公園塵埃取捨場

上野山内掛茶屋之者塵埃取捨場所申上書

第五大區十小區上野山内公園地之内、從前芥捨場と唱、

一、山王臺 壹ヶ所。

但、差渡四間程、深壹丈餘。

一、摺鉢山下 臺ヶ所。

但、同斷三間餘、深三尺程。

右貳ヶ所ニ同所掛茶屋之もの共、朝夕掃除之度々塵芥右場所ニ從前之通爲取捨、不潔無之様取計爲致候間、此段上申仕候也。

七年六月

右區戶長
池田端幸

上野公園書類

帝都時代ノ遊園

六一七

附記
上野公園
塵埃取捨場

開拓使官園
縦覽

七月七日○明治七年(紀元二五三四年)。弘ク開拓使ノ官園縦覽ヲ許可シ、其規則ヲ發表ス、後多少改正スル所有リ。○法令類纂。

開拓使官園
縦覽事蹟

開拓使官園縦覽 前記開拓使官園ノ條ヲ参照セヨ。

(第三十九號)

番外

市在各區

長

戸

長

開拓使所轄青山第一號二號、筈町第三號官園、今般人民縦覽被差許候ニ付、別紙之通門前へ揭示制札建設、右規則ヲ犯シ候モノ有之節ハ違式處分可致旨、同使ヨリ掛合越候間兼有相心得犯則ノモノ無之様可致、此旨相達候事。

明治七年七月七日

東京府知事

大久保一翁

(別紙)

揭示

官園縦觀規則

第一、此園ニ入ル者ハ切手ヲ持參スヘシ、若シ持合セサル者ハ門番所ニ於テ之ヲ請フ事ヲ得ヘシ。

但、當使官員及官員ニ用向有テ通行スル者ハ此限ニ非ラス。

第二、馬車人力車ハ大道ノ外ニ出ルヲ禁ス。

第三、鎖ヲ付サル犬ヲ入ル、ヲ許サス。

第四、官員ノ許可ヲ得サル者ハ硝子室内ニ入ル可カラス。

第五、花樹ヲ摘採リ、草苔ヲ踐踏シ、損害スルヲ禁ス。

第六、花木菜菓等ノ拂下ヲ乞フ者ハ當役所へ申出ツ可シ。

(第四十號)

番外

市在各區

長

戸

長

開拓使所轄青山筈町三官園縦觀規則、別紙之通改正候旨、同使ヨリ達越候條、各區無洩可相達事。

明治八年一月十七日

東京府知事

大久保一翁

東京官園縦觀規則

第一、縦觀ヲ請フ者ハ切手ニ記載スル休日ヲ除クノ外、午前第九時ヨリ午後第四時ヲ限ル。

但、當使官員及園内住居之者ニ用向アリテ來ルモノハ此限ニ非ス。

第二、車馬ハ大路ノ外ヲ行クヲ許サス、犬ヲ携フモノハ必牽行スヘシ。

第三、許可ヲ得ステ獸欄、蠶室、温室并製茶、製糸等ノ場所ニ入ルヘカラス。

帝都時代ノ遊園

第四、花卉ヲ折傷シ、菓實ヲ摘採リ、及培草ノ地ヲ踏ムヘカラス。
第五、花樹草蔬牛乳等ノ拂下ヲ乞フモノハ園内役所ヘ申出ヘシ。
右之通改定候事。
明治八年一月

開拓使農業局

——法令類纂

附記
辨天山下
小池架橋

〔附記〕 辨天山下小池架橋

知事
參事
奏任出仕

庶務本課
營繕取扱
社事取扱

淺草公園中辨天山下宇賀神堂へ向ヒ架橋之義、別紙之通淺草寺ヨリ願出取調候處全ク參詣人便利之ためノミニテ、餘ニ目論見等も不相聞趣、戸長ハ申出候ニ付御聞届相成可然哉、尤橋幅三尺狹隘ニハ候得とも、往還橋ニも無之候間差支も有之間敷哉、御指令案相伺候也。

七月十七日

書面願之趣聞届候條、公園經營迄之假橋と可相心得候事。

七月

一、淺草御公園中辨天山下池北側ニ宇賀神堂正面へ向、右池へ長サ四間三尺、幅三尺之板橋更ニ取設度旨淺草寺住職唯我詔舜ハ奉願上、右者全く參詣人爲便利補理仕候儀

ニ、外ニ目的等無之様子ニ御座候、此段取調申上候也。

七年七月

第五大區八小區
戸長
柏木喜太郎

奉願覺

公園地内辨天山下宇賀神堂前池、別紙繪圖面之通板橋補理度段、右堂預リ人共ハ申出候間、此段御聞届之程奉願候也。

第五大區八小區
淺草寺住職
唯我詔舜
權少教正

明治七年七月
東京府知事大久保一翁殿

淺草公園諸願伺

道路樹建議

八月十二日○明治七年(紀元二五三四年)。是ヨリ先、東京府吏道路掛ニ關スル建言書ヲ草スル者有リ、是日○明治七年(紀元二五三四年)八月十二日之ヲ左院ニ提出ス。○記事類纂。

道路樹建議
事蹟

道路樹建議 ハ、

道路樹植之義ニ付上申

當府十一等出仕南部陳ヨリ道路樹植之義ニ付、別紙之通申出候間熟考仕候處、尤之義風塵炎暑ヲ避候一端ト存候ニ付、先諸官省御用地空間地より追々植込候様、諸官省へ御達相成度、依之同人建言書相添、此段申上候也。

明治七年五月二日

東京府知事 大久保一翁

帝都時代ノ遊園

六二一

太政大臣三條實美殿

皇城内外樹木配置再上申書ニ付上申

元當府十一等出仕南部陳々皇城内外樹木配置之義ニ付再上申書差上候處同人義ハ去月廿八日勸業寮ニ轉任候得共、當府在職中差出置候儀ニ付、右書面貳冊即御廻申候、可然御取計被下度、此段申上候也。

明治七年八月二日

左院 御 中

東京府知事 大久保一翁

元御府十一等出仕南部陳々皇城内外樹木配置之再建言書御廻落手致し候、然ル處初發之建白本院ニ未相廻不申候ニ付、御差廻有之度、此段申入候也。

明治七年八月四日

東京府 御 中

左院書記官

元當府拾一等出仕南部陳々皇城内外樹木配置之儀、初發之建言書御院ニ御廻し可申様御申越之趣承知致候、右書面ハ去五月三日正院ニ差出置候ニ付、同院へ御掛合有之度、此段御答旁申進候也。

明治七年八月三日

左院 御 中

東京府

元御府十一等出仕南部陳々皇城内外樹木配置之義、初發ノ建白ハ正院ニ御差出相成候

ニ付、同院ニ掛合可申旨御申越之趣承知致候、然ル處都建白書ハ本院ニ差出可有之處、初發ハ直ニ正院ニ御差出、再議ハ本院ニ御差出ニテハ甚以不都合之事ニ候、仍テ初議正院ヨリ御取戻御差出有之歟、或は草案も有之候ハ、本人ニ御達之上御差出有之歟、右様之内可然御取計、此段再應申入候也。

明治七年八月十日

東京府 御 中

左院書記官

元當府十一等出仕南部陳々皇城内外樹木配置之義ニ付、初發之建白書差出可申段、御掛合之趣承知致し候、則寫差出候間御落手有之度候也。

七年八月十二日

左院 御 中

東京府

記事類纂

〔參考〕

擁道樹

道路の兩側に樹木を列植するハ、特り市街の風色を修繕して其外面を文飾するの虚飾のミに止まらず、其根ハ地底に彌蔓して能く道路の崩壞缺損を防ぎ、其枝葉ハ蕃茂して程よく氣候の寒暖を調攝し、沿道の住民並びに來往の行人の衛生上に關係を有するや寔に鮮少なからざるを以て、米の市街歐の都府、苟くも人民の輻湊する土地に在てハ、必ずや樹木を通路の双傍に列植して、住民並びに行人の來往居住に便せざるハ

帝都時代ノ遊園

然れども今吾輩^{田健}がこの擁道樹の説を綴るに臨み、只擁道樹の利益を略説したる而已にて、其利益の由て起る所以の者を辯明せざる時ハ、荻芦船を蔽ふて紅絃朱唱の聲を遮ぎり、痴雲月を吞で底櫻万朶の花を認め難き感を抱くの人なきを保せざれば、吾輩ハ其利益の直接にもあり、又間接にもある所以の譯を簡約に説去るべし、蓋し又無益の辨に非ざるを信ず。

綠葉重疊重陰四隣を掩ひ、人間また夏あるを知らざらしむる地は、其大氣殊に清涼なるを以て、三伏炎熱の候油雲四方に起り、驟雨の將さに來らんとするや、必らず先づ樹木の多き地方より懸り、千枝万朶相壓して樹木林立、樹又樹に接する場所ハ風力夫が爲めに支障せらるゝを以て、樹林の裡なる家屋ハ朔風の寒威に感ずること較や少なき者なり。是れ樹木の寒暖を調攝して、氣候の變換を牽起するの證と爲す可きなり。猶また手近き一證を擧ぐれば、東京府下にて繁華を以て稱せらるゝ銀座尾張町と、吾輩の住居せる麻布とハ其相距る僅々十餘丁に過ぎざれども、銀座尾張町ハ大厦巨屋鱗並櫛比し、樹木を見ること甚だ少なく、又麻布邊ハ銀街に比すれば人烟較々稀疎にして、加ふるに喬木大樹の到る處相望むあるが故に、七八月の交祝融威を張りて炎熱の耐へ難き時に方りても、麻布ハ銀座尾張町より華氏寒暖計五度の暑氣を減じ、又夏去り、秋逝き朔風凜冽寒威堪へ難き冬季に至れば、赤羽根又ハ愛宕下町にてハ多少の堅

氷を見るあるも、纔かに芝公園地内に入る時ハ路傍の氷霜をだも見ざる事あり。是れ固より眼前の經驗にして、三尺の童子も見て怪とせざる所なれども、亦以て樹木の繁茂に依りて容易に氣候の變換を起し來り、四時ともに適度の寒暖を保存し得るを知るに足れり。

樹木の氣候に關係を有するや概むね此の如し、然れども猶ほ他に樹木の人間衛生上に就て大なる關係を有する事あり、其譯は元來植物は酸素および水分を吐きて、炭酸及び諸母亞を吸取し、動物は炭酸および諸母亞を吐きて、酸素および水分を呼吸するの性質を備へたる者なれば、動植二物の相須て互ひに其健康を保養し、其生育を裨補するは智者を俟て後に知らざるが如し。是故に都會首府等の繁華なる市街は勿論の事、山驛海濱の村落と雖とも、苟くも人民の多く居住する土地に在りて、必ず相應の樹木を植付けて彼を利し是を益し、一方には寒暖の加減を調攝し、一方には人身の健全を保養するハ所謂造化の配劑に遵て、天地の化育を賛くる者なるべし。

是まで世人が擁道樹に就て下したる所の見解ハ、概ね三伏の候日光を遮斷して路人の苦熱を防禦するの慈善心に出る者と爲すに非れば、爨隙を隣國に開きて國歩艱難の時に方り、非常の用材に供するの遠計に出る者と爲し、其見解甚だ狭小なりしが故に多くは松又ハ杉の如き巨材を列植し、而して之を植るにも人家稠密の場所に於てせずして、却て曠原平野の人烟稀なる道路に於てせしが、誰か知らんや、擁道樹の利益

は是等の瑣々たる點に非ずして、別に氣候衛生等の大關係あるを、擁道樹乎これを植て利益なきを覺悟せば、伐て以て棟と爲し、梁と爲し、柱と爲し、薪と爲すも可なり是故に就使ひ吾輩の所説をして暫く架空の妄誕と爲すも、猶ほ能く無用の地に向て此用材を獲るの利得あり、況んや吾輩の演る所は決して空論虚説に非ず、之を道理に質し、之を實際に驗するも、確乎動かす可らざるの證左あるに於てをや。理由業已に斯くの如くなれば、吾輩は將さに言ハんとす、擁道樹植付の擧たる一年を早くすれば一年の利を増し、二年早くすれば二年の益を生ずるハ、敢て辨を置く迄の事にしも非る可しと。

擁道樹の市街に欠く可らざるは已に右に述べおるが如し、依て吾輩は今より擁道樹に適當なる樹木の辨別、並びに移植の季節又ハ其方法等を説明すべし。

大凡嬌艶なる花を開き、美麗なる實を結び、輕盈笑を含みて嬌て將さに語らんとする海棠の如き者、千顆萬顆枝玉を綴る林檎の如き者は、行人および兒童等が往々これを攀折して、或は樹勢を殺ぎ、或は風致を損し、或は違式に抵觸するの恐あるを以て移植せざるを可とし、又樹幹六尺ほどの間に荊を生じて、觸るゝ者を害する卓莢樹の如き、刺毬簇々路頭に墮ちて、口を刺し指を刺す栗樹の如き者は、總て人に傷くるの患あるを以て之を省くを至當と爲し、又常盤木は火災の時に方りて火勢を防禦するの豫備に充るか、或ひは河流の南岸に植付る時は、敢て不可なる無しと雖ども、其他の場所に

在りては三冬酷寒の候に至りて日光を遮斷し、且つ雨餘雪後などにも氷雪永く存して泥濘を醸成し、往來の衆庶をして太だしき不辨を致さしむるの恐あるが故に、可成相除くを得策と爲す。將た樺銀杏の如き喬木は、道幅の廣濶なる場所に植れば功用あれども、通常の市街には適當とハ爲し難く、梅、山茶の如き矮樹は、風色の美觀を添ふるも、只外面の文飾のみにて左のみ功用なき者なれば、是亦見合すを得策となす。

顧ふに旃檀、糖楓、明石屋の如きは、通常市街に植付て可なるべき歟、或人は柳を以て可とし、或人は青桐を以て適當とし、或人は一年佛國にて擁道樹葉の蟲害を被りたる時、獨り神樹のみ其害に罹らず、能く舊時の勢力を保存せしを以て、此樹を良中の良樹と爲せり。(奥國博覽會報告書中、道路部並木説にも擁道樹に適當なる樹木の説あり、照覽すべし。)何にしても生長可成迅速にして、容易に

枯槁するの患なく、車摩し馬觸れて誤つて外皮を傷つくるあるも、爲めに其樹勢を減殺する事なき樹木は、之を至適と爲すも大過なかるべき歟。

扱其移植の季節は、落葉木なれば落葉後津液流通の停止せる間を以て好時季と爲せば、宜しく十一月十二月(寒中は五陳の恐れ)二月三月四月の間に植付くべく、常盤木は春夏の交氣候の漸やく溫暖に復したる時に移植すべし。

又移植の方法は、地質の澎軟なる場所なれば樹根の自在に彌蔓し得るの便あるを以て、縦令ひ植近む所の穴の淺きにもせよ、差たる障害は牽起さざれども、地質の堅硬なる場處に於ては、三四尺も穴を掘りて植込むに非ざれば往々枯死するに至る者なり。

嘗て府下の道路に植付たる樹木の内、間々枯死する者ありしも、移植の際全く穴の掘方淺く、且つ狭きよりして此事ありしや必然なれば、昨十一年の春、敝社○學農社命を蒙りて内務、大藏、兩省の外圍に移植したる樹木は、深さ三尺幅六尺の穴を掘り、其穴の下の四圍には瓦礫を入れて、之に節を抜たる竹筒を通し、大氣を竹筒よりして地底に通ぜしめたるが故に、恰も植木鉢の底に穴ありて容易に空氣を樹根に送り、植木の勢力を裨補すると同一一般の理にて、其生長殊の外速く、又枯死するの患も之あらざりし、然れども是は費用を省くを主とせしが故に、瓦礫と竹筒を以て其用に充てしが、若し費用の多寡を論ぜず、單に完全を求むる時は瓦礫に代るに瓦筒を以てし、竹筒に代るに鐵筒を以てせば、空氣の地底に通ずる事一層裕なるを以て、樹木も一層の勢力を増す者なり。

既に之を植付たる後ハ、其顛倒を扶けんが爲めに木匡を作りて之を保護するを要す、但し木匡は其種類一二に止まらざれば、其作り方も一概に論じ難けれども、今其尤も簡畧にして便利なるハ卷首に掲げたる縮圖○略の如く、長さ六尺程の貫二本を其樹の左右に建て、雙方より斜めに木を打付けて、之に、ホワイトワツシ（石灰を水にて）を塗り置けば、外飾美麗にして木匡も亦た久しきに堪へる者なり。

擁道樹の擧たる、多分の費用を要するにも非ず、甚たしき勞力を費すにも非ず、又差たる難事にも非ざるに、世人の手を此に下す者あらざるは、開進々取を以て自から任す

る日本人民の缺點に非ずして何そや、聞くが如きハ佛國巴黎府ハ我東京に比較すれば其幅員狭小なりと雖ども、市街道路の兩側に列植せる樹木の惣數ハ、一千八百七十五年の調査に據るに十萬零二千五百五十四本にして、之を保護するの費用ハ每歲十九萬フランク（即ハ我三萬八千餘圓を要する由、佛國と我國と開化の度數自から差等あり、佛民と我人民と貧富の位階日を同くして語る可らざるハ固よりなれども、我國民は開進々取を以て自から任じ、利害得失を商量して苟くも利得あるを開悟する時ハ、彼我を問はず進んで之を取るの人民なれば、一日も早く擁道樹の氣候の調攝に、市街の修飾に衆庶の衛生に、道路缺損の豫防に欠く可らざる理由を悟りて着手あれ。

農業雜誌○明治十二年

三田植物試驗地

是月

○明治七年（紀元二五三四年）八月

勸業寮三田四國町

○市内芝區

ニ植物試驗地ヲ買收ス。○太

三田植物試驗地事蹟

政類農史。

三田植物試驗地

左ノ如シ。

八月十日 （七年） 明治

府下三田四國町ニ植物試驗地及建家ヲ購フ。

内務省伺

當省勸業寮ノ儀ハ章程ニ照シ漸次著手可致管ニ候處最本邦緊要ノ農事從前勸奨ノ

帝都時代ノ遊園

道不相立、彼是熟按仕候處、各地土質氣候ノ異ナル、素ヨリ一齊可相成筈ハ無之候得共、數百年割據ノ餘習、或ハ管見ニ安ンシ古習ヲ墨守シ、耕耘ノ精粗農器ノ便否、及ヒ種物ノ得失等、都テ講究試驗ノ術不相立、將來進歩ノ目的一切無之ノミナラス、時制ノ變換モ有之事ニ付、更ニ牧畜樹藝本草養蠶等内外ノ別ナク農事ニ關スル一般ノ手術ハ勿論、種品ノ良否、樹藝ノ得失、培養ノ利害、器械ノ便否ニ至ル迄、著實精徹ニ試驗ヲ盡シ、之ヲ全國農事ノ模範ト爲シ、遂次各地方ニ推及セシムルニ非サレハ、到底億兆因襲固著ノ陋拙ヲ破リ、自然活目進歩時勢適當生産富殖人民安生ノ域ニ至リ申間敷、至急至大ノ要事ニ付、粗目算相立候處、租稅寮ヨリ引次相成候駒場野ノ儀ハ、闔圍牧場ニ必要、且内藤新宿出張所ニ於テハ内外穀菜樹木總テノ植物試驗候得共、地味瘠薄必需ノ種品中往々不適當ノ物品不尠、然ルヲ強テ樹藝候共、徒ニ肥養人力トモ多數ノ冗費ニ涉リ、要スルニ試驗ノ實効難相立ノミナラス、前段陳述仕候通、各地方推及ノ順序ニ於テハ、必ス各地方ノ農夫ヲ召集、混耕五ニ其所長ヲ盡サシメ、實地ニ著テ其事理ヲ講習研究セシメ、練熟歸郷爲仕候得ハ、自然各地方ノ耳目ヲ一新シ、全國農業進歩ノ基始テ爰ニ相立可申、然ルニ於テハ場所ノ狹隘地味ノ不適當トニ依リ、何分其術ヲ盡ス能ハス、依テ不得已事別ニ良地ヲ精撰、充分試驗ノ實相立候様仕度、諸所取調候處、第二大區小八ノ區三田四國町一番地凡四萬坪餘、代價凡三萬圓餘ノ地所ハ素ヨリ適當ノ土地ニテ、地主共へ熟談粗相整候間、精細取調濟ノ上、總地坪御買上ノ儀可相伺ノ處、右ノ内福島

嘉兵衛外三人所持地三萬千四百二十九坪五合、此沽券金壹万九千貳百五拾三圓ノ分ハ、當人共於テ聊無差閔熟談相整候、然ル上ハ下ケ金遷延相成候テハ不都合ニ付、先示談相整候分ヨリ下ケ金致遣度存候間、此段至急御決議有之度、當今御用度多端ノ際ニハ候得共、農事進歩生産滋殖全國一般鴻益ヲ興シ候大基本ニ付、御許可ノ上ハ御出金ノ儀大藏省へ御下命有之度奉存候、尤殘地御買入ノ儀ハ素ヨリ、各地方農夫召集ノ順序、及實際著手ノ方法等ハ、引續詳細取調相伺候様可致、依之略圖相添、此段相伺候也。

七月二日。

(朱) 伺之趣聞屆、總地坪凡四萬坪餘ノ代價金三萬圓餘ノ内、金壹万九千貳百五拾三圓下ケ渡候條、大藏省ヨリ可受取、尤地價精細調査ノ上、買上方可取計事。八月十日。

太政類典

是ノ月○明治七年八月。内務省ヨリ勸業寮内藤新宿ノ試驗地狹隘ニシテ土地瘠薄ナルニ由リ、更ニ三田四國町ノ地凡ソ四萬餘坪ヲ買收シ、以テ植物ノ試驗地ト爲サントヲ太政官ニ稟議シ、裁可ヲ得タリ。○太政類典。

本月十日先ツ三萬一千四百二十九坪五合ヲ買收シ、三十日ニ至テ殘地一萬三千七百四十五坪五合ヲ買收ス。

是月○明治十年六月。東京三田四國町勸農局用地ヲ三田培養地ト稱ス、尋テ之ヲ三田育種場ト改稱ス。本場ハ内外穀菜果樹有用木材ノ良種ヲ樹藝シ、廣ク民間ノ需求ニ應シテ之ヲ賣

與シ、又農産會市ヲ開クヲ主旨トス。勸農局沿革錄

三十日○明治十一年九月三田育種場ノ開場式ヲ行フ。勸農局雜四八三

一〇明治十一年二月勸農局所管ノ三田育種場ニ於テ始メテ苗種交換ノ市ヲ開ク。勸農局沿革錄

大日本農史

附記
芝山内土橋改架

〔附記〕 芝山内土橋改架

知事
參事
奏任出仕

出 庶 營

納 務 繕

増上寺元山内貳ヶ處橋損シ候ニ付、其儘難差置候間修繕見積リ候處、別紙之通三十圓程相掛リ、右入費ハ、同山内床店類賦金ニテ出銀可然哉、相伺候也。

但、土橋之分ハ、外橋梁古材之中相用可申積ニ御座候。

九月十三日

芝増上寺境内靈屋裏手山林閑道土橋大破ニ付、架替并元御成門道松原石下水蓋石折損シ、据直シ御入費内譯ケ、

一、合金貳拾八圓五拾錢三厘。

内

土橋渡リ貳間
幅平均ニ八尺

此坪貳坪六合六勺七才。

附記

橋臺前後左右板柵長
折廻シ貳間高三尺

貳ヶ所。

同土橋上置土前後取合道路長
延六間幅均九尺置土六寸

此坪九坪。

同所西之方左側人留
手摺長六尺高三尺

壹ヶ所。

同御成門通石橋蓋石
据直シ並不陸直シ共

壹ヶ所。

右仕様、在來土橋大破落込候ニ付、木材土共取揚ケ、橋下土浚方致シ、前後板柵杭木松丸太貳間末口三寸五分貳ツ切ニ貳尺まニ打込、柵板深川黒船橋ニ有之古敷板之内、木柱宜敷分朽腐兩傍削リ取、幅均シ五寸ニシテ、杭毎ニ四寸欠折釘板幅ハ貳本宛相付、杭頭切揃柄付投渡シ、受木同所之水貫ヲ置渡シ、四寸欠折釘杭毎ニ壹本宛打投渡シ、平桁中桁共同所之古桁相用、朽腐ハツリ取、埋木刷木共致シ、敷板同所之古敷板之内、朽腐兩傍削リ取、幅均シ五寸ニシテ、五寸手違、銘板壹枚ニ付、八挺穴掛堅メ、土留地覆杉五寸角片流レ水垂レ付置渡シ、短樞杉四寸角長五尺左右ニテ、八ヶ所根柄、耳折下端迄差通シ、四寸欠折釘壹ヶ所、四本宛打通にて、杉大貫差通シ、笠木杉五寸角貳ツ割ニシテ、上端丸形ニ削リ、四寸欠折釘束毎ニ壹本宛打、同四寸銘壹ヶ所ニ貳挺ツ、掛堅メ可申。

一、土橋置土前後取合共長延六間幅均壹間半置土六寸通り持込突堅メ、切込砂利貳寸通り敷入突堅メ可申。

一、西之方左側人留手摺長壹間高三尺、杭木杉丸太長五尺末口三寸五分堀立、通貫杉大

貫差通シ、笠木長壹間幅五寸厚貳寸五分枕木の四寸欠折釘打付、同四寸録貳挺宛掛堅メ可申。

一、元御成門通松原横切下水石蓋折損シ有石ヲ以合口切直シ据付、其外不陸之處据直シ可申。

右御入用内譯ケ、

松丸太拾四本 長六尺末口三寸五分。

是は前後板棚長延四間之處、片側ニ七本遣ニテ拾四本。

代金七拾錢 但シ壹本ニ付、代五錢。

杉三本貳分五厘 長貳間五寸角。

是は土留地覆左右ニ而貳本、笠木貳ツ割ニテ左右ニ而壹本人留手摺貳分五厘。

代金壹圓貳拾壹錢九厘 但シ壹本ニ付、代三十七錢五厘。

杉八本 長五尺四寸角。

是は左右短羅片側四本宛八本。

代金五拾錢四厘 但シ壹本ニ付、代六錢三厘。

杉貳挺五分 長貳間厚壹寸。

是は通シ貫貳丁人留手摺通シ貫五分。

代金貳拾貳錢五厘 但シ壹丁ニ付、代九錢。

杉貳本 長五尺末口三寸五分。

是は人留手摺杭木に遣。

代金九錢 但シ壹本ニ付、代四錢五厘。

小以メ金貳圓七拾三錢八厘。

四寸目折釘貳百三拾本 壹本ニ付、鐵目拾五目。

此鐵目三メ四百五十目。

是は板棚杭木へ拾四本、桁受木へ六本、欄板は百六拾八本、束根三拾貳本、笠木へ拾本、合二百三拾本。

五寸手違録百九拾貳挺 壹丁ニ付、鐵目貳十五目。

此鐵目四メ八百目。

是は散板貳拾四枚、蓋枚、八挺掛メ百九十貳丁。

四寸録貳拾挺 壹丁ニ付、鐵目貳十目。

此鐵目四百目。

是は短羅か笠木蓋ケ所貳丁宛、人留手摺壹ケ所貳丁宛。

鐵目合八メ六百五拾目 但壹メ目ニ付、代六拾錢。

代金五圓拾九錢

大工貳拾人。

是は橋臺坪に付六人懸拾六人、板棚杭木先(○虫バミ)欄板取付人留手摺共四人合貳拾人。

代金七圓五拾錢 但シ壹人ニ付、代三十七錢五厘。

人足三拾貳人三分。

是は土橋落込取片付大工手傳九坪共壹坪之處九人懸リ拾三人三分。

代金六圓四拾六錢 但シ壹人ニ付、代貳十錢。

足シ土九合。

是は橋上置土前後取合道路共長延六間幅均九尺之處六寸置、平坪九坪分。

代金五拾四錢 但シ壹坪ニ付、代六十錢。

切込砂利三合。

是は平坪九坪之處、寸通敷入、(以下不明)

代金壹圓貳拾錢 但シ壹坪ニ付、代四圓運送共。

石工壹人。

是は石橋蓋石据直シ不陸直シ共。

代金三拾七錢五厘 但シ壹人ニ付、代三十七錢五厘。

手傳人足壹人。

是は同斷石工手傳。

代金貳拾錢 但シ壹人ニ付、代貳十錢。

運送船壹艘。

是は深川黒舟、極小芝土橋送。

代金壹圓五拾錢

同車四輛。

上野東園院

上野東園院
養育院圍込
事蹟

十月十七日 ○明治七年(紀元二五三四年) 上野_{○市内}下谷區。東園院ヲ養育院ノ所屬トス。野山_{○山上}。

上野東園院養育院圍込 左ノ如シ

知事
參事
奏任出仕

文部大輔田中不二麿殿

御省御用地ニ可相成兼御打合ニおよひ候上野山内諸寺院之内、東園院之儀、府下窮民養育院に圍込度旨、會議所掛之者、別紙之通申出候處、御差支無之哉、且又右寺坊外諸寺院とも其御用地ニ可相成分建家、其外之處分方、各寺に夫々御談濟之上、早々御報知可有之筈、昨年中御協議之末、いまた何等之御報も無之、何れも御調ヲ相運居候哉、此段、東

帝都時代ノ遊園

是は芝土橋の御場所迄積送り。

代金貳圓八拾錢

但シ壹輛ニ付、代七拾錢。

口々合金貳拾八圓五拾錢三厘。

右之通り御座候。以上。

九月

服部市兵衛

芝公園書類

社寺取扱
庶務本課
地券取扱

及御掛合候條、否義御返答有之度候也。

十月二日

上野山内東園院府下窮民養育院へ圍込度旨、會議所掛申立之旨趣并寺坊其外諸寺院共當省所轄可致方、建家其他之處分各寺に示談之願末御掛合之趣致承知候、會議所掛願之趣、東園院圍込之儀者、當省ニ於る目下差支無之ニ付、分割引渡可申候間、可然御處分有之度、然ル處各寺建家引拂之儀者、即今差急キ候儀ニ無之、先以從前之通各寺同所に住居爲致可申ニ付、當省用地トノ地券御渡有之度、尤異日當省之都合ニ寄り、各寺爲引拂候儀も可有之、其節者兼多御申越之通相當之引拂料等下與可致候、此段及御廻答候也。

明治七年十月十二日

文部 大少丞

東京府 御中

知事

參事

奏任出仕

文部 大少丞御中

上野山内東園院之儀、窮民養育院に圍込之儀御差支無之、且各寺引拂之儀者、即今御差急キニ無之云々御廻答之趣承知致候、然ルニ東園院ヲ始其地續各寺之儀者、其御用地可相成積ニテ未夕地所御引渡不致前ニ候得者、御立會之上分割引渡候方可然存候、依る者來

庶務 本課
地券 取扱
社寺 取扱

淺草公園地
内扱方

淺草公園地
内扱方事蹟

是月○明治七年(紀元二五三四年)十月淺草公園○市内淺草區地内取扱ニ關シ所轄戸長伺書ヲ提

出ス。○淺草公園諸願伺。

淺草公園地内扱方 十月淺草公園所轄戸長同地取扱ニ關スル數條ノ伺書ヲ提出シテ指

知事

參事

奏任出仕

庶務 本課

淺草公園取扱方之義、所戸長より別紙之通伺出、右者是まで從來仕來之儘ニ差置、不體裁之廉不少候間、芝公園地之例ニ基き、下ケ紙之通御指令相成可然哉相伺候也。

帝都時代ノ遊園

六三九

ル十七日午後二時頃まで掛官員養育院へ出張可爲致候間、御省々も御差出相成候様いたし度、且又地券御渡之儀者取調之上追ふ是方可申入、此段旁申進候也。

十月十四日

御届

兼る文部省御用地之御沙汰も御座候山内東園院境内全地、昨十七日庶務本課川上大屬殿文部省官員御兩名御立會ニる養育院に御引渡ニ相成候間、此段御届奉申上候。以上。

明治七年十月十八日

東京府知事大久保一翁殿

東叡山 寛
永 寺
上野山内一件○上野公園書類同。

公園地内取扱方之儀ニ付相伺候書附

一、第五大區八小區淺草寺元境内公園地之内三千三坪餘之場所、諸店見世物揚弓寄セ場或は水茶屋等出稼之儀、現今貳百五拾軒有之、右執レも從前淺草寺境内地之砌、同寺に相對テ以地所借受、地代として壹ト坪ニ付金壹錢六厘より壹錢位迄銘々より取集メ、總計毎月三拾壹圓餘同寺に收納罷在候、尤明治六年六月十八日公園地と被仰出候後は、右地代之儀外寺院門前町屋並之通取計可申哉之旨、同年十一月十八日先戸長福島正義ハ相伺候處、可爲伺之通旨御指令相濟、取扱振は御規則御確定相成候迄、總る從前之通差向可取計旨庶務御本課ニ御口達有之趣、依テ出稼之者共地代取集方其外取扱之儀、淺草寺傭之内從前取扱罷在候もの差向從前之通り相心得、不取締無之様取扱可申旨前同人ハ申付有之、然ル處兎角舊習有之趣入御聽、更ニ取扱方見込相立相伺可申旨御沙汰ニ付、公園地御規則御確定迄左ニ、

一、前書出稼在來場所之外、自後借地開店申出候共、一切不相成儀ニ相心得可申哉。
 但、葭簀張等ニ不都合無之場所は、適宜ニ出稼取計可申哉。○下紙。原書脱落シテ不明ナリ。
 一、出稼者之内從前淺草寺に相對テ以テ多ク坪數借込、右之内ヲ外人に又貸致候もの有之、右は取締ニも相關し候義ニ付、爾後又貸一切不相成、不用之分は返地爲致候事ニ相心得可申哉。

第二條伺ノ通。

一、地代之儀是迄諸堂塔ヲ除之外、壹ト坪代金壹錢六厘ハ金壹錢迄ニ御座候其内二季ニ相納來候者も有之、右は毎月爲相納可申候。

第三條地代之義ハ、改テ現場拜借之場所坪數ニ應シ、最寄本地代十分ノ五爲相納、取立方ハ可爲伺之通事。

一、毎日午前第八時出店、午後七時相仕舞、跡不潔無之様掃除急度注意可致旨申諭置候様可仕候。○下紙。原書脱落シテ不明ナリ。

一、出稼者之内人撰仕、三名程取締方取扱之もの申付地代取立、且時々見廻り不潔は勿論舊習無之様取締爲致、詳細之事故たり共扱所に申出、注意ヲ受不都合無之、諸人迷惑不致、輕便ニ取扱候様仕度、給料之儀は公園内下掃除代更ニ扱所に爲相納、右上り高ヲ以毎月壹人ニ付金五圓ツ、遣し、不足之分は地代上り高之内ヲ以御下ケ渡し被下候様仕度。

但、下掃除代上り高且掃除方法等尙取調可申上。
 第五條仲間取締人差置候義不苦、給料ハ則仲間ニテ可取賄筋ニ付、出稼人共申合適宜給與候義可相心得候事。

一、出稼之もの諸店軒別イロハ附番號原籍區長銘記載之木札、表口に爲差出候様爲致可申哉。○下紙。原書脱落シテ不明ナリ。

一、從前上り高之儀、諸入費引去リ、殘月々年寄に相預ケ置候得共、此分此度不殘相納、爾後
 帝都時代ノ遊園

之儀は外門前町屋並之通二季上納可仕哉。○下紙原書脱落ニ付不明ナリ。
右差向廉々奉伺候也。

明治七年十月

第五大區八小區
戶長

柏木 熹太郎

第五大區八小區
南馬道町四十番併地
内田八五郎○外人略

右者今般淺草金龍山公園地出稼之もの諸店葭簀張候地代取立方等取扱之儀兼御指
令濟之通前書三名之者取締人申付候間此段御届申上置候也。

明治七年十二月

第五大區八小區
戶長

柏木 喜太郎

淺草公園諸願伺

十一月七日○明治七年(紀元二五三四年)。太政官地所名稱區別改定ヲ布告シ、公園ヲ官
有地第三種ニ編入ス。

公園第三種官有地編入

第一百貳拾號

明治六年三月第一百拾四號布告地所名稱區別左ノ通改定候條此旨布告候事。

明治七年十一月七日

太政大臣 三 條 實 美

公園第三種
官有地編入

公園第三種
官有地編入
事蹟

官有地

第一種地券ヲ發セス、地租ヲ課セス、區入費ヲ賦セサルヲ法トス。

一、皇宮地 皇居離宮等ヲ云フ。

一、神地 伊勢神宮、山陵、官國幣社、府縣社及民有ニ非サル社地ヲ云フ。

第二種地券ヲ發シ、地租ヲ課セス、區入費ヲ賦スルヲ法トス。尤モ府縣所有地ハ地券ヲ

發セス、唯帳簿ニ記入ス。

但、此地ニアル官舎ヲ貸渡スハ借地料ヲ賦スヘシ。

一、皇族賜邸

一、官有地 官、院、省、司、察、府、藩、縣、本廳、裁判所、警視廳、陸海軍、分本營其他政府ノ許可ヲ得タ

ル所ノ地ヲ云フ。

第三種地券ヲ發セス、地租ヲ課セス、區入費ヲ賦セサルヲ法トス。

但、人民ノ願ニヨリ右地所ヲ貸渡ス時ハ、其間借地料及區入費ヲ賦スヘシ。

一、山岳、丘陵、林藪、原野、河海、湖沼、池澤、溝渠、堤塘、道路、田畑、屋敷等其他民有地ニアラサルモ

ノ。

一、鐵道路線敷地。

一、電信架線敷地。

一、燈明臺敷地。

帝都時代ノ遊園

一、名所舊跡名區及公園等民有地ニ非ルモノ。
一、人民所有ノ權利ヲ失セシ土地。

一、民有地ニアラサル堂宇敷地及ヒ墳墓地。
一、行刑場。

第四種地券ヲ發セシ、地租ヲ課セス、區入費ヲ賦スルヲ法トス。

一、寺院大中小學校、説教場、病院、貧院等民有地ニアラサルモノ。
民有地

第壹種地券ヲ發シ、地租ヲ課シ、區入費ヲ賦スルヲ法トス。

一、人民各自所有ノ確證アル耕地、宅地、山林等ヲ云フ。

但、此地賣買ハ人民各自ノ自由ニ任スト雖、變換スルハ官ノ許可ヲ乞フヲ法トス。
一、人民數人、或ハ一村、或ハ數村所有ノ確證アル學校、病院、鄉倉、牧場、秣場、社寺等官有地ニ
アラサル土地ヲ云フ。

但、此地賣買ハ其所有者一般ノ自由ニ任スト雖モ、潰地或ハ開墾等ノ如キ大ニ地形
ヲ變換スルハ、官ノ許可ヲ乞フヲ法トス。

第二種地券ヲ發シテ地租區入費ヲ賦セサルヲ法トス。

一、官有地ニアラサル鄉村社地及ヒ墳墓地等ヲ云フ。

以上。

公園經營伺

十七日○明治七年(紀元二五三四年)十一月。公園經營及取締ニ關スル伺書ヲ内務省ニ提出ス。

○各公園例則。

公園經營伺

十一月十七日公園經營及取締ニ關スル伺書ヲ始メテ内務省ニ提出ス、該書面ハ十月十日太政官ニ出シ、所管換ノ爲史官ヨリ、府下公園之儀ニ付御伺出ノ處、右ハ内務省へ御伺出可有之、依テ別紙御伺書正副共及御返却候也、下却下サレタルニ依ル。

庶二千八百六十六號

公園地ノ儀ニ付伺

公園取設ノ儀ニ付テハ、本年三月中相伺候次第モ有之候處、其後會議所詰田畑謙藏外壹人ヨリ別紙之通見込申出、概ネ右等ノ趣意ヲ以テ差向施設方相起シ、漸次盛大ニ推及シ候外有之間、布被存候間、正院へ相伺候處、御詮議ノ次第有之、當分從前ノ通可致置旨御指令ニツキ、篤ト勘辨ヲ遂ケ候處、巨多ノ金員ヲ費シ施設候儀ハ不宜、且ツ容易相運ヒ兼可申候へ共、地所ノ儀現今ノ儘差置候テハ自然不潔ヲ生ジ候而已ナラス、各所トモ締方不相付不體裁ニ可相成ニ付、差向三綠山並東叡山、金龍山ノ如キ、今後有志ノ者ヲシテ年限ヲ期シ、一所毎土地相住セ、漸次位置ヲ更換シ、艸木類植サセ候半ハ、風景ヲ一變シ、自然不潔ニ不相成、取締モ相立可然被存、且ツ公園ノ名義ニテ御不都合ニモ候ハ、花園或ハ遊園ノ名ヲ附シ、後年ニ至リ公園十分經營可相成節ハ、無障礙着手可相成方法ヲ設置、手堅望ノ者相撰、不取締無之様申付候テハ如何可有之哉見込ニ付、再應相伺候處、右ハ御省へ

帝都時代ノ遊園

可伺出様史官ヨリ申越伺書返却相成候間、則更ニ相伺候條、何分ノ御指揮有之度候也。

明治七年十一月十七日

東京府知事 大久保一翁

内務卿伊藤博文殿

尙以田畑謙藏等ヨリ差出候見込書ハ、本文正院へ伺ノ順序御心得迄差添候儀ニ付、右様御承知有之度候也。

書面伺之趣ハ、公園ノ風致、道敷ノ都合等詳密勘辨ノ上、園内取締ノ方法及貸地分割ノ見込ヲ立、精圖相添更ニ可伺出事。

明治八年二月十日

内務卿大久保利通代理
内務大丞 林友幸

公園之儀、是迄評議モ御座候處、未夕出來ニ至リ不申、右地所住居ノ者曖昧ト仕、不都合ノ趣相聞申候、因テ及再評候處、原來修繕費用出ル處無之候テハ、一時有志ノ者取立候テモ、永續ノ方法無覺束候間、假令ハ公園地五萬坪有之候ハ、地位ノ高卑ニ從テ増減可有之候得共、大略三萬坪ヲ公園ノ地ト相定、草木樹石都テ游觀ニ供シ候様ニ取立、酒店茶店ノ類猥雜ノ儀ハ一切無之、休憩處トシテ雅潔ノ家屋ヲ可然場所ニ取設、遊客ノ安息ニ供シ可申、残り二萬坪ヲ以テ費用出途ト仕、借地或ハ借屋等ニ致シ、右賦金ヲ以テ修繕入費ニ充テ可申候、右仕様諸公園ノ定制ニ御取極御座候ハ、公園出來可相成、右望ノ者モ可有之奉存候。

明治七年甲戌年第五月

西村 勝三 田畑 謙藏

東京府知事大久保一翁殿

各公園例則

〔附記〕 芝公園床店出願却下

知事

參事

奏任出仕

庶務 本課

芝七軒町仙波徳次郎外壹人ハ公園地へ床店補理出願ニ付、戸長ハ別紙之通伺出候處、右ハ場所狹隘ニテ此上新規願差許候者稠密汚穢ヲ生シ、且風致ヲ損シ候ニ付、御聞届無之方可然哉、御指令案相伺候也。

十一月廿七日

書面公園地へ床店并葭簀張共新規補理之義ハ難聞届候事。

十一月廿八日渡

芝公園地南松原之内、別紙之通り掛ケ床七ヶ所補理申度旨、仙波徳次郎、高橋徳三郎ハ申出候間、場所取調候處、往還等ハ差障無御座候間、本人共願之通場所貸渡シ候も苦シカル間敷哉、此段奉伺候也。

第二大區三五小區

戸長

秋本

政富

植田孫右衛門

七年十一月

以書付奉願上候

第二大區五小區

芝七軒町貳番地
仙波徳治郎

帝都時代ノ遊園

六四七

附記
芝公園
床店出願却下

第二區五小區
芝中門前區
高橋町目六番地
高橋德三郎

右兩人奉申上候、芝公園地南松原之内、別紙繪圖面朱梓之場所に、壹間ニ三尺之掛ケ床七ヶ所補理諸事御規則之趣可相守候間、此段御聞濟被成下置候様奉願上候。以上。

明治七年戌十一月

右
仙波德治郎

高橋德三郎

芝公園書類

公園貸地料
二季徵收

廿日○明治七年(紀元二五三四年)十一月。淺草公園○市内。淺草區。貸地料八年度○明治○紀元二五三五年。ヨリ之

ヲ二季徵收ニ決シ、上野○市内。下谷區。芝○市内。芝區。兩公園亦之ニ準ズ。○淺草公園諸願伺。

公園貸地料
二季徵收事蹟

公園貸地料二季徵收 下記ノ如シ。

知事

參事

奏任出仕

庶務課

元金龍山境内公園地出稼人地代、是迄之分ハ此度不殘相納、爾後之分ハ二季上納可致哉之旨、戸長方別紙之通伺出候處、伺之通ニテ可然被存候ニ付、上野芝兩所も此例ニ一定シ爲相納、三井加島之内へ相預置候方可然哉、相伺候也。
十一月三十日
伺之通。

淺草金龍山公園地々代上納之儀伺書

第五大區八小區淺草寺元境内公園地之内三千三坪餘之場所諸店、見世もの、揚弓、寄セ場或は水茶屋等出稼之者貳百五拾軒有之、右地代從前上リ高之儀、別冊之通諸入費引去リ殘リ年寄に相預ケ置候得共、此分此度不殘相納、爾後之儀は外門前上地町屋並之通二季上納可仕哉。

但、本年七月八月九月十月右四ヶ月之分は取纏メ精算仕、不日上納可仕候。

右奉伺候也。

明治七年十一月

右區戸長
柏木熹太郎

明治七年一月ヨリ六月迄

公園御地見世物其外地代書上

第五大區八小區

淺草金龍山

公園御地所見世物茶店其外床見世共、

一、三千三坪三合貳勺壹才。

貸附壹坪ニ付、平均壹錢六毛ツ、

此壹ヶ月地代

金三拾壹圓八拾三錢五厘貳毛。

帝都時代ノ遊園

明治七年一月ヨリ六月迄

合金百九拾壹圓壹錢壹厘。

外二

金七圓五拾錢

金六圓

金五圓

金貳圓五拾錢

金五圓

金壹圓五拾錢

金三圓七拾五錢

金貳圓五拾錢

金壹圓五拾錢

金拾九圓三拾錢六厘七毛

右拾口

ノ金五拾四圓五拾五錢六厘七毛

右二廉地代

金貳百四拾五圓五拾六錢七厘七毛

上り高

大熊前藏ケ一月ヨリ七月迄前年分地代。
森田六三郎右同斷。
町田仁右衛門右同斷。
金子八郎右同斷。
榎本泰平右同斷。
本間勝次郎右同斷。
同斷天山尾新左衛門右。
前上由藏右同斷。
東海林養吉右同斷。
野前天葎ケ年分地代。
野前天葎ケ年分地代。

内

金八拾八圓六拾五錢六厘貳毛。

是は明治七年一月ノ六月迄、御地所内日々掃除人足賃錢晝夜取締火之番見廻リ之もの賃錢、地代取集手數料共入費。

差引

金百五拾六圓九拾壹錢壹厘五毛

上納高

右者公園御地所見世物其外明治七年一月ノ六月迄半年分地代取立、上納候也。

第五大區八小區
戸長 柏木喜太郎

明治七年九月

明治六年七月ノ十二月迄

公園御地見世物其外地代書上

第五大區八小區

淺草金龍山

公園御地所見世物茶店其外床見世共、一、貳千九百九拾壹坪壹合三勺。

貸附壹坪ニ付、平均壹錢六毛ツ、

此壹ヶ月地代

金三拾壹圓七拾錢六厘。

帝都時代ノ遊園

明治六年七月々十二月迄

合金百九拾圓貳拾三錢六厘。

外二

金七圓五拾錢

金六圓

金五圓

金貳圓五拾錢

金五圓

金壹圓五拾錢

金三圓七拾五錢

金貳圓五拾錢

金拾圓三拾五錢六厘

右九口 〆金四拾四圓拾錢六厘

右二廉地代

合金貳百三拾四圓三拾四錢貳厘

内

金八拾三圓七錢貳厘。

大熊紋藏七月々十二月迄後半々分地代。
 森田六三郎右同斷
 町田仁右衛門右同斷
 金子八郎右同斷
 榎本泰平右同斷
 後半々分地代。
 本間勝次郎右同斷
 辨天山長尾新左衛門右同斷
 井上由藏右同斷
 後半々分地代。
 野天葎張之分右同斷

上り高。

是は明治六年七月々十二月迄御地所内日々掃除人足賃錢、晝夜取締火之番見廻リ之もの賃錢、地代取集手數料共入費。

差引

金百五拾壹圓貳拾七錢

上納高。

右者公園御地所見世物其外明治六年七月々十二月迄半々分地代取立、上納候也。

明治七年九月

第五大區八小區

柏木 熹太郎

淺草公園諸願伺

公園地營業人處分伺

十二月四日○明治七年(紀元二五三四年)公園地内營業人ヲ處分スルニ、太政官公布地所名稱區別第三種官有地ノ但書ヲ適用セントシ、内務省ノ指令ヲ請フ。○各公園例則。

公園地營業人處分伺事蹟

公園地營業人處分伺

各公園例則ニ見ユ。

淺草公園地内出稼人之義ハ、取締向不都合之廉有之趣、戸長ヨリ別紙之通伺出無餘義筋ト存候、依テハ公園着手之目的モ差向無之候間、此程公布之地所名稱區別ニ據テ處分致シ、公ケ之借地人ト相据候方可然哉、右公布中官有地第三種之部ニ〇各所ノ舊跡名區及ヒ公園等民有地ニアラサルモノ、△地券ヲ發セス、地租ヲ課セス、區入費ヲ賦セサルヲ法トス、但人民ノ願ニヨリ右地所ヲ貸渡ス時ハ、其間借地料及ヒ區入費ヲ賦スヘント有之、

帝都時代ノ遊園

然レハ當府限リ御處分モ難相成候ハ、左之通内務省へ相伺候方可然哉相伺候也。
庶三千十二號

公園地内營業人處分方伺

元金龍山境内ヲ始、外公園地ニ於テ現今諸商業相營候モノ、内、從前寺院ニテ進退致シ候節、相對ヲ以テ地所借受開墾又ハ家作等致シ、全戶住居ノ者數多有之候處、公園地ト差定候ニ付テハ各其元籍ヲ取調、更ニ一般出稼掛茶屋ト見做シ、公園經營相成節ハ可引拂旨相達シ、名ハ出稼ニ致候得共、其實依然依舊竈ヲ据置候者モ數多有之哉之處、兎角在籍曖昧ナルヨリ、取締上不都合ノ廉不少趣、該區戶長ヨリ申立モ有之、左迎現場公園經營着手ニモ不相至、此際ニシテ斷然引拂等申渡、衆人ノ困苦ヲ釀候儀ハ本意ニモ無之、殊ニ去月中庶貳千八百五十六號ヲ以公園地取締見込ノ次第相伺置候通、正院御指令ノ趣モ有之、旁前顯ノ如キ事實無止モノハ、追テ公園盛大經營相成迄、太政官第百二十號公布地所名稱區別官有地第三種ノ部但書ニ據テ處分致候方可然哉ニ存候、依テハ右處分方都合モ有之候間、先般相伺置候取締見込ノ儀共、早行御指揮有之度、此段東ネテ相伺候也。

明治七年十二月四日

東京府知事 大久保一翁

内務卿大久保利通殿

書面伺ノ趣ハ公園地ノ儀ニ付、十一月十七日付伺面へ及指揮候通相心得、尙取調可伺出事。

明治八年二月十日

内務卿大久保利通代理 内務大丞 林友幸 幸園

附記
銀座通瓦
斯燈點火

淺草金龍山公園地出稼人之儀ニ付伺書

第五大區八小區公園地内出稼人ノ内、從前ヨリ火焚所取設ケ住居地同様相成居候者百六十軒有之、尤原籍ハ近区内ニ有之、判然ハ出稼人ノ名義ニ候得共、全クハ前件ノ如ク竈ヲ据候事故、自然身寄ノ者トモ止宿致シ候義モ有之、乍併出稼ノ名稱ニ付止宿屑等差憚リ、巡查屯所ハ勿論、扱處ニハ兎角相届不申、探索向等ニ相關シ候義ニテ、殊ニ巡查屯所ヨリ掛合モ有之、盜難等ニ罹リ、其外異變等出來ノ節、區銘肩書取扱方甚當惑仕候間、公園地御規則御確定相成候迄、外寺院寄留人同様相心得、爾後止宿人等有之節ハ急度可相届旨更ニ相達申度、此義御聞置被下度、此段奉伺候也。

明治七年十一月

右區戶長 柏木喜太郎

〔附記〕 銀座通瓦斯燈點火

〔第六號〕

番外貳百五拾三

第一大區八九小區
第二大區二三小區

戶長 長

兼テ相達置候瓦斯燈金杉橋ヨリ京橋之間落成ニ付、來ル十八日ヨリ點火致シ候旨、會議所掛ヨリ申出候間、爲心得、此旨相達候事。

帝都時代ノ遊園

明治七年十二月十四日

(第七號) 番外

東京府知事

大久保一翁

第一區四五六七拾一

第二區三拾四小區

戶長

兼テ建設之瓦斯燈京橋ヨリ萬世橋迄之分本月三十日ヨリ點火致シ、常盤橋外本町通
リ淺草橋内並元柳橋迄ハ四月一日ヨリ點火可致旨、會議所ヨリ届出候間爲心得此旨
相達候事。

明治八年三月廿九日

東京府知事

大久保一翁

法令類纂

淺草公園地
料平均割地
料平均割地
蹟平均割地

廿五日

○明治七年(紀元二
五三四年)十二月。

淺草公園

○市内
淺草區。

貸地料ヲ平均割ニ定ム。○淺草公

園諸願伺。

淺草公園地料平均割 淺草公園内借地人地代明治七年十一月ヨリ平均割ヲ以テ取立ツ
ルコトニ決ス、淺草公園諸願伺云フ、

知事

參事

奏任出仕

庶務課

淺草公園地内出稼人地代之儀、表裏之區別を立上中下三等ニ分ケ取立可申哉、平均割ヲ

以可取立哉之旨、別紙之通伺出、右者固方普通葭簀張一般と見做シ候事ニ付、場所之便不
便ニ不拘、平均割を以取立候方可然哉、指令案左ニ相伺候也。

十二月廿五日

伺之趣當分上中下之差別なく平均割ヲ以可取立候事。

第五大區八小區公園地内出稼之もの共地代之儀、最寄八ヶ町本地代平均ヲ以、出稼場所
相當上中下且右平均壹坪當リ別紙之通ニ御座候、右兩條之内ヲ以本年十一月分方兼
御指令濟之通、更ニ取立仕度、此段奉伺候也。

七年十二月

第五大區八小區
戶長

柏木熹太郎

第五大區八小區内

公園地最寄町々本地代平均

壹坪ニ付、

一、上金五錢七毛四毛
中金三錢〇五毛
下金貳錢貳毛四毛

淺草南馬道町。

同、

一、上金五錢三毛三毛
中金三錢六毛七毛
下金壹錢六毛七毛

同所南馬道新町。

帝都時代ノ遊園

一、上金四錢壹り七毛
中金貳錢五り七毛
下金壹錢六り七毛

同所北馬道町。

一、上金四錢壹り九毛
下金貳錢壹り九毛

同所北田原町三丁目。

一、上金八厘八毛
下金四り三毛

同所芝崎町。

一、上金貳錢
下金壹錢

同所松清町。

一、上壹錢八り五毛
下九り五毛

同所田島町。

一、上金壹錢八り壹毛
中金壹錢四り八毛
下金壹錢壹り八毛

淺草寺地中東南共。

右九ヶ町平均、
壹坪ニ付、

上金三錢壹り八毛
中金貳錢五り八毛
下金壹錢四り貳毛

右十分ノ五、
壹坪ニ付、

上金壹錢五り九毛
中金壹錢貳り九毛
下金七厘壹毛

此平均壹坪ニ付、
一金壹錢壹り七毛。

右之通御座候也。

〔附記〕 關屋里開墾

向島

向島と云ハ、其始關屋の御庭をいひし也。徳川將軍家隅田川御殿より關屋川を隔て、向にある御庭を向ふの島と仰せられしゆゑに、御庭預り阪田彌次右衛門か御前栽畑に作りて御城に納る西瓜眞桑瓜などを、奥向にて向嶋の西瓜向嶋の眞桑といひしが、終に府下に移りて今は隅田川向ふの地を一圓向嶋と總稱しけり。按ふに關屋の御庭は關屋川東南を廻り、西に隅田川、北に千住地先と隅田村境の小川あり、四方川にして實に一小島の地形なり。關屋川ハ昔より橋なし、舟にて渡りし也。明和年中濱御庭を御遊

園とし給ひ隅田川御殿御取拂ひの後は將軍家御成の度ことに假橋を架す是を御渡り橋といひしか、後には常に假橋を架して關屋橋と云。今は關屋の庭、又前栽畑とも云て、花の頃なとハ諸人の遊園となりたり。明治七年に至りては、關屋の庭並に前栽畑とも開墾田地なれり。

隅田川叢誌

赤坂黒田長知邸行幸

八年二〇明治〇紀元

一月卅一日明治天皇赤坂黒田長知邸〇市内赤坂區。ニ幸ス。

〇明治天皇みゆきの跡。

赤坂黒田長知邸行幸事蹟

赤坂黒田長知邸行幸ハ、

明治天皇黒田邸御臨幸記事

明治天皇聖智睿哲、德化四方ニ遍ク、民ヲ愛撫シタマフコト實ニ赤子ノ如シ、是ヲ以テ鸞趾鳳蹠ノ駐マル所、民苟クモ其餘光ヲ拜シ、其遺澤ヲ想ヒテ棠陰尙且佳氣ノ湧クヲ覺エス、ンハアラサルナリ。明治八年ニ於ケル從四位黒田長知公ノ赤坂邸御臨幸ノ如キ、當時天下齊シク瞻仰シテ、黒田家々門ノ光張世ニ類スルナキヲ云ヘリ。蓋シ千載一遇ノ祥事、臣下ノ寵榮之ニ過クルモノ復タアルヘカラス。是ヨリ先代從四位長溥公ハ老ヲ告ケテ閑居ニ就キタリシカ、明治七年赤坂福吉町ノ邸内ニ始メテ西洋館ヲ築キ、之レニ移住セリ。此頃迄ハ東京ニ於テモ一二ノ官衙ト外國公使館等ヲ除ク外、未タ洋風建築アルヲ見サリキ。私舎ノ煉瓦屋ハ實ニ公ノ洋館ヲ以テ嚆矢トナス。公ノ經始薰督シテ其ノ工ヲ

起スヤ、尙建築ノ術今日ノ如ク十分ニ發達セサルノ時世ナリシカハ、公ハ專ラ佛國建築法テフ書籍ニ據リ、傍ラ洋行シタリシモノ、説ニ徵シテ之ヲ營造セリ。輪奐ノ美之ニ於テ新ニ一區ノ異觀ヲ添ヘ來ル。又邸内ニ池アリ、廣サ千五百坪、其四面竹樹叢生シテ市聲此ニ至ルコトナシ、鳧鴨ノ類常ニ池中ニ盈ツ、林塘ヲ穿テ池ヨリ小渠ヲ引クコト十餘條、罔ヲ放チ餌ヲ與ヘテ他禽ヲ誘ハシム。又渠ノ盡頭ニ高堤ヲ設ケ、内ヨリ小孔ヲ通シテ之ヲ視フ、且ツ渠ノ兩側ニハ六人畢ヲ執テ潛ム、禽ノ渠ニ入ルヲ見ルヤ、孔ヲ視フモノ先ツ電機ヲ以テ之ヲ畢ヲ執ルモノニ報ス、乃チ禽ヲ渠中ニ羅シテ歸路ヲ絶チ、其ノ驚キ飛フヲ待テ畢ヲ擧ケテ之ヲ捕フ。渠皆「く」字形ニ曲折シ、其間相隔ツルニ林塘ヲ以テスルカ故ニ、池上ノ遊禽ハ會テ渠中ノ畢獵ヲ關知セサルモノ、如シ。之ヲ以テ鳧鴨隨テ入レハ、隨テ捕フヘク、終日ニシテ數百禽ヲ獲ルヲ難シトセス。公ノ赤坂邸ハ已ニ洋館ヲ以テ人目ヲ聳峙セシムルニ足ル。而シテ此ノ園池亦タ畢獵ヲ以テ其名大ニ聞ユ。明治八年一月三十一日明治天皇靜寬院宮ニ行幸シ給フノ歸途、鳳輦ヲ公ノ赤坂邸ニ枉ケタマフノ盛事アリ。是ニ先チ同月十三日三等議官正六位高崎正風來邸シ、尋テ十六日ヲ以テ東伏見宮御成アラセラレ、畢獵御覽ノ榮ヲ賜フ、此ノ間聖上御臨幸ノ内旨達セラレタルモノ、如シ。二十六日ハ實ニ御臨幸御内定日ト期セラレタリ、偶々二十一日權典侍柳原愛子安産、皇女薰子内親王御降誕アラセラル、ニ及ンテ、宮内大少丞ハ書ヲ以テ二十六日ノ御臨幸ハ暫ク御延引遊ハサル、ノ旨ヲ家主長知公ニ通シタリ。其書ニ曰ク、

帝都時代ノ遊園

來ル廿六日靜寬院宮エ行幸ノ節其御邸ニ御立寄被爲、在候旨兼及御内達置候處昨夜皇女御降誕ニ付御延引被仰出候間、此段御達申候也。

明治八年十一月廿一日

宮内 大少丞

黑田長知家令中

是ニ於テ公ハ當日正午參朝シ、天機ヲ伺ヒ、奉賀申上タリ。尋テ二十五日又宮内卿ヨリ左之通達アリ。

來ル三十一日聖上午前九時御出門、靜寬院宮御邸ヘ行幸ノ節其邸ヘ御立寄被爲、在候旨被仰出候條、此段申入候也。

明治八年一月廿五日

宮内卿 德大寺實則

從四位黑田長溥殿

追々雨天御延引ニ候也。

公ハ之レニ對シ、直ニ宮内卿ニ返翰シテ答酬スル所アリ。

來ル三十一日聖上午前九時御出門、靜寬院宮御邸エ御行幸之節、私邸御立寄被爲、在候旨被仰出候條、御申越敬承仕候也。

明治八年一月廿五日

從四位 黑田長溥

宮内卿德大寺實則殿

翌日公ハ參内シ、又德大寺邸ニ詣リ、御臨幸ニ關スル内議ヲ了シテ還リシカニ、二十七日左

ノ如ク宮内省ノ示達アリ。

來ル三十一日御邸エ臨幸ニ付、御場所點檢トシテ兒玉少丞其外等、明二十八日午後二時出張致候條、爲御心得此段申入候也。

明治八年一月廿七日

宮内 大少丞

從四位黑田長知殿

長知公ハ謹テ其意ヲ承ケ、左ノ如ク答申セリ。

來ル三十一日御臨幸ニ付、場所爲御點檢兒玉少丞殿御初明廿八日午後二時御出張ノ旨、御申越敬承仕候也。

明治八年一月廿七日

從四位 黑田長知

宮内 大少丞殿

此頃長知ハ小日向邸ニ在リシカ、是ニ至テ赤坂邸ニ入り、長溥公ト俱ニ專ラ館内ノ裝飾ニ意ヲ致シ、苟クモ此間遺漏ナカラシムルヲ務メ、邸前ニハ綠門ヲ作り、迎鸞ノ歡ヒヲ寓シタリ。二十八日兒玉少丞ノ點檢ハ事ナク済ミ、三十日宮内省ヨリハ御厠長持二棹ヲ黑田家ヘ御持込ミアリ、愈々御臨幸ノ日モ目前ニ迫リタリ。長溥公長知公父子ハ齋戒沐浴シテ、翌三十一日ノ天明ヲ待チ、一門家族ヲ率キテ此ノ振古未曾有ノ寵光ヲ拜シ奉ラントス。三十一日明治天皇ニハ有栖川東伏見兩宮ヲ隨ヘ、午前九時ヲ以テ御出門アラセラレ、靜寬院宮ニ行幸シ給ヒ、直ニ聖駕ヲ回ラシテ黑田邸ニ入ラセラル。德大寺宮内卿御

陪乘申上ケ、三條岩倉以下當時ノ顯官高位、各綺羅ヲ盡シテ此ノ盛事ニ列スルヲ榮トセリ。長溥公長知公ハ聖駕ヲ奉迎シテ、身ニ餘ル龍光ヲ辱フシ、感涙坐ニ襟ヲ霑ホスヲ覺エサリキ。日ハ是レ春風和煦邸内ノ草木一時ニ光華ヲ發シ、雲靄靉靄トシテ四方ヲ繞ルアリ、此間旭旆翩翻トシテ風ニ搖キ、竿頭ニ吊シタル球燈ハ相並ンテ燦然日ニ耀ケリ。館内ニハ古今ノ名畫ヲ陳列シテ、之ヲ聖鑑ニ供ヘ奉リシカ、此ノ中ニ陳王庶ノ作ル所ノ百蟹百蝦畫譜アリ、聖上之レヲ齎ハセラレ、頗ル叡感ヲ垂レ給ヒケレバ、特ニ之ヲ獻納シタリ。聖上ハ又獻スル所ノ茶菓ヲ召サセラレ、ヤカテ庭中ニ下リ立タセラル。園樹鬱葱トシテ秀色ヲ駢ヘ、爭ウテ美ヲ御前ニ呈セントスルモノ、如シ。殊ニ邸ニ名アル所ノ畢獵於鷹等ヲ天覽ニ供シケルニ、龍顏殊ニ麗ハシク嘉稱シテ之ヲ悅ヒ給フ。怪マス、池中ノ鳧鴨鷺々トシテ相次シ泛ヒ、又叡覽ニ入ルヲ榮トスルカ如キヲ之ニ於テ君臣樂ヲ偕ニシ、上下雍和毫モ間隔アルコトナシ。午後三時ニ及ンデ聖上還御アラセラル。長溥公父子恐惶俯伏シテ措ク所ヲ知ラサリシモ亦宜ナリト謂フベシ。二月一日長溥公ハ御臨幸飾付ケノマ、一族ヲ會シテ、御座ノ跡ヲ拜觀セシメ、二日參朝シテ御臨幸ノ恩ヲ謝シ奉ル。聖上特ニ宮内大丞香川敬三ヲ以テ、一昨三十一日御臨幸被爲在、叡慮不淺思召、依之左ノ品下賜ノ旨口達ヲ以テ代リ述ヘシメラレ、

一、紅白縮緬 四疋。
但、目錄付。

ヲ下賜アラセラル。公大ニ喜ヒ、以爲ラク、是レ黒田家アツテ以來ノ光榮ナリ、宜シク宗廟ニ報告シテ以テ其籠光ヲ弘ムヘント、乃チ舊封福岡ニ抵リ、祖先黒田如水及長政兩公ヲ齋ク所ノ光雲神社ニ報告祭ヲ舉ゲントス。此日宮内省ヨリ堀川森寺片岡ノ三侍從及ヒ藤波言忠至リ畢獵セリ、獵後之ヲ館内啼鶴館ニ延イテ饗ス、蓋シ御臨幸ノ際各々爲メニ勞スル所アリシヲ以テ、招テ之ヲ犒ヒシモノナルヘシ。三日公親ラ有栖川東伏見兩宮ニ詣リ、又徳大寺三條岩倉島津等ノ諸家ニ行キ、各公卿カ曩ニ斡旋最モ務メラレシノ勞ヲ謝ス。七日東伏見宮重ネテ御成アラセラレ、公ト俱ニ畢獵シ還ラル。既ニシテ公西下シテ「祭典ヲ行ハントセシカ、又之レニ先チ二十一日三條岩倉二公ヲ初メ、大久保利通高崎正風、森寺常德等ノ縉紳ヲ招キ祝宴ヲ張ル、毫酣ニシテ海軍樂隊ヲ聘シテ樂ヲ奏セシム、樂隊請聘ノ事當時未ダ先例ナカリシカトモ、長溥公ハ西洋ニ此事アルヲ以テ特ニ之ヲ請ヒシニ、海軍省ニテモ其軍規ニ牴觸スル所ナキニ由リ、其請ヒニ應シタリシナリ、此ノ日天寒ク雪降り、庭園ノ樹々皆瓊花ヲ着ク、樂隊人數三十二名、樂長藤木武信、樂師原田良武、高崎能行等、此ノ白玲瓏タル銀世界裡管鼓ノ樂ヲナスニ、妙音嘹亮又鑼鐸澄ミ渡リタル其響ニハ梢ノ雪モ散ルハカリナリ、主賓各々欣々焉トシテ歡ヲ罄シ、高興一時ノ盛ヲ呈ス。之ヨリ府下宴遊ニハ樂隊延請ノ事漸ク行ハル。三月十日愈々西下ニ決シ、午前十時東京ヲ發シ、十四日博多ニ館ス。翌十五日ヲ以テ光雲神社ニ賽シ、恩賜ノ絹匹ヲ供シテ祭典ヲ舉ク。既ニ撤シテ紅白絹各一匹ヲ截斷シ、之ヲ筑前全國ノ毎戸ニ頒與シ、以テ永ク聖恩

ノ辱キヲ記念セシム。當時公ノ告諭文アリ。曰、

謹告福岡縣人

本年一月三十一日天皇陛下親王諸大臣ヲ以テ辱クモ我溜池ノ邸ニ臨幸シ、二月二日予ヲ宮中ニ召シ、紅白絹各二匹ヲ賜レリ、我家ノ榮何ヲ以テ之ニ尙ヘンヤ。恭シク惟ミルニ、是レ固ヨリ天恩ノ擴大優渥ニシテ、覆ハサル所ナキニ出ルト雖モ、苟モ縣人ノ祖先勉メテ吾カ祖宗ヲ輔ケテ、相與ニ今ノ一大華族タルコトヲ基エシ、若シ今ノ縣人能ク微衷ヲ體シテ朝旨ヲ遵奉スルコト微リセハ、予ノ不敏ナル焉ソ能ク此ノ無窮ノ寵光ヲ辱フスルコトヲ得ンヤ。恩ヲ縣人ニ荷フコト寔ニ夥多ナル哉。今乃チ天賜ノ紅白絹一匹ヲ以テ、之ヲ我光雲ノ神靈ニ獻シ、撒々ノ後嗣スルニ不腆ノ祝酒ヲ以テシ、之ヲ縣人ニ贈テ以テ我寵光ヲ分ツ。嗚呼天威實ニ顔ヲ違ルコト咫尺ナラス、縣人各此絹ノ一分ヲ奉戴シテ、日夜天恩ノ辱ケナキヲ拜シ、益々王事ニ勉勵シテ朝旨ニ稱フコトアラバ、予ノ喜ビ孰レカ是ヨリ大ナラムヤ。予ヤ老タリ、縣人幸ニ予カ身後ノ耻ヲ遺スコト勿レ。

明治八年三月

從四位 黑田 長 溥

抑モ九重深遠ニシテ其ノ臣子ノ第ニ幸セラレシハ、縉紳ニ在テハ則チ染殿御堂二氏、武辨ニアツテハ則チ室町聚樂二條ノミ。明治ニ及ンデ一ニ臺閣重臣ノ家ニ六馬ヲ進メラレシコトアルモ、舊諸侯ノ第ニ親臨セラレシハ島津前田兩家アルヲ拜スルニ過キス。然

小石川植物園

ラハ我カ黒田邸御臨幸ノ如キハ、實ニ以テ明治聖世ノ一大美事トスヘキナリ。臣子ノ榮豈ニ之レニ過クルモノアラシヤ。
——黒田侯爵報告の明治天皇みゆき
○明治八年(紀元二五三五年)一月。文部省小石川藥園○市内。小石川區。ヲ管シ、小石川植物園ト

改稱ス。○文部省沿革略記。文部省往復。東京帝國大學所藏記錄。東京府村誌。東京通志。大日本農史。

小石川植物園

上記各所藥園處分ノ條ヲ參照ス可シ。

是ノ月○明治八年一月。東京小石川藥園ヲ更メテ、小石川植物園ト稱ス。

——文部省沿革略記

東京開成學校

小石川植物園之儀ハ、植物學實地研究之爲メ取設ケ候モノニ付、其校教師并生徒等右實研之爲メ罷出候節ハ、諸事博物館へ打合可申此段相達候事。

明治八年三月十七日

文部大輔

田中不二麿

——文部省往復○帝國大學所藏。

小石川植物園假規則

第一條

小石川植物園ハ植物學ヲ學フ者ノ實地研究ヲ要スル爲メ設クル所ニシテ、内外人此規則ヲ遵守スル時ハ、縦覽スルヲ得ヘシ。

帝都時代ノ遊園

小石川植物園事蹟

第二條

此植物園縦覽ヲ望ム者ハ、當館ニ姓名族籍宿所等ヲ記シタル紙札ヲ出シ、當館ノ印證ヲ受取、此印證ヲ園吏エ差出スヘシ。

但シ來觀者乘馬乘車、及ヒ狗ヲ率テ園中ニ入ルヲ得ス。

第三條

園中縦覽ハ午前九時ヨリ午後四時ヲ限トス。

但シ生徒研究ノ都合ニ因テハ此限ニアラス。

第四條

園中ノ花果ハ勿論、一枝一葉タリモ漫リニ折採スルヘカラス、且猥リニ場圃中エ入ルヲ禁ス。

但シ考證ニ備ル爲、文部省直轄學校植物學教員等ノ指示ニ依ルモノハコノ限ニアラス。

第五條

園中及ヒ休息所ニ於テ飲酒スルヲ禁ス。

明治八年四月

東京博物館

東京帝國大學所藏記錄

九日○明治八年博覽會事務局所轄ノ博物書籍ノ二館博物局及ヒ小石川藥園ヲ再ビ文部省

ニ屬ス。官舎沿革表。

官有地 文部省植物園 町北ニ在リ、東西六町二十間、南北二町十間、面積六萬八千八百六十六坪、明治八年二月設ク。

大日本農史

東京府村誌

東京通志ニハ「白山殿址、藥園址、養生所址、小石川久堅町ニアリ、○中同治○明八年乙亥植物園ト號シ、文部省ニ屬シ、今帝國大學所管トナル」ト記ス。

〔參考〕 小石川植物園目錄ハ伊藤圭介ノ編スル所ニシテ、明治十年十月ノ刊行ニ係ル、

以テ植物園改稱當時ノ栽培植物ノ種類ヲ知ルニ足ル可シ。

DICOTYLEDONES 雙子葉部 Clematis williamsii, A. Gray.

POLYPETALAEAE 多瓣花類 ツリカネカツラ

RANUNCULACEAE 毛茛科 ハンシヤウヅル

Clematis paniculata, Th. カラマツサウ

カンニンサウ Thalictrum actaeifolium, S. et Z.

Clematis apifolia, D.C. 大 蓼 Thalictrum minus, L.

ボタマンツル 女 菱 Thalictrum minus, L.

Clematis florida, Th. 鐵 線 蓮 Anemone cernua, Th.

カザグルマ 鐵 線 蓮 オキナグサ

Clematis florida, Var. 鐵 線 蓮 シヤグマサイコ

テツセン 鐵 線 蓮 Anemone japonica, S. et Z.

Clematis florida, Var. 鐵 線 蓮 シウメイギク

ユキヲコン 鐵 線 蓮 キブネギク

帝都時代ノ遊園

<i>Anemone nikoensis, Max.</i>	イネリンサウ	菟葵一種	<i>Ranunculus acris, L.</i>	ムマノアシガタ	毛茛
<i>Anemone flaccida, Schmidt.</i>	ガシヤウサウ ニリンサウ フクハラ	菟葵一種	<i>Ranunculus sceleratus, L.</i>	タガラシ タタラビ	石龍芮
<i>Anemone sp.</i>	ヒメイチゲサウ	菟葵一種	<i>Ranunculus sp.</i>	イトキンノウゲ	石龍芮一種
<i>Anemone ruddiana, Regel.</i>	マンリンサウ	菟葵	<i>Caltha palustris, L. var sibirica, Regel.</i>	ハシロコウサウ	
<i>Anemone hepatica, Gort.</i>	スノムサイミン シンスイサウ ユキワリサウ	獐耳細辛	<i>Trollius japonicus, Miq.</i>	キンバイサウ	黃蓮一種
<i>Adonis aemulica, L. var dahurica, Led.</i>	フクシユサウ グワシツサウ	側金盞花	<i>Coptis trifolia, Sims.</i>	シツバウウレン カタハシワウレン	黃蓮一種
<i>Troutvetteria palmata, Fisch et Mey.</i>	ホシキカラムマツ ホシキシヨウマ		<i>Coptis quinquefolia, Miq.</i>	ハイクツワウレン ゴカエフワウレン ホウカゾウ	黃蓮五加葉 繸斗茶一種
<i>Ranunculus ternatus, Th.</i>	キツネノボタン	回々蒜	<i>Aquilegia sp.</i>	ウケサキヨダマキ 紫花血花	繸斗茶一種
<i>Ranunculus zuccharinii, Miq.</i>	ヒキノカサ コキンノウゲ	石龍芮一種	<i>Aquilegia sp.</i>	ルリフダマキ コシマヲダマキ	繸斗茶一種

<i>Aquilegia sp.</i>	ヤマトダマキ 中自生多キ山	繸斗茶一種	<i>Cimifuga japonica, Miq.</i>	シシノコウサウ シシノテ	升麻一種
<i>Aquilegia sp.</i>	アメリカヲダマキ 赤花單瓣	繸斗茶一種	<i>Cimifuga japonica, var foliis obtusis.</i>	イヌシノコウサウ	升麻一種
<i>Amemopsis macrophylla, S. et Z.</i>	ノンズシロコウサウ		<i>Cimifuga obtusiloba, Miq.</i>	キケンシヨウサウ オホシノシヨウサウ	升麻一種
<i>Coptis Brachypetala, S. et Z.</i>	キリンノコウサウ	黃蓮	<i>Paeonia montan, Sims.</i>	サタン	牡丹
<i>Coptis sp.</i>	ヤシノコウサウ	黃蓮一種	<i>Paeonia officinalis, Th.</i>	シヤクヤク	芍藥
<i>Isopyrum adoxoides, D. C.</i>	コメウジ チン〜ンナ		<i>Paeonia obiflora, Pull.</i>	ヤマトシヤクヤク	芍藥
<i>Aquilegia glandulosa, Fisch.</i>	ヤマトダマキ	繸斗茶一種	<i>Paeonia albiflora, Pull.</i>	ヤマトシヤクヤク 洋種小 花ノ若	草芍藥
<i>Aquilegia atropurpurea, Willd.</i>	ムラサキヲダマキ	繸斗茶	CALYGANTHACEAE 蠟梅科		
<i>Aquilegia sp.</i>	クサノコウサウ		<i>Chimonanthus fragrans, Lindl.</i>	ナンキンウメ ラフバイ カラムメ	蠟梅
<i>Aconitum Lycotomum, L.</i>	ノイシノサウ	牛扁	<i>Chimonanthus sp.</i>	トウラフバイ シノラフバイ	檀香梅
<i>Aconitum fischeri, Reich.</i>	トリカブト	附子	MAGNOLIACEAE 木蘭科		
<i>Cimifuga Simplex, Hornst.</i>	サラシナシヨウサウ	升麻			

Licium anisatum, *L.*
シキシ
八角茴香
莽草

Magnolia compressa, *Mar.*
マガタマンキ
黄心樹

Magnolia obovata, *Th.*
シキタレンダ
木蘭

Magnolia kobus, *D. C.*
シキモクレン
玉蘭

Magnolia sp.
サササレンダ
木蘭一種

Magnolia parviflora, *S. et Z.*
オホヤマレンダ
天女花

Magnolia stellata, *Mar.*
コトシ
辛夷

Magnolia sp.
コメコロブシ
辛夷一種

Magnolia hypoleuca, *S. et Z.*
ホウノキ
浮爛羅勒

Magnolia grandiflora, *W.*
タイサンボク
厚朴一種

Magnolia champaea, *L.*
キンカウボク

Kadsura japonica, *L.*
サネカツラ
南五味子

Euptelea peltandra, *S. et Z.*
フサカツラ
タニグハ

Cercidiphyllum japonicum, *S. et Z.*
カツラ
カモカツラ
ラッコ北海道

Trochodendron aralioides, *S. et Z.*
ヤマグルマ
トリモチノキ

MENISPERMACEAE 防已科

Cocculus laurifolius, *D. C.*
カウシウウヤク
衡州烏藥

Cocculus Thunbergii, *D. C.*
アホシツラフヂ
水防已

Stephania hernandifolia, *Walp.*
ハスノハカミラ
漢防已一種

Stephania sp.
カンシウキ
漢防已

LARDIZABALEAE 木通科

Akebia quinata, *Decaisne.*
アケビ
通草

Akebia lobata, *Don.*
シシムツケビ
通草一種

Stauntonia hexaphylla, *Decaisne.*
トキンフケビ
野木瓜

BERBERIDEAE 伏牛花科

Berberis chinensis, *Desf.*
コトリトマラス
小葉

Berberis vulgaris, *L.*
オホトリトマラス
伏牛花

Berberis sp.
コロシハビンボラス
伏牛花一種

Berberis japonica, *Rob.*
コラギナンテン
十大功勞

Caulophyllum thalictroides, *Mich.*
ルイエフボタン
南燭

Nandia domestica, *Th.*
ナンテン
南燭

Nandia var.
ナンテン
南燭變種

Nandia var.
キンシナンテン
同

Epimedium macranthum, *Morr. et Dec.*
イカリサウ
淫羊藿

Aceranthus sagittatus, *S. et Z.*
ホザキイカリサウ
淫羊藿一種

Aceranthus diphyllus, *Morr. et Dec.*
シイクワイカリサウ

Diphyllia grayi, *Fr.*
サンカエフ

NYMPHAEACEAE 睡蓮科

Brasenia peltata, *Pursh.*
シメンサイ
蓴

Nuphar japonicum, *D. C.*
カンホネ
萍蓮草

Nymphaea tetragona, *Georgi.*
ヒツジグサ
睡蓮

Nelumbo nucifera, *Gaertn.*
レン
蓮

PAPAVERACEAE 罌粟科

Papaver rhoeas, *L.*
ヒナゲシ
虞美人草

Papaver somniferum, *L.*
ケシ
罌子粟

Stylophorum japonicum, *Miq.*
ヤマブキサウ
クサヤマブキ
白屈菜一種

Macleaya cordata, *Rob.*
 チヤン^ンギク
 タケニグサ

Cheidonium majus, *Mill.*
 クサノワウ

Corydalis ambigua, *Cham.*
 ホン^コサク^科科^科科^科

Corydalis bulbosa, *D. C.*
 ホン^コサク
 コムノエン^コサク

Corydalis incisa, *Ders.*
 ムラサキケケン

Corydalis Wilfordi, *Regel.*
 キケン

CRUCIFERAE 十字花科

Mathiola incana, *Rob.*
 フラセイトウ

Nasturtium officinale, *R. Br.*
 タネツケムナ

Nasturtium montanum, *Wall.*
 イヌガラシ

Arabis flagellosa, *Miq.*
 スズシロサウ

Arabis sp.
 タチスズシロサウ

Arabis pubicalix, *Miq.*
 シロイヌナヅナ

Arabis perfoliata, *Lam.*
 ハタザホ

Cardamine lyrata, *Dunge*
 シツタガラシ

Draba nemoralis, *L.*
 イヌナヅナ

Eutrema wasabi, *Max.*
 ワサビ

Brassica chinensis, *L.*
 アブラナ

Brassica sp.
 ナタネナ

Brassica sp.
 アカダイコン

Brassica sp.
 ウヅヒスナ

Brassica campestris, *L.*
 カブラ

Brassica sp.
 ムラサキハボタン

Brassica sp.
 アブラボタン

Brassica sp.
 チリメン

Brassica sp.
 ムラサキハボタン

Brassica sp.
 チリメン

Brassica sp.
 アブラボタン

Brassica sp.
 米種^ハボタン 莖低ク地ニ搦^ンテ花アリ

Brassica sp.
 青コブラシ

Brassica sp.
 紫コブラシ

Sinapis cernua, *Th.*
 カリンナ

Sinapis chinensis, *L.*
 カリンナ

Capsella bursa pastoris, *Moench.*
 ナツナ

Thlaspi arvense, *L.*
 ナツナ

Isatis japonica, *Miq.*
 タイセイ

Rhaphanus sativus, *L.*
 タイロン

Rhaphanus sp.
 サングハツダイコン

Rhaphanus sp.
 オタフタダイコン

Rhaphanus sp.
 カラスダイコン

CAPPARIDACEAE 白花菜科

Gynandropsis viscidula, *Bunge.*
 ヤウカクサウ

Cratoera tapia, *L.*
 キヨボク

VIOLARIÆ 堇菜科

Viola pinnata, *L. var. dissecta*, *Turcz.*
 エンスリン

Viola patrinii, *D. C.*
 カクレリン

Viola selkirkii, *Gold.*
 スミレサイシン

Viola japonica, *Langs.*
 ツボスミレ

Viola odorata, *W.*
 コムノシメ

Viola canadensis, *L.*
 ニホヒスミレ

BIXINEAE 巴棘科

Xylosma racemosa, Miq.

巴棘

Idesia polycarpa, Max.

椅

イイギリ
タウセンタン

PITTOSPOREAE 海桐科

Pittosporum tobira, Ait.

海桐花

ムギヒ

POLYGALAE 遠志科

Polygala sibirica, L.

遠志

コメンギ

Polygala sibirica, L.

遠志

小葉コメンギ

Polygala sp.

巴戟天

カキナンズサ

CARYOPHYLLIENAE 石竹科

Dianthus seguieri, Chaix.

瞿麥

ハツナキシロ

Dianthus superbus, L.

瞿麥

ナキシロ
カハラナキシロ

Dianthus japonicus, Th.

瞿麥

フキナキシロ

Dianthus chinensis, L.

石竹

カシナキシロ

Dianthus caryophyllus, L.

石竹

オランダセキチク
アムジヤナル

Dianthus sp.

ハツナキシロ

Saponaria vaccaria, L.

王不留行

タウクハクサウ

Saponaria officinalis, W.

サホナリアフコフシナリス

Lychnis grandiflora, Jacq.

剪夏羅

カシロ

Lychnis grandiflora, Jacq. fol.

剪夏羅

Verticillatis. クルイガシロ

Lychnis miquehana, Rohrb.

剪夏羅

フシタロ

Lychnis senna, S. et Z.

剪秋羅

サシノウ

Lychnis sp.

剪春羅

フシモト

Cerastium glutosum, Trives.

卷耳

フシナダサ

Cerastium sp.

卷耳

フシノフシナダサ

BIXINEAE 巴棘科

Xylosma racemosa, Miq.

巴棘

Idesia polycarpa, Max.

椅

イイギリ
タウセンタン

PITTOSPOREAE 海桐科

Pittosporum tobira, Ait.

海桐花

ムギヒ

POLYGALAE 遠志科

Polygala sibirica, L.

遠志

コメンギ

Polygala sibirica, L.

遠志

小葉コメンギ

Polygala sp.

巴戟天

カキナンズサ

CARYOPHYLLIENAE 石竹科

Dianthus seguieri, Chaix.

瞿麥

ハツナキシロ

Dianthus superbus, L.

瞿麥

ナキシロ
カハラナキシロ

Dianthus japonicus, Th.

瞿麥

フキナキシロ

Malachium aquaticum, Fr.

繁縷

フキナンズサ
フキナンズサ

Stellaria neglecta, Weib.

繁縷

ハクシ

Stellaria ulginosa, Murr.

雀舌草

ハクシ

Stellaria florida, Fisch.

漆姑草

オホハクシ

Sagina maxima, A. Gray.

漆姑草

シメジサ
タカシメ

Alsine verna, Cart. var. borealis, Fr.

漆姑草

コシメジサ

Mollugo stricta, L. var. laefolia.

公草母草

サナハクサ

PORTULACAEAE 馬齒莧科

馬齒莧

マシロ

Portulaca oleracea, L.

馬齒莧

マシロ

Portulaca grandiflora, Hook.

半支蓮

ハクシ

TAMARISCINEAE 檉柳科

檉柳

キヨリウ

Tamarix chinensis, Lour.

檉柳

キヨリウ

ELANTINEAE 水松葉科

水松葉科

水松葉科

Elantaine alsinistrum, L.

フキナンズサ

HYPERICINEAE 金絲桃科

Hypericum salicifolium, S. et Z.

金絲桃

ハクシ

Hypericum ascyron, L.

湖南連翹

ハクシ

Hypericum patulum, Th.

金絲梅

ハクシ

Hypericum sampsoni, Hance.

小連翹

ハクシ

Hypericum erectum, Th.

小連翹

ハクシ

Hypericum sp.

小連翹

ハクシ

Hypericum japonicum, Th.

小連翹

ハクシ

TERNSTROEMIAEAE 山茶科

山茶科

ハクシ

Ternstroemia japonica, Th.

石瓜

ハクシ

Cleyera japonica, Th.

楊桐

ハクシ

Eurya japonica, Th.

拾

ハクシ

Eurya japonica, *Var.*
 シダハヒササキ
 Actinidia polygama, *Planch.*
 ヤタタゴ
 Actinidia volubilis, *Planch.*
 シラクチソル
 サルナシ
 Stachyurus praecox, *S. et Z.*
 キンチ
 マメソギ
 Sturtia monadelphra, *S. et Z.*
 ナツソソキ
 シヤラソソキ
 Sturtia sp.
 コメシヤラ
 サルタソソキ
 Camellia japonica, *L.*
 ソソギ
 Camellia sp.
 タウソソギ
 Camellia sasangua, *Th.*
 サザソソキ
 Thea chinensis, *Sims.*
 チャ
 Thea sp.
 タウチャ

枹 一種雜種
 木天蓼
 彌猴桃
 旌節花
 山 茶
 南 山 茶
 茶 梅
 若 蘆
 阜 蘆

MALVACEAE 錦葵科

Alea rosea, *L.*
 タチアネ
 ハナアネ
 Malva silvestris, *L.*
 ゼニアネ
 Malva pulchella, *Berhn.*
 フユアネ
 カンアネ
 Althea officinalis, *L.*
 アルタバ
 Abutilon avicennae, *Gaertn.*
 チチゴ
 Abutilon megapotanicum.
 ウキツリボタ
 Abutilon Thompsonii.
 アビロントマンン班葉
 Abutilon sp.
 アビロントマンン紅花
 Hibiscus Hamabo, *S. et Z.*
 ハマボウ
 Hibiscus manihot, *L.*
 トロロアネ
 ノゲシ
 Hibiscus mutabilis, *L.*
 フヤウ

蜀 葵
 錦 葵
 冬 葵
 過爾答亞 薔
 商 麻
 黃 檜
 黃 蜀 葵
 木 芙蓉

Hibiscus rosa-sinensis, *L.*
 フンサウケ
 Hibiscus syriacus, *L.*
 イソギ
 Gossypium indicum, *Lam.*
 ワタ
 キワタ
 STERCUARIACEAE 梧桐科
 Sterculia platanifolia, *Linn.*
 フノギ
 Pentapetes phoenicea, *L.*
 コシナン
 TILIACEAE 菩提樹科
 Yorehorus capsularis, *L.*
 ツナン
 カナビキノ
 Tilia cordata, *Müll.*
 シナンギ
 Tilia mandshurica, *Rup. et Max.*
 ホダイシト
 Elaeocarpus phontinaefolia, *Hook et Arn.*
 ズミ
 ホルトノギ
 LINEAE 亞麻科
 Linum perenne, *L.*
 シメコト

扶 桑
 木 槿
 草 綿
 梧 桐
 夜 落 金 錢
 黃 麻
 菩 提 樹 一種
 菩 提 樹
 膽 八 樹
 亞 麻

Linum sp.
 シメコト 宿根ノ者
 Linum stelleroides, *Planch.*
 マンニン
 マンナチシロ
 GERANIACEAE 牻牛兒科
 Geranium sibiricum, *L.*
 フウロサウ
 ガンノサウ
 Geranium nepalense, *Sweel.*
 イソキンウロ
 Geranium erianthum, *D. C.*
 ガンナイフウロ
 Pelargonium sp.
 テンチクアネ
 Pelargonium sp.
 テンチクアネ 紅花ニシテソノニ
 辨ニ黒點ナルモノ
 Pelargonium sp.
 テンチクアネ 白花單瓣
 Pelargonium sp.
 テンチクアネ 淡紅花
 Pelargonium sp.
 ヤハソテンチクアネ
 Oxalis corniculata, *L.*
 カタハミサウ
 スヒモノクサ
 Oxalis acetosella, *L.*
 シヤマカタ

亞 麻
 牻 牛 兒 苗
 牻 牛 兒 苗 一種
 牻 牛 兒 苗 一種
 酢 漿 草
 酢 漿 草
 酢 漿 草 一種

<i>Oxalis violacea, Jacq.</i>	オキサリスローサ	酢漿草	一種
<i>Oxalis sp.</i>	モンカタマンシ	酢漿草	一種
<i>Impatiens balsamina, L.</i>	ホウセンタムシ	鳳仙	
<i>Impatiens textori, Miq.</i>	シリフネサウ	野鳳仙花	
<i>Impatiens noli-tangere, L.</i>	キンリフネ		
RUTACEAE 芸香科			
<i>Ruta subtripinata, Miq.</i>	ハムルウダ	芸香	
<i>Boeinghausenia albiflora, Reich.</i>	マンカゼサウ		
<i>Dicamnus fraxinella, Pers.</i>	ハムカン	白鮮	
<i>Evodia rutaecarpa, Benth.</i>	コシホ	吳茱萸	
<i>Evodia glauca, Miq.</i>	キンダ	藥木	
<i>Zanthoxylon piperitum, D. C.</i>	サンセウ	秦椒	
<i>Zanthoxylon var.</i>	アサクラサンセウ	蜀椒	
<i>Zanthoxylon schimnifolium, S. et Z.</i>	ハムサンセウ	岷椒	
<i>Zanthoxylon ailanthoides, S. et Z.</i>	カラスサンセウ	食茱萸	
<i>Orixa japonica, Th.</i>	コクサギ	常山	
<i>Skimmia japonica, Th.</i>	シキヤミンキン	茵芋	
<i>Citrus sp.</i>	キノクニミカン	乳柑	
<i>Citrus sp.</i>	ウンシウミカン	柑	一種
<i>Citrus sp.</i>	フクシウミカン	柑	一種
<i>Citrus sp.</i>	タチシミカン	柑	一種
<i>Citrus sp.</i>	クニミカン	朱柑	
<i>Citrus sp.</i>	キクシカン	荔枝	
<i>Citrus sp.</i>	タウシカン	香橙	
<i>Citrus sp.</i>	クネンボ		
<i>Citrus sp.</i>	カウシ		

<i>Citrus sp.</i>	ウンシウタチバナ	橘	一種
<i>Citrus sp.</i>	ウロンタチバナ	狗橘	
<i>Citrus trifolia, Th.</i>	カラタチ		
<i>Citrus bigaradia, Dulac.</i>	ダイダイ	臭橙	
<i>Citrus sp.</i>	ザダイダイ	回青橙	
<i>Citrus sp.</i>	ユズ	柚	
<i>Citrus sp.</i>	モチユ		
<i>Citrus sp.</i>	トコユズ	邇柚	
<i>Citrus sp.</i>	ハナユ		
<i>Citrus sp.</i>	ユカウ	柚柑	
<i>Citrus sp.</i>	キコク	枳柑	
<i>Citrus medica, Risso.</i>	テブツシユカン	佛手柑	
<i>Citrus sp.</i>	マルブツユカン	狗櫛	
MELIACEAE 楝科			
<i>Citrus decumana, L.</i>	サボソ	朱欒	
<i>Citrus sp.</i>	シヤガタラシカン	文旦	
<i>Citrus sp.</i>	オホデントウシ		
<i>Citrus japonica, Th.</i>	キンカン	金橘	
<i>Citrus japonica, Th. var.</i>	ナガキンカン	金橘	
<i>Citrus</i>	タウキンカン	金橘	
<i>Citrus</i>	キントウ	金豆	
<i>Citrus</i>	コキンカン		
MELIACEAE 楝科			
<i>Melia azedarach, L.</i>	ヤンダン	山楝	
<i>Melia azedarach, L.</i>	ヤンダン		
<i>Melia azedarach, L.</i>	ヤンダン	山楝	
<i>Cedrela sp.</i>	チヤンチン	椿	
LIGINEAE 冬青科			
OR			
AQUIFOLIACEAE			

Plex crenata, *Th.* イヌツゲ 柞木
Plex sieboldii, *Miq.* ウメモドキ 落霜紅
Plex rotunda, *Th.* フタラシク 冬青一種
Plex pedunculosa, *Miq.* シロモチ 冬青
Plex integra, *Th.* モチノキ 細葉冬青
Plex integra, *Th.*, *var.* 黄實モチノキ 同
Plex sp. ナノメノキ 冬青一種
Plex sp. シロモチ 冬青一種
Plex sp. クロノコヒ 冬青一種
Plex sp. ツルツゲ ヤマトメ

CELASTRACEAE

衛矛科

衛矛

Evonymus oxyphyllus, *Miq.* シリシナ 桃葉衛矛一種
Evonymus sp. ロベチク 桃葉衛矛一種
Evonymus japonicus, *Th.* イサキ 杜仲一種
Evonymus sp. クロトチウ 杜仲一種
Evonymus radicans, *Sieb.* ツルメサキ 扶芳藤
Celastrus articulata, *Th.* ツルムメモドキ
RHAMNACEAE 鼠李科
Paliurus aubletia, *Roem.* ハナツメ
Zizyphus vulgaris, *Lam.* ナシ
Zizyphus sp. サネフトナツメ 棗
Berchemia racemosa, *S. et Z.* クマヤナギ 山藤
Rhamnus japonica, *Max.* クロムメモドキ 鼠李
Rhamnus crenata, *S. et Z.* イソノキ

Hovenia dulcis, *Th.*

タハナシ

枳椇

AMPELIDAE

OR

VITACEAE

葡萄科

Vitis labrusca, *L.* ガネン 紫葛
Vitis vinifera, *L.* ブドウ 葡萄
Vitis sp. ヤブドウ 蔓
Vitis flexuosa, *Th.* ホビヅル 蛇葡萄
Vitis heterophylla, *Th.* ノブドウ 烏蕨
Vitis sp. キヤウシヤノミヅ 地錦
Vitis inconstans, *Miq.* ッタ 烏蕨
Vitis pentaphylla, *Th.*, *var.* ヤブカツラ
Vitis pentaphylla, *Th.*, *var.* ビヤクレン
Vitis pentaphylla, *Th.*, *var.* カシミタサ

帝都時代ノ遊園

SAPINDACEAE 無患樹科

Koehreuteria paniculata, *Lam.* モクゲンシ 欒樹
Aesculus turbinata, *Bl.* センダン 七葉樹
Sapindus mukorosi, *Gaertn.* ムクロシ 無患樹
Acer sp. モミヂ ヤマモミヂ 槭樹
ノムラカヘデ
チシホカヘデ
シヤマカヘデ
Acer sp. オホサカツキカヘデ
イチギヤウイン
ベニシダレカヘデ
Acer japonicum, *Th.* マイゲツカヘデ
ハウチハカヘデ

- Acer trifidum*, *Th.*
タウカノキ
- Acer* sp.
ネカランナ
- Acer cissifolium*, *C. Koch.*
ツミチカノキ
- Acer* sp.
ハナカノキ
ハナノキ
- ウリハダカノキ
ロンジンノキ
- Acer* sp.
チツカノキ
チツジノキ
- Acer diabolicum*, *Bl.*
カチカノキ
オニホシノキ
- Acer* sp.
ヤマシロノキ
チドリノキ
- Staphylea bumalda*, *S. et Z.*
ツミツツノキ
- Euscaphis staphyleoides*, *S. et Z.*

SABIACEAE 泡吹科

省沽油

- Crotalaria sessiliflora*, *L.*
タスキトメ
- Spartium japonicum*, *Miq.*
ヒヨシメ
- Spartium jinceum*, *L.*
ハシメ
- Trigonella foenum graecum*, *L.*
クロク
- Medicago denticulata*, *Willd.*
ウツクヤシ
- Medicago lupulina*, *L.*
ロメンブトウヤシ
- Melilotus arvensis*, *Wall.*
シナガンノキ
ヒコランノキ
- Trifolium repens*, *L.*
オランダゲンダ
シロツメグサ
- Trifolium lupinaster*, *L.*
シヤビツクサウ
- Lotus corniculatus*, *L.*
ミヤコグサ
コカネハナ
ヒボシサウ
- Psoralea corylifolia*, *L.*
オランダビロ

野百合
金雀花
胡蘆巴
首蓿
首蓿一種
草毒陵香一種
百脈根
破胡紙

- Meliosma myrianthas*, *S. et Z.*
アナンノキ
ヌカガラ
- Meliosma tenuis*, *Max.*
ツキヤンノキ
- ANACARDIACEAE 漆樹科
- Rhus semi alata*, *Murr.*
フニンノキ
- Rhus succedanea*, *L.*
ハシノキ
ラウノキ
- Rhus silyvestris*, *S. et Z.*
ヤブノキ
- Rhus vernicifera*, *D. C.*
ウルシ
- Rhus toxicodendron*, *L. var. radicans.*
シタウルシ
- CORIARIACEAE 木本鈎吻科
- Coriaria japonica*, *A. Gray.*
ドクウツノキ
ヤチロノコロシ
- LEGUMINOSAE 苳科
- Thermopsis fabacea*, *D. C.*
ヤンタノキ

木本黃精葉鈎吻
野決明

- Indigofera tinctoria*, *L.*
インゴノキ
イソノキ
- Indigofera tinctoria*, *L.*
コヤンノキ
- Wistaria chinensis*, *S. et Z.*
マンサキノキ
- Wistaria brachybotrys*, *S. et Z.*
シナンノキ
- Carranaga chamlagu*, *Dick.*
マンズメ
- Astragalus adsurgens*, *Pall.*
インワウノキ
タテヤウノキ
- Astragalus reflexistipulus*, *Miq.*
ヒメシシ
- Astragalus lotooides*, *Lam.*
ゲンゲ
レンゲサウ
- Hedysarum esculentum*, *Levl.*
ワウノキ
コロシノワウノキ
- Aeschynomene indica*, *L.*
クサネム
- Desmodium laburnifolium*, *D. C.*
ウツクサ
シナンノキ

六八五

<i>Desmodium japonicum, Miq.</i> ヌメムシアンキ ヤブムシアンキ	胡枝子	<i>Lathyrus messerschmidii, Fr. et Szv.</i> タニワタシ ナンテンハギ	歪頭菜
<i>Lespedeza cyrtobotrya, Miq.</i> ムギ		<i>Pisum sativum, L.</i> エンゴウ	豌豆
<i>Lespedeza pilosa, S. et Z.</i> ネロンギ		<i>Glycine hispida, Moench.</i> マメ オホマメ クロマメ	黑豆
<i>Lespedeza juncea, Pers.</i> メムシアンキ	鐵掃帚	シロマメ	黄豆
<i>Vicia angustifolia, Roth.</i> カリスノエンゴウ	大巢菜	ワセマメ ナツマメ	梅豆
<i>Vicia cracca, L. var. japonica, Miq.</i> クサフネ		ナカテマメ	大豆
<i>Vicia hirsuta, Koch.</i> ヌメムシアンゴウ	小巢菜	オクテマメ アキマメ	報秋豆
<i>Vicia tetrasperma, Moench.</i> カヌヅサ	小巢菜一種	クラカケマメ	烏眼黄
<i>Vicia Faba, L.</i> ムシアンキ	蠶豆	クリヤマメ	褐大豆
<i>Lathyrus maritimus, Bigel.</i> ムシアンゴウ	野豌豆	コンチヤマメ	
<i>Lathyrus tanakae, Fr. et Szv.</i> イタチササゲ エンゴウサウ	荳芒決明		
<i>Lathyrus palustris L.</i> ムシアンゴウ	山藜豆		

コラトメ	土圀兒	ワセアヅキ	麻熟
<i>Apios fortunei, Mac.</i> ホトトモ		ダイナモンアヅキ	猪肝赤
<i>Mucuna capitata, Wright et Arn.</i> ハツシヤウイメ オシヤラクマメ マヂマメ	黎豆	サノゲ フヂマメ インゲンマメ	豇豆 鵲豆
<i>Pueraria thunbergiana, Benth.</i> クヌ	葛豆	<i>Alyosia surbrihombea, Miq.</i> ノアヅキ キツネマメ	
<i>Canavalia incurva, D. C.</i> ナタマメ	刀豆	<i>Rhynchosia volubilis, Lour.</i> タンキリマメ キンチヤクマメ	鹿藿
<i>Canavalia lineata, D. C.</i> ハマナタマメ インマメ		<i>Euchresta japonica, Benth. et Hook.</i> ミヤマトハラ イシヤダホシ	山豆根
<i>Phaseolus vulgaris, L.</i> インゲンマメ ゴグワツサハゲ 白ワツサハゲ 白ワツフサイインゲン 白ワツフサイインゲン 茶ワツフサイインゲン 茶ワツフサイインゲン 赤ワツフサイインゲン 赤ワツフサイインゲン	茶豆	<i>Sophora japonica, L.</i> エンシト	槐
<i>Phaseolus radiatus, L.</i> アキアヅキ アキアヅキ	赤小豆	<i>Sophora sp.</i> イヌエンシト <i>Sophora tomentosa, W.</i> アフリカエンシト <i>Sophora angustifolia, S. et Z.</i> クラノ	穢槐 苦参

Arachis hypogaea, L.
 タウシンプメ
Gleditsia japonica, Miq.
 サイカチ
Cassia minosoides, L.
 カハラケツメイ
Cassia sp.
 クサネム
Cassia occidentalis, L.
 ハブサウ
Cassia tora, L.
 エビスクサ
 ケツメイ
Cassia chinensis, W.
 エンセンナ
Cassia corymbosa, W.
 オホムノセンナ
Cassia lanceolata, P. S.
 アメリカセンナ 西印度産
Banhinia japonica, Mac.
 ハカマカシラ
 ノンシロ
Banhinia sp.
 ロンシロ
Cercis chinensis, Bunge.
 ハナスワウ

落花生
 皂莢
 山扁豆
 合蒴
 望江南
 決明
 金鳳

Albizia julibrissin, Boiss.
 ネムノキ
Acacia farnesiana, Willd.
 キンガウクハン
Acacia sp.
 キンガウクハン
Acacia sp.
 シカウクハン
Acacia sp.
 セウバイナ花戸ノ名
Mimosa pudica, L.
 ネムリグサ
Erythrina crista galli, W.
 ナイロ
 ツエツテセス花戸
 イソフデ 産地未詳ナラズ小キ蛾形花ヲ開キ淡黄色ニシテ形ドヤウフヂノ花ニ似タリ

合歡
 荊毬花
 含羞草
 梯姑樹
 梅

ROSAEAE 薔薇科

Prunus tomentosa, Th.
 フスラムメ
Prunus munne, S. et Z.
 イメ

Prunus pseudo-cerasus, Lindl.

サクラ
 ヤマサクラ

櫻桃

Prunus subhirtella, Miq.
 コガンサクラ

櫻桃 一種

Prunus japonica, Th.
 スサキ

李

Prunus sp.
 ニンダム

郁李

Prunus sp.
 ニハサクラ

多葉郁李

Prunus siori, Fr.
 ウンシツサクラ

イメサクラ

Prunus macrophylla, S. et Z.
 シンチノキ

ビラン

Prunus spinulosa, S. et Z.
 リンボク

ヒラギガシ
 タデキ

Amygdalus persica, L.
 モモ

セイヤフモモ

桃 一種

Amygdalus sp.
 イソサイモモ

桃 一種

Spiraea thunbergii, Sieb.
 コクメハナ

珍珠花

Spiraea prunifolia, S. et Z.
 シンゲンナ
 ハヤナギ

笑靨花

Spiraea japonica, Lion.
 コチトリ

麻葉繡毬

Spiraea callosa, Th.
 シモンケ

繡線菊

Spiraea sp.
 フルンシモツケ

繡線菊 一種

Spiraea palmata, Thunb.
 シモツケサウ

クサシモツケ

Spiraea sorbifolia, L.
 ホサキナノカメド

イハキナンネ

Spiraea aruncus, L.
 ヤトビキンヤウド

ヤトビキンヤウド

Keria japonica, D. C.
 ヤトビキ

棣棠花

Rhodotypos herrioides, S. et Z. シロキヤンキ			
Rubus sieboldi, Mig. シロノハナイチゴ			
Rubus buergeri, Mig. ノハナイチゴ	寒	莓	
Rubus palmatus, Th. ホノシロイチゴ			
Rubus incisus, Th. キイチゴ	懸	鉤子	
Rubus parvifolius, L. ナシノイチゴ	藨	田藨	
Rubus tokkura, Sieb. カラタネイチゴ	浙江種	覆盆子	
Rubus idaeus, L. クサイチゴ	蓬	藪	
Geum japonicum, Th. ダイコンサウ	水	揚梅	
Geum sp. ベニムナダイコンサウ	水	揚梅	洋種紅花ノ著
Geum sp. シキマダイコンサウ	水	揚梅	一種
Geum dryadoides, S. et Z. イナグルマ チンクルマ			
Waldsteinia sibirica, Tratt. ロキンソノイ			
Fragaria chinensis, Ehrh. var, Ammassa. オランダイチゴ	蛇	莓	一種
Fragaria indica, Andr. ハビイチゴ	蛇	莓	
クチナハイチゴ			
Fragaria chilensis, Ehrh. シロハナノハビイチゴ	蛇	莓	一種
Potentilla fragarioides, L. var, Stoloufer, Lehmann. キジトシロ			
Potentilla chinensis, Ser. カハラザイロ	委	陵菜	
Potentilla discolor, Bunge. フクリヤウサウ ツチクリ	雞	腿兒	
Potentilla inclinata, Vahl. ヲビイチゴ	蛇	含	
Potentilla sp. オホハビイチゴ	蛇	含	一種
Potentilla cryptotaeniae, Max. シツモトサウ	狼	牙	
Potentilla sp. クロバナフウゲ	狼	牙	一種

Potentilla fruticosa, L. キレラウハシ			
Agrimonia risicidula, Bunge. キンシニコキ	龍	芽草	
Poterium officinale, L. ワシモカウ	地	榆	
Poterium tenuifolium, Fisch. タウウチサウ	地	榆	一種
Rosa multiflora, Th. ノハシラ	野	薔薇	
Rosa シキサキバラ	月	季花	
Rosa オノハニシラ	月	季花	一種
Rosa シキサタンザキバラ	淡紅色	千瓣四季咲	
Rosa ウスベニボタンバラ	四	季咲	
Rosa ムラサキヤハボタンバラ	一	季咲	
Rosa ヤエウスベニバラ			
Rosa ハチシヤウバラ			
Potentilla sp. ツルイバラ			重瓣淡紅
Rosa ムメノカバラ			
Rosa ソコジロムメノカゼバラ			
Rosa センハゴクベニバラ			
Rosa カバヤエバラ	黄	褐	色一季咲
Rosa 一季咲キイバラ			黄薔薇
Rosa ヒトエカウシンバラ			
Rosa ウスベニヤハバラ	カウ	シン	バラ一種
Rosa クロベニバラ	コウ	シン	バラ一種
Rosa ナンキンバラ			
Rosa ハクワウバラ			
Rosa シボリウキヨウバラ			

Rosa
サクラバラ 單瓣淡紅色ニシテ花ノ如シ

Rosa
イザヨヒバラ 葉サンセウイバラノ如クニシテ重瓣且一葉ニ缺處アルモノ

Rosa banksiae, R. Brown in Ait.
モクカウバラ

Rosa sinica, Ait.
ハトヤバラ 單瓣紅色ニシテ花形ハナニハナイバラニ似タリ

Rosa microphylla, Roxb.
サンセウイバラ 葉山椒葉ノ如クニシテ單瓣淡紅色ノモノ

Rosa rugosa, Th.
ンヤナメ

Pyrus communis, L.
アンラクワ

Pyrus chinensis, Poir.
クハリン

Pyrus japonica, Th.
クサボケ

Pyrus cydonica, L.
ペルメロ

Pyrus toringo, Sieb.
ズミ

Pyrus spectabilis, Ait.
ヒメカイダウ

カヘダウ

木香花

玫瑰

安蘭榭榭一種

榭子

榭子

棠梨一種

海棠

Pyrus aria, Ehrh.
ウラジロノキ

Pyrus sambucifolia, Cham.
ナナカマエ

Pyrus japonica, Th.
クサボケ

Cydonia japonica, Pers.
ボケ

Crataegus sanguinea, Pall.
オホサンザシ

Crataegus cuneata, S. et Z.
サンザシ

Crataegus alnifolia, S. et Z.
アジキナシ

Photinia glabra, Th.
ハカリノメ

Photinia villosa, D. C.
カナメモチ
カナメガシ
ウシコロシ
カマツカ

Amelanchier canadensis, Torr.
ザイフリボク
ミデサクラ

花楸樹

榭子

木瓜

羊机子

山榭

杖移

Osteomeles subrotunda, C. Koch.

テニンムメ

小石積

SAXIFRAGEAE 虎耳草科

Astilbe japonica, Miq.

アンモリシヨウヤ

落新婦 一種

Astilbe sp.

ンチシヤウシヨウヤ

落新婦 一種

Astilbe chinensis, Max.

ヤブンキンモウヤ

落新婦

Rodgersia podophylla, A Gray.

ヤブクルマサウ

鬼燈檠

Saxifraga sarnentosa, L.

トキノシタ

虎耳草

Saxifraga contusaeifolia, S. et Z.

タムモンシサウ

虎耳草 一種

Saxifraga tellimoides, Max.

タキナ

虎耳草

Saxifraga fusca, Max.

クロクモサウ

虎耳草

Mitella japonica, Miq.

チヤルメルサウ

虎耳草

Chrysosplenium macrostemon, Max.

イハボタン

虎耳草

Parnassia palustris, L.

ムメムチサウ

Hydrangea paniculata, Sieb.

ノリノキ

Hydrangea thunbergii, Sieb.

キマツチヤ

土常山

Schizophragma hydrangeoides, S. et Z.

イハガラシ

鑽地風

ユキカヅラ

ウチツギ

Deinantho bisida, Max.

ギンギンイサウ

ギンガサウ

ギョクダントウ

ウツギ

Deutzia sieboldiana, Max.

ウツギ

渡 疏

Philadelphus coronarius, L.

サツマウツギ

ハイツワウツギ

Itea japonica, Ol.

スイナ

Ribes fasciculatum, S. et Z.

ヤブサンザシ

キビヨブシ

- Ribes grossularia, L. グ羅斯ハリ
- Ribes rubrum, L. マルスグリ
- Ribes sp. フカシビス
- ヤシヤビシヤン
- テンバシ
- CRASSULACEAE 景天科
- Cotyledon spinosa, L. シメレンガ
- Cotyledon sp. トンズルン
- Sedum kantschaticum, Fisch et Mey. キリンサウ
- Sedum erythrostictum, Miq. ヨンケイサウ
- Sedum sp. シンシメンケイサウ
- Sedum sp. インシメンケイサウ
- Sedum sieboldi, Sweet. シセムヤ
- Sedum sp. タチシセムヤ
- 馬齒莧葉景天一種
- Sedum japonicum, Sieb. ベンネンサウ
- Sedum subtile, Miq. マルシノマンネンサウ
- Sempervivum. インレンダ
- Echeveria purpurea. ムラサキレンダ
- Penthorum sedoides, L. サシレン
- タコノアシ
- DROSERACEAE 茅膏菜科
- Drosera lunata, Buchan. イシモチサウ
- Drosera rotundifolia, L. モウセンゴケ
- マユノチ
- HAMAMELIDEAE 金縷梅科
- Distylium racemosum, S. et Z. イス
- ヒヨクニキ
- Corylopsis spicata, S. et Z. トサシムキ
- Corylopsis pauciflora, S. et Z. コウガシムキ
- 佛甲草
- 佛甲草一種
- 石蓮華
- 杜根菜
- 茅膏菜

- Hamelis japonica, S. et Z. ヤシヤン
- Disanthus cercidifolia, Macr. ヤシヤンキ
- Liquidambar maximowiczii, Miq. フナ
- HALORAGACEAE 蟻塔科
- Haloragis nigerantha, Rob. プリンタン
- Myriophyllum verticillatum, L. キツネノコ
- フサキ
- Myriophyllum spicatum, L. タチホ
- キンネン
- Callitriche verna, L. シンシロク
- 水馬齒
- MELASTOMACEAE 野牡丹科
- Melastoma macrocarpa, Don. ノボタン
- Bredia hirsuta, Sims. ノシカン
- LYTHRARIACEAE 千屈菜科
- Lythrum virgatum, L. シンシキ
- Lagerstroemia indica, L. サルスズリ
- 百日紅紫微花
- Lagerstroemia indica, L. サルスズリ白花ノ者
- Lagerstroemia indica, L. サルスズリ淡紅ヲ帯ブモノ
- ONAGRACEAE 柳葉菜科
- Eplobium pyrricholophum, Fr. et S. アカンナ
- 柳葉菜
- Eplobium spicatum, Leon. ヤナギラン
- ヤナギサウ
- Oenothera biennis, W. マツヨヒクサ
- ヤンヅキンゼン
- Jussiaea repens, L. シンキンゼン
- ヌメグリ
- Ludwigia ovalis, Miq. シンキノシタ
- トラパ bispinosa, Roxb. コシ
- Fuchsia sp. ホクシヤ單瓣紅
- ヒヤウタンサウ
- 芫 實

Fuchsia sp. ホトシヤ單瓣心白
Fuchsia sp. ホトシヤ複瓣紅
Fuchsia sp. ホトシヤ小葉小花

CUCURBITACEAE 葫蘆科

Trichosanthes cucumeroides, Ser. 王瓜
カラメウリ
Trichosanthes japonica, Regel, Ind. 括樓
キガラメウリ
Lagenaria vulgaris, Ser. 葫蘆
くうたん
Lagenaria sp. 葫蘆
ヤハソウ
Lagenaria sp. 扁蒲
ユウガホ
Lagenaria dasistemom, Miq. 冬瓜
カモウリ
Citrullus edulis, Spa h. 西瓜
スイタン
Luffa petola, Ser. 絲瓜
くちや

Cucurbita pepo, L. 南瓜
ホウフヲ
タウナス
Cucumis melo, L. 甜瓜
メロウウリ
Cucumis conomon, Th. 越瓜
シロウリ

Cucumis sp. 越瓜一種
アホシメウリ
Cucumis sativus, L. 胡瓜
キウリ

Monardica charantia, L. 苦瓜
ソルレイシ
ニカウリ

Melothria regellii, Naud. 馬駁兒
スズメウリ
ツルホソツキ

BEGONIACEAE 秋海棠科

Begonia grandis, Dryand. 秋海棠
シウカイゴウ
Begonia sp. 秋海棠
タイホンソコニヤ 葉暗緑ニ淡緑ノ斑アリ背亦葉色ノ斑アリ葉毛多シ
Begonia sp. 秋海棠一種
ホンソコニヤ

Begonia sp. 秋海棠一種
ソコニヤ 花白紅ニシテ美ナリ

FICOIDEAE 蕃杏科

Tetragonia expansa, Ait. 蕃杏
シムナ

Mollugo stricta, L. var. angustifolia, Fenzl. 粟米草

UMBELLIFERAE 繖形科

Hydrocotyle asiatica, L. 積雪草
シボクサ

Hydrocotyle sibthorpioides, Lamk. 石胡荽
チヌメクサ

Sanicula elata, Hamill. 變豆菜
ヤマンニン

Bupleurum sachalinense, Fr. 南柴胡
ホタルサウ

Bupleurum falcatum, L. 比柴胡
マルムザウ

Carum neurophyllum, Max. 比柴胡
シムナ

Siuna ninsi, L. 比柴胡
シムナ

Cryptotaenia canadensis, D.C. 萬本
ソコニヤ

Nothosmyrnum japonicum, Miq. 萬本
カサモチ

Anthriscus cerefolium, L. 萬本
シヤクナ

Chamaele tenera, Miq. 竹茶
サントウサウ

Chamaele tanakae, F. et S. 竹茶一種
ホンソノセントウサウ

Phellopterus littoralis, Fr. 竹茶
シヤロセントウサウ

Oenanthe stolonifera, D.C. 水蕒
ソコニヤ

Siler divaricatum, Benth et Hook. 防風
ウダソウ

Ligusticum acutilobum, S. et Z. 當歸
タクキ

Selinum japonicum, Miq. 蛇牀
ソコニヤ

Angelica anomala, Lall. 白芷
ソコニヤ

Angelica kiusiana, *Max.*
 アシタバ
 ハチジヤウサウ
 Angelica
 ハトウゴ
 Angelica decursiva, *Miq.*
 タニセリ
 ノダケ
 Peucedanum japonicum, *Th.*
 ホタンニンシ
 Peucedanum sieboldi, *Miq.*
 ヤマゴリ
 Heracleum barbatum, *Ledl.*
 ハナウ
 Caulis japonica, *Houtt.*
 ヤブシロ
 ARALIACEAE 五加科
 Aralia cordata, *Th.*
 ウ
 Aralia spinosa, *L.*
 タリノキ
 Aralia sp.
 カクレミノ
 ミツナガシ
 ミソブタ

Panax repens, *Max.*
 トチノキ
 チクゼンニンシ
 Panax ginseng, *C.A. Mey.*
 オタネニンシ
 Acanthopanax spinosum, *Miq.*
 ウロキ
 Acanthopanax reinifolia, *S. et Z.*
 ハリギリ
 Acanthopanax divaricatum, *S. et Z.*
 イモノキ
 タカノツメ
 Acanthopanax innovans, *S. et Z.*
 ニンジンボ
 コシアブラ
 コンボツ
 Fatsia japonica, *Decn.*
 ヤンギ
 Fatsia horrida, *Smith. in Rees.*
 ハリブキ
 クマダラ
 Hedera helix, *L.*
 キヅタ
 フヨツタ
 HELWINGIACEAE 花筏科
 土 参
 人 参
 五 加
 刺 楸
 金 剛 纂
 常 春 藤

Helwingia japonica, *Diels.*
 ハナイカダ

CORNACEAE 山茱萸科

Marlea platanifolia, *S. et Z.*
 サリノキ
 Cornus brachypoda, *C. A. Mey.*
 コシノキ
 Cornus officinalis, *S. et Z.*
 サニンゴ
 Cornus kousa, *Buenger herb.*
 ヤマボサ
 Cornus canadensis, *L.*
 コヤンタチノサ
 Aucuba japonica, *Th.*
 アラクキ
 アヲキ

MONOPETALIAE 單瓣花類
CAPRIFOLIACEAE 忍冬科

Adoxa moschatellina, *L.*
 レンブクサウ
 Sambucus rasemosa, *L.*
 ニントロ
 八角 楓
 山 茱 萸
 羊 婆 奶
 桃 葉 珊 瑚
 接 骨 木

Sambucus thunbergiana, *Bl.*
 ソクツ
 クサツツ

蒴 藿

Viburnum opulus, *L.*
 カンボク
 Viburnum plicatum, *Th.*
 ムシカリ
 オホカメノキ
 Viburnum erosum, *Th.*
 オトノヨウメ
 Viburnum dilatatum, *Th.*
 ガヤメ
 Viburnum macrophyllum, *Th.*
 ハクサンボク
 Viburnum sanjankwa, *Hassk.*
 サンダレクワ
 Triosteum sinuatum, *Max.*
 ヌクエフシヤウダ
 Diervilla versicolor, *S. et Z.*
 タニウツギ
 Diervilla grandiflora, *S. et Z.*
 ハロネウツギ
 Lonicera flexuosa, *Th.*
 スヒカヅラ
 蒴 藿 一 種
 蒴 藿 樹
 堅 蒴 樹
 賣 子 木
 獨 用 將 軍
 楊 櫨
 錦 帶 花
 忍 冬

- Lonicera xylosteum*, L.
キンギンボク
ヒヤウタンボク
- Lonicera graefipes*, Miq.
ウグイスカブヲ
ウキヒスノキ
- Abelia serrata*, S. et Z.
ツクシネウツギ
コツクシネ
- RUBIACEAE 茜草科**
- Uncaria rhynchophylla*, Miq.
カキカンヲ
- Mussaeda parviflora*, Miq.
コンロウタワ
- Gardenia florida*, L.
クチナシ
- Gardenia radicans*, Th.
コクチナシ
- Paederia foetida*, L.
ヘクタンカヅラ
- Dammacanthus indicus*, Gaertn.
アリマホシ
- Dammacanthus indicus*, Var.
コシアリマホシ
- Dammacanthus macrophylla*, Sieb.
シトズネノキ
- Rubia cordifolia*, L.
アカネ
- Rubia tinctoria*, L.
洋種アカネ
- Galium boreale*, L.
キヌタサウ
- Galium verum*, L.
カンライマツシ
- Galium aparine*, L.
ヤノムタラ
- VALEARIANAE 敗醬科**
- Patrinia scabiosaeifolia*, Link. Euum.
オシナノシ
- Patrinia villosa*, Juss.
オトロクシ
- Patrinia palmata*, Max.
キンダシクワ
- Valeriana officinalis*, L. var. *Angustifolia*, Miq.
ハクサンヨシナノシ
カノコサウ
ハルヲシナノシ
- DIPSACEAE 山蘿蔔科**
- Dipsacus japonicus*, Miq.
ナシナ
- 鱷齒花
- 鈎藤
- 厄子
- 水厄子
- 藤本女青
- 虎刺小葉
- 茜草
- 蓬子菜
- 猪殃々
- 地花茶
- 山芹菜

Scabiosa japonica, Miq.

マシムシサウ
リンボウギク

山蘿蔔

COMPOSITAE 菊科

- Eupatorium japonicum*, Th.
コヨメリンシナ
- Eupatorium chinense*, L.
ノボシカト
- Eupatorium* sp.
アメリカンペンカム
- Petasites japonicus*, Miq.
フキ
- Petasites* sp.
フキ
フキ
オホフキ
コルコニ北海道方言
- Adenocaulon adhaerescens*, Max.
キヤウシヤノキ
- Aster spathulifolius*, Max.
ダルマギク
- Aster trinervius*, Retz. var. *longifolia*, Fr. et Saw.
シラン
- Aster trinervius*, Retz. var. *ovata*, Fr. et Saw.
コンキク
- 山蘿蔔
- 山蘭
- 深蘭一種
- 欵冬一種
- 欵冬一種
- 和尚菜
- 紫苑
- 馬蘭
- Aster scaber*, Th.
シラヤマギク
- Boltonia indica*, Benth.
テウセンギク
- Boltonia cantoniensis*, D.C.
ヨメナ
- Bellis perennis*, L.
ヒナギク
エンメイギク
- Solidago virga aurea*, L.
アキノキリンサウ
アハダチサウ
- Inula helenium*, L.
オホグルマ
- Inula japonica*, Th.
オグルマ
- Inula involuerata*, Miq.
アントギク
- Eclipta alba*, Hassk.
タカサブラウ
- Siegesbeckia orientalis*, L.
メナモシ
- Xanthium strumarium*, L.
ヲナモシ
- 東風菜
- 雞兒腸
- 劉寄奴草一種
- 土木香
- 旋覆花
- 鱧腸
- 稀莪
- 蒼耳

Wedelia calendulacea, Less.
 シンダウル
 シホカゼ

Cichorium endivia, L.
 キクチサ
 ハナギンヤ

Cichorium endivia, var. kosnia.
 キクニガナ

Zinnia elegans, W.
 ヒヤクニチサウ
 シンニヤ 花色紅、白、黄ノ數品アリ

Helianthus annuus, L.
 ヒメノリ 向日葵

Helianthus sp.
 アメリカヒメワリ 向日葵一種十種

Coreopsis delphinifolia, L.
 ハルニヤギク

Bidens tripartita, L.
 タウコキ 狼把草

Bidens pilosa, L.
 キンタンズサ 鬼鏡草

Achillaea sibirica, Led.
 ノロキリサウ ノロキリサウ洋種

Achillaea millefolium, W.
 ノロキリサウ 著草

Leucanthemum Nipponicum, Fr. et Sav.
 シンギク 菊

Pyrethrum decaisneanum, Max.
 シホカゼキク
 イハギク
 キク 菊

Pyrethrum chinense, Sabin.
 アヘギク 甘菊

Pyrethrum sp.
 ナツギク
 カンギク
 オホギク
 コギク
 マンギク 夏冬洋珠満 菊

Pyrethrum indicum, Cass.
 アブラギク 野菊

Tripleurospermum ambiguum, Led.
 キンカウソウ
 シカギク 蒿

Chrysanthemum coronarium, L.
 シンギク
 キクナ
 ムジンサウ 蒿

Chrysanthemum leucanthemum, W.
 ノラニスギク 蒿

Artemisia capillaris, Th.
 カンラヨモギ 茵陳

Artemisia japonica, Th.
 キーロヨモギ 牡蒿

Artemisia japonica, Th. var. Deserlorum, Max.
 ハンヨモギ
 フクド 牡蒿一種

Artemisia annua, L.
 クワニンミン 黄花蒿

Artemisia sp.
 インヨモギ
 インインチン 黄

Artemisia schmidtiana, Max.
 アサギリサウ

Artemisia glivescens, Miq.
 ① シロヨモギ
 ② ヒメクハカウ 流球産白蒿

Artemisia absinthium, L.
 アルセム 蒿

Artemisia sp.
 オンタケアルセム

Artemisia gilv-scens, Miq.
 コメヨモギ 野艾蒿

Artemisia vulgaris, L.
 ヨモギ 艾

Artemisia keiskeana, Miq.
 イヌヨモギ 菴

Myriogone minuta, Less.
 ハナヒリクサ
 トキンサウ 菴

Gnaphalium multiceps, Wall.
 ハノログサ 鼠麴草

Gnaphalium hypoleucum, D. C.
 アキノハノログサ 鼠麴草一種

Gnaphalium japonicum, Th.
 チノログサ 鼠麴草一種

Gnaphalium margaritaceum, L. var. cinnamomeum, Regel.
 ヤトハノロ 鼠麴草一種

Gnaphalium margaritaceum, var. angustifolium, Fr. et Sav.
 カンランノロ 萩

Helichrysum braetatum, W.
 ムギカラソナ

Gnaphalium sieboldianum, Fr. et Sav.
 ウスネギサウ

Acroclonium roseum, Hook.
 ハナカンザン 白又淡紅花ノ品アリ

Carpesium divaricatum, S. et Z.
 ガンクモサウ 杓兒菜

Carpesium abrotanoides, L.
ヤブタンゴロ 天名精
Gynura pinnatifida, D. C.
サシメチサウ 三七
Cacalia coarctata, H. K.
クニヒガナ
Senecio vulgaris, W.
ヤブシロ 藎
Senecio stenocephalus, Max.
コタカラカウ
メタカラカウ
Senecio cacaliaeformis, Rehb.
オホタカラカウ
Senecio kaempferi, D. C.
ツロブキ 藎
Senecio japonicus, Schultz.
ダケブキ 大呉風草
チヤウリヤウサウ
Senecio japonicus, Sch. Bip. Froma dissecta.
ハンクワイサウ 大呉風草一種
Senecio krameri, Fr. et Sav.
ヤブシロガサ 兎兒傘
Senecio zuccarini, Max.
モシデガサ

Senecio synnilesis, Fr. et Sav.
タイミンガサ 劉寄奴草
Senecio farfarefolius, Max.
カウモリサウ
Senecio bulbiferus, Max.
タマブキ
ヨブスマサウ
Senecio nikoensis, Mig.
サワギク 藎
ヒロギク
Senecio palmatus, pall.
ハンクンサウ 劉寄奴草
Calendula officinalis, L.
キンセンタロ 金盞草
Calendula officinalis, L. var. Subspalmulata, Mig.
タウキンセン 金盞草
オホキンセン 大品
Saussurea ussuriensis, Max.
イタチアザミ 金盞草
キクアザミ
Saussurea bungei, Benth. et Hook.
ヒメアザミ 藎
キンネアザミ
Attractylis ovata, Th.
ヒヤクシヨク 藎

Attractylis ovata, Th. f. Pinnata.
オケラ 蒼朮
Carduus crispus, L.
ヒメアザミ 飛廉
ヤハズアザミ
Oniscus spicatus, Max.
ヤブアザミ 大薊
ノアザミ 小薊
Lappa major, Gaertn.
クホウ 牛蒡
Rhaponticum atriplicifolium, D. C.
ヤマボクチ 小薊
ホクチアザミ
ヤムヒホウ
Serratula, coronata, L.
タムラサウ
タマハン木
Gerbera anandria, Schultz Bip.
センボンヤリ 大丁草
ムラサキタンホ
Ainsliaea uniflora, Schultz Bip.
クサヤツヂ
カンボクサウ
Ainsliaea apiculata, Schultz Bip.
キツカウシマ 大丁草
サジハグマ

Ainsliaea acerrifolia, Schultz Bip.
モシチンタマ 蒼朮
Macrocladum robustum, Max.
カシノシタマ 飛廉
Pertya scandens, Schultz Bip.
カウヤブキ 大薊
バンイカウシマ 小薊
タマバンキ
Lampisana parviflora, A. Gray.
ヤブタムシロ 野蔓菁
Achyroperus grandiflorus, Schultz Bip.
ワウケムサウ
Ficris japonica, Th.
カウシロナ 毛連菜
Lactuca squarrosa, Mig.
アキノザン 山萮菜
Taraxacum officinale, Wigg.
タンホ 蒲公英
ウスアカタンホ 同
シロタンホ 同
Ixeris Thunbergii, A. Gray.
ニガナ 黄瓜菜
Ixeris debilis, A. Gray.
ウルニガナ 剪刀股
ヂシハナ

- Ixeris repens, *A. Gray.* 剪刀股 一種
 ハメニガナ
 ハメノテウ
 Ixeris ramosissima, *A. Gray.* ヤンシサカ
 Crepis japonica, *Benth.* 黄 鶴 菜
 オニタヨリノ
 Crepis integra, *Miq.* ワタシ
 Crepis Keiskeana, *Max.* キシナギナ
 Sonchus oleraceus, *L.* 苦 菜
 ノヂシ
 ケシブサシ
 Sonchus arvensis, *L.* ハチシヤマナ
 Nabalus acerifolius, *Max.* フクワウサウ
 LOBELIACEAE 山 梗 菜 科
 Isolobus radicans, *A. D. C.* 半 邊 蓮
 ハタケノシロ
 ミヅカクシ
 Lobelia sessilifolia, *Lamb.* 山 梗 菜
 サンギノヤウ
 CAMPANULACEAE 桔 梗 科
 Platycodon grandiflorum, *A. D. C.* 桔 梗
 キキヤウ
 Glossoeonia lanceolata, *Reg.* シノニンシ
 Walenbergia marginate, *A. D. C.* 羊 乳
 コナギキヤウ
 Phytanma japonicum, *Miq.* 細 葉 沙 参
 シチシヤシ
 ヤウラタンシヤシ
 Campanula circaeoides, *Fr.* タニギノヤウ
 ニキノシタ
 Campanula punctata, *Lam.* 山 小 菜
 ホタルブクロ
 ツリガネサウ
 Campanula Nipponica, *Fr. et Sav.* 沙 参 一 種
 イノキノヤウ
 Adenophora verticillata, *Fisch.* 沙 参
 ハリガネニンシ
 Adenophora latifolia, *Fisch.* 杏 葉 沙 参
 タウシヤシ
 マルバニンシ
 Adenophora remotiflora, *Miq.* 薺 芹
 シンナ
 ERICACEAE 石 南 科

- Vaccinium oxiceceos, *L.* イノンビ
 アカキノ
 Vaccinium vitis idaea, *L.* 越 橘
 イノモ
 コケモ
 ハマナシ
 Vaccinium hirtum, *Th.* ウスイチ
 スノキ
 Vaccinium sp. シラタメノキ
 Vaccinium bracteatum, *Th.* ワクラフ
 シヤシヤシ
 Clethra barbinervis, *S. et Z.* リヤウ
 Epigaea asiatica, *Max.* イノナシ
 Gaultheria pyroloides, *Hook.* イノナンシ
 Leucothoe keiskei, *Miq.* イハツシキ
 イハナンチン
 Leucothoe graysana, *Max.* ハナホリノキ
 木 藜 蘆
 帝 都 時 代 ノ 遊 園
 Andromeda polifolia, *L.* アンドロメダ
 ニシツラフウシヤシナギ
 ジンシヤシナギ
 Andromeda ovalifolia, *Wall.* カシヨシ
 ネギキ
 Andromeda japonica, *Th.* アヤシ
 Cassiope lycopodioides, *Don.* イノコト
 Phyllodoce taxifolia, *Salisb.* シカドク
 Phyllodoce sp. ノメシツガサタシ
 Phyllodoce sp. シノメノサ
 Enkianthus japonicus, *Hook.* トクシノシ
 Enkianthus sp. シノメノサ
 Menziesia ciliicalix, *Max.* オホヤウラタンシ
 Menziesia purpurea, *Max.* ヤウラタンシ
 コヤウラク

Rhododendron methernichii, *S. et Z.*
シヤンナンギ 石南
Rhododendron sp. 石南
ホンハシヤナンギ
Rhododendron keiskei, *Miq.*
メシヤクナギ
サハチラン
ヒカゲシナンギ
Rhododendron indicum, *Sweet.*
カンキ 杜鵑花
Rhododendron sp. 石巖
キリンソト
Rhododendron indicum, *Sweet.*
クロンギシナンギ 躑躅一種
Rhododendron schlippenbachii,
Max. 躑躅一種
ヤシナンゴ
Rhododendron sp. 躑躅一種
ウシヤンナンギ
Rhododendron sp. 躑躅一種
キリンギシナンギ
ムウナンギ
Rhododendron sp. 羊躑躅一種
コウナンギ
Rhododendron dilatatum, *Miq.*
シナンギ

Rhododendron sp. 鹿蹄草
シイクロンギ
Ledum palustre, *L.*
インシナンギ 鹿蹄草一種
ホンシヤクナギ
Pyrola rotundifolia, *L.*
イチヤクサウ
Chimaphila japonica, *Miq.*
ウメガササウ
DIAPENSACEAE 岩梅科
Diapensia lapponica, *L.*
インムメ
フキヅメサウ
Shortia uniflora, *max.*
インウチン
ヤマトウチン
Schizocodon soldanelloides, *S. et Z.*
インガガシ
アタゴホシキ
ヨメノサウ
PRIMULACEAE 櫻草科
Primula japonica, *A. Gray.*
クリンサウ
Primula kisoana, *Miq.*
ガンロサウ
Primula sp. 杜葶山

Primula contusoides, *L.*
サクラサウ
Primula macrocarpa, *Max.*
ナンキンコザンシ
Primula chinensis.
カンギンシ
Primula sp. クリンザウラ
同 黄花ノ巻
Lysimachia clethroides, *Duby.*
オカトラノフ 珍珠菜
Lysimachia fortunei, *Max.*
メトランノホ 星宿菜
Lysimachia sikokiana, *Miq.*
ヒロロシツサ
Lysimachia davurica, *Willd.*
クサレダマ 黄連花
イワウサウ
Lysimachia japonica, *Th.*
ロナスミ 黄花繁縷
Trientalis europaea, *L.*
ツブアリゾウサ

MYRSINACEAE 紫金牛科

Moesa doreana, *Bl.*
イシヤンリヤウ 杜葶山
Moesa doreana, *Bl.*
イシヤンリヤウ 杜葶山
Ardisia crispa, *Alph.*
ハナタチンナ 百兩金
Ardisia japonica, *Bl.*
ヤンカウシ 紫金牛
Ardisia pusilla, *Alph.*
シルカウシ 紫金牛一種
EBENACEAE 柿樹科
Diospyros lotus, *L.*
シナンガキ 君遷子
Diospyros kaki, *L.*
カキ 柿
Diospyros morrisiana, *Hance.*
トキンガキ 君遷子一種
STYRACACEAE 齊墩果科
Symplecos prunifolia, *S. et Z.*
ハナンキ 山 檜
Symplecos nevitolia, *S. et Z.*
ハナンキ
Styrax obassia, *S. et Z.*
ハクワンボン 齊墩果一種
オホムチンヤ

- Stryrax japonicum, *S. et Z.*
チサノキ
ユヅノキ
ロクノキ
齊墩果
- Pterostyrax hispidum, *S. et Z.*
アサガラ
- OLEACEAE 狗骨科
- Fraxinus pubinervis, *Bl.*
トネリコ
欒 秦皮
- Fraxinus sp.
コハントネリコ
オホシダ
アヲダコ
欒 一種
- Forsythia suspensa, *Vahl.*
レンギキウ
イタチグサ
連翹
- Olea fragrans, *Th.*
モクセイ
木犀
- Olea aquifolium, *S. et Z.*
コナキ
狗骨
- Olea europaea, *L.*
オリーブ
ホルトノキ
阿利機樹
- Olea europaea, *L.*
オリーブトネリコ
オリーブトネリコ
水蠟樹
- Ligustrum ibota, *Sieb.*
イボタノキ
- Ligustrum japonicum, *Th.*
タマツシキ
ネズミモチ
女貞
- Ligustrum japonicum, *Var.*
フタロモチ
女貞變種
- Ligustrum reticulatum, *Bl.*
ハシムネ
- JASMINEAE 素馨科
- Jasminum sambae, *Ait.*
モフリンタウ
茉莉
- Jasminum sieboldianum, *Bl.*
カウシイ
迎春
- Jasminum floridum, *Bunge.*
リウキウフウシイ
黄素馨
- Jasminum grandiflorum, *L.*
シケイ
素馨
- ASCLEPIADEAE 白前科
- Metaplexis stamtoni, *Reem.*
ナガイモ
蘿藦
- Pyrostelma chinensis, *Bunge.*
ヤナギサイロ
スサイロ
徐長卿
- Vincetoxicum atratum, *Morr. et Dene.*
フナシラサウ
白薇

- Vincetoxicum purpurascens, *Morr. et Dene.*
クサタチシナ
白薇一種
- Vincetoxicum acuminatum, *Dene.*
ツルガシ
白薇一種
- Vincetoxicum brandtii, *Fr. et Sav.*
ロクランサウ
コトギヤクシ
白薇一種
- Vincetoxicum japonicum, *Morr. et Dene.*
イヨカシラ
白薇一種
- Vincetoxicum sp. 熊野産
シタキサウ
シタキリサウ
白薇一種
- Endotropis caudata, *Miq.*
イネイ
牛皮消
- Tylophora aristolochioides, *Miq.*
オホカホメシラ
牛蒡茶
- Marsdenia tometosa, *Morr. et Dene.*
キシヨラン
フヤウラン
牛蒡茶
- Hoya motoskei, *Tegs. et Binu.*
サトララン
毬蘭
- LOGANIACEAE 馬錢科
- Buddleya curviflora, *Hook.*
フキサンギ
醉魚草
- GENTIANACEAE 龍膽科
- Gentiana buergeri, *Miq.*
リンダウ
龍膽
- Gentiana sp.
チヤボリンダウ
龍膽一種
- Gentiana sp.
アサマリンダウ
龍膽一種
- Gentiana brevidens, *Fr. et Sav.*
イハリンダウ
オヤマンタウヤク
龍膽一種
- Gentiana thunbergii, *Gris.*
ハルリンダウ
コケリンダウ
石龍膽
- Gentiana japonica, *S. et Z.*
ウルリンダウ
龍膽
- Plenogyne rotata, *Gris.*
センブリ
タウヤク
龍膽
- Ophelia binaeulata, *S. et Z.*
アケボノサウ
ヨシノシヅカ
獐牙菜
- Villarsia crista galli, *Gris.*
イハイテウ
ミジイテウ
睡菜一種
- Menianthus trifoliata, *L.*
シシガシ
睡菜

Limnanthemum nyphoides, Link. 蕎 菜
 アサギ
Limnanthemum indicum, Griseb. 金銀蓮花
 ガガンタ
BIGNONIACEAE 紫 葳 科
Catalpa kaempferi, S. et Z. 梓
 キササゲ
 アツサ
 ハンテロイヤ
Tecoma grandiflora, Delaur. 紫 葳
 ノサゼンガシラ
CYRTANDRACEAE 苦 苣 苔 科
Didymocarpus prinnoides, Max. 苦 苣 苔
 インギリサウ
Conandron ramosioides, S. et Z. 苦 苣 苔
 イハタシロ
Rehmannia glutinosa, Libosch. 胡 面 蕒
 ヤムリンロフ
Rehmannia lutea, Max. 地 黄
 チロウ
 サラヒメ
HYDROPHYLLACEAE 幌 菊 科
Ellisiophyllum reptans, Max. 幌 菊
 ホロギク
 キタガラクサ

POLEMONIACEAE 花 葱 科
Polemonium caeruleum, L. 花 葱
 ナナシロ
CONNOLYLLACEAE 旋 花 科
Quamoclit vulgaris, Choisy. 蔦 蘿
 ルガウ
Quamoclit coccinea, L. 蔦 蘿
 マルバルカウ
 ルカウアサガホ
Pharbitis triloba, Miq. 牽 牛 子
 アサガホ
Calonyction speciosum, Choisy. 丁 香 茄 苗
 ハリアサガホ
 テウジアサガホ
Calystegia soldanella, Roerb. 旋 花 一 種
 ハマコルガホ
Calystegia japonica, Miq. 旋 花 一 種
 ヒルガホ
Dichondra repens, Forst. 旋 花 一 種
 アンビロケ
Cuscuta japonica, Choisy. 菟 絲 子
 ネナシガシラ
FORRAGINEAE 紫 草 科
Lithospermum erythrorhizon, S. et Z. 紫 草
 ヨラサキ

Lithospermum zalingeri, A. D. C. 龍 珠
 ホタルカゼリ
Eritrichium pedunculare, A. D. C. 雞 腸 草
 タビラコ
 カハラケナ
Eritrichium guiljelmi, A. Gray. 雞 腸 草
 カメシサウ
 ハカガシサウ
Eritrichium brevipes, Max. 雞 腸 草
 シンタシロ
Omphalodes ieuinae, Max. 雞 腸 草
 シルカメシサウ
Omphalodes kramerii, Fr. et Sav. 雞 腸 草
 ルリサウ 一種白花ノ者
 ハリサウ
Borrago officinalis, W. 龍 葵
 ホラゴ
SOLANACEAE 茄 科
Solanum melongena, L. 茄
 ナスビ
 ワセナス
 ナガナス
 シロナス
Solanum nigrum, L. 茄
 イヌホソツキ
 ナスビセンナリ

Solanum biflorum, Lour. 龍 珠
 ハダカホソツキ
Solanum dulcamara, L. 白 英
 マルシホロシ
Solanum lyratum, Th. 蜀 羊 泉
 コモドリシヤウモ
Solanum sp. 蜀 羊 泉
 イガホソツキ
Solanum tuberosum, L. 馬 鈴 薯
 シヤガタライモ
Physalis alkekengi, L. 酸 醬
 ホソツキ
Physalis angulata, L. 酸 醬
 センナリホソツキ
Nicandra physaloides, L. 苦 蕒
 オホセンナリ
Lycium chinense, Mill. 枸 杞
 オニヅロ
 クロ一種刺ナキ者
Lycium japonicum, Th. 同 天 星
 ハクテウゲ
 シテウケ
 タンテウケ
Datura alba, Nees. 曼 陀 羅 花
 テウセンアサガホ

Scopolia japonica, *Max.*
ハシリヒコロ 苺 若

Hyoscyamus niger, *L.*
ユモシヤムシ 烟 草

Nicotiana chinensis, *Fisch.*
タバコ 蕃 柿

Lycopersicum esculentum, *Willd.*
サシユシコロナスモ 番 椒

Capsicum longum, *L.*
タウガラシ 番 椒

Capsicum annuum, *L.*
チンヂタマモリタウガラシ 番 椒

SCROPHULARIACEAE 玄 參 科

Panlowia imperialis, *S. et Z.*
キリ 桐 參

Scrophularia alata, *A. Gray.*
コナウメソボ 山 玄 參

Scrophularia oldhami, *Oliv.*
コロンソウサ 玄 參

Mimulus nepalensis, *Benth.*
ミンホンヅキ 玄 參

Mimulus sp.
アメリカミンホンヅキ 玄 參

Mazus rugosus, *Lour.*
サキユケ 通 泉 草

Dopatrium japonicum, *Fr. et Sav.*
アブノメ 通 泉 草

Vandelia crustacea, *Benth.*
ウリクサ 通 泉 草

Vandelia erecta, *Benth.*
アヅナ 通 泉 草

Paederota villosula, *Miq.*
ソツカケサウ 通 泉 草

Veronica virginica, *L.*
クガイサウ 草 本 威 靈 仙

Veronica longifolia, *L.*
ルリトラノヲ 兔 兒 尾 苗

Veronica spicata, *L.*
ヒメトラノヲ 水 蔓 菁

Veronica incana, *L.*
タウチイラン 水 蔓 菁

Veronica anagallis, *L.*
カンチサ 水 蔓 菁

Veronica cana, *Willd.*
クワガタサウ 水 蔓 菁

Veronica sp.
マルハノクワガタ 信州 淺間山産
グンバイヅル 婆 納

Veronica agrestis, *L.*
イヌソウリ 婆 納

Veronica sp.
ムシクサ 蚊 母 草

Pitheiospermum chinensis, *Bunge.*
ロシホカマギク 蚊 母 草

Pedicularis resupinata, *L.*
シホガマギク 馬 先 蒿

Euphrasia officinalis, *L.*
ロシメダサ 馬 先 蒿

Digitalis purpurea, *L.*
チギタリス 馬 先 蒿

Verbasum thapsiforme, *Schreb.*
チギタリス白花者 馬 先 蒿

Verbasum sp.
フルンスキナム 馬 先 蒿

Verbasum sp.
フルンスキナム二種 馬 先 蒿

Verbasum sp.
フルンスキナム一種 馬 先 蒿

PHRYMACEAE 輻 毒 草 科

Phytolaba leptostachya, *L.*
フイブクサ 輻 毒 草 科

ACANTHACEAE 水 蓑 衣 科

Hygrophila lancea, *Miq.*
オキノシメ 水 蓑 衣

Strobilanthus japonicus, *Miq.*
イセノナヅ 水 蓑 衣

Rostellularia procumbens, *Nees.*
イソギンヤウ 水 蓑 衣

Dicliptera buergeriana, *Miq.*
キンネントウ 水 蓑 衣

Verbena sp.
メクシムシ 曲 節 草

VERBENACEAE 馬 鞭 草 科

Verbena officinalis, *L.*
メクシムシ 馬 鞭 草

Verbena sp.
ハナガサ 馬 鞭 草

Caryopteris mastacanthus, *Seclauer.*
シキザクラ 馬 鞭 草

Calliandra japonica, *Th.*
シムラサキ 紫 珠

<i>Lamium amplexicaule, L.</i>	ホトケノザ	元寶草
<i>Lamium album, L.</i>	オドリコサウ	續斷
<i>Teucrium japonicum, Wild.</i>	イヌチヨロキ ニガクサ	
<i>Ajuga genevensis, L.</i>	カコシンドサウ	
<i>Ajuga decumbens, Th.</i>	キクシノシウニコトク	夏枯草
<i>Ajuga humilis, Miq.</i>	シウニコトク	金瘡小草
<i>Lavandula latifolia, W.</i>	キリンサウ	
<i>Marrubium vulgare, W.</i>	ローホンキナシ ラチホリヤ	
<i>Rosmarinus officinalis, W.</i>	ペンネンロウ	迷迭香
PLUMBAGINACEAE 礮松科		
<i>Statice sp.</i>	イソペン イソナナク	石菘蓉
PLANTAGINACEAE 車前科		
<i>Plantago asiatica, L.</i>	オホシロ	車前
<i>Plantago japonica, Fr. et Sar.</i>	タウオホシロ テンセンオシロ	車前一種
<i>Plantago sp.</i>	ホシオホシロ	車前一種
<i>Plantago sp.</i>	ヒメオホシロ	車前一種
<i>Plantago sp.</i>	ヘラオホシロ	車前一種
MONOCHLAMYDEAE 一輪即單筒花類		
PHYTOIACACEAE 商陸科		
<i>Pyrolaea acinosa, Roeb.</i>	ヤマトホウ	商陸
SALSOLACEAE 藜科		
<i>Chenopodium album, L.</i>	アカザ シロザ ノアカザ	藜灰
<i>Chenopodium ambrosioides, L.</i>	アリタサウ ルウダサウ	土荊芥
<i>Kochia scoparia, Schrad.</i>	クニギキ	地膚

<i>Salsola asparagoides, Miq.</i>	イシナ	鹹逢
<i>Spinacea oleracea, L.</i>	シナナナサウ	菠稜
BASILLIACEAE 落葵科		
<i>Basella rubra, L.</i>	シメツラサキ	落葵
AMARANTHACEAE 莧科		
<i>Celosia argentea, L.</i>	ノゲイナウ	青箱
<i>Celosia cristata, L.</i>	ケイトウ	雞冠
<i>Amaranthus mangostanus, L.</i>	シゲイナウ	雁來紅
<i>Amaranthus caudatus, L.</i>	シナシナウ	老鎗穀
<i>Amaranthus melancholicus, L.</i>	コト	莧
<i>Euxolus virides, Miq.</i>	シメツ	細莧
<i>Achyranthes bidentata, Bl.</i>	イヌシメ	土手膝
<i>Gomphrena globosa, L.</i>	キノコシナ シナシナウ	千日紅
POLYGONACEAE 蓼科		
<i>Rumex aquaticus, L.</i>	マタイワウ	土大黃
<i>Rumex japonicus, Meisn.</i>	カラスノアブラ ヤマダイワウ キンギシ ノダイワウ	羊蹄
<i>Rumex acetosa, L.</i>	スイズ	酸模
<i>Rumex acetosella, L.</i>	スカンホ	酸模一種
<i>Rumex scutata, L.</i>	フランヌスイ ソオール コムスイズ	酸模一種
<i>Rheum undulatum, L.</i>	カラダワウ	大黃
<i>Polygonum aviculare, L.</i>	ニクヤナキ	篇蓄
<i>Polygonum tinctorium, Mour.</i>	アキ	藍蓄
<i>Polygonum filiforme, Th.</i>	シメツキ	金線草
<i>Polygonum posumbu, Hamill.</i>	イヌタテ	馬蓼

Polygonum cespitosum, Bl.
ホトトギタチ

Polygonum nodosum, Pers.
ヤナギタチ

Polygonum nodosum, Pers. *forma minor*.
ウシタチ
ウシタチ
シロシタチ

Polygonum persicaria, L.
ナシタチ
サナハタチ

Polygonum sp.
シシタチ
カハタチ

Polygonum blumei, Meisn.
サナハタチ

Polygonum maximowiczii, Regel.
ホシタチ

Polygonum sp.
イトタチ

Polygonum orientale, L.
オホケタチ

Polygonum bistorta, L.
イトキトラシ

Polygonum bistorta, L. var.
クリシノキノチ

Polygonum bistorta, L. var. *foliis ovalis*.
イトトラシ

Polygonum thunbergii, S. et Z.
シシタチ

Polygonum sieboldi, Meisn.
ウナギツル
ウナギツカル

Polygonum multiflorum, Th.
ツルダタチ

Polygonum cuspidatum, S. et Z.
イトドリ

Polygonum cuspidatum, S. et Z. var.
メイダツサウ

Fagopyrum esculartum, L.
ソウ

THYMELAEACEAE 瑞香科

Daphne pseudo-mezereum, A. Gray.
フニンソウ
ナツホウス

Daphne genkwa, S. et Z.
テウジザクラ
フジモドキ

Daphne sp.
シシノボク

馬 蓼 一種

馬 蓼 一種

水 蓼

紫 參 一種

拳 參

菘 草

紫 參

苦 蕎 麥

雀 翹

何 首 烏

虎 杖

虎 杖 一種

蕎 麥

菘 麥

瑞 香 科

黃 瑞 香 一種

芫 花

蕘 花 一種

Daphne odora, Th.
チンチウケ

Daphne kinsiana, Mig.
ロサウソキ

Edgeworthia papyrifera, S. et Z.
シシトキ
ムスビキ

LOBANTHACEAE 槲寄生科

Viscum album, L.
ヤドリキ
ホヤ

Viscum kampereri, D. C.
マンシ

EILAEAGNACEAE 胡頹子科

Elaeagnus umbellata, Th.
マンシ

Elaeagnus longipes, A. Gray.
ナンシロシ

Elaeagnus pungens, Th.
ナンシ

LAURACEAE 樟科

Cinnamomum loureirii, Nees.
ニクケイ

Cinnamomum pedunculatum, Nees.
ヤブニクケイ

Cinnamomum sp.
マンシニクケイ

Cinnamomum sericeum, Sieb.
カウチニクケイ

Cinnamomum camphora, F. Nees. et Eberm.
クスノキ

Cinnamomum sp.
ロンノクスノキ
ナンヂヤモンヂヤ

Machilus thunbergii, S. et Z.
イヌクス

Machilus longifolia, Bl.
アホカシ
ハリノキ
ミラキメントウ

Tetranthera japonica, Spreng.
ハハシ

Litsaea glauca, Sieb.
シロダモ

Litsaea aciculata, Bl.
マツラニクケイ
イヌガシ

Daphnidium strychnifolium, S. et Z.
テンダイウヤク

瑞 香

白 瑞 香

黄 瑞 香

槲 寄 生 科

槲 寄 生

胡 頹 子 科

木 半 夏 一種

胡 頹 子

木 半 夏

樟 科

桂

天 竺 桂

樟

樟 一種

樟

樟 一種

胡 頹 子 科

木 半 夏 一種

胡 頹 子

木 半 夏

樟 科

桂

天 竺 桂

Aperula citriodora, *Bl.*
 アオモシ
Lindera praecox, *Bl.*
 ムラダチ
 アブラチヤン
 コヤスノキ
Lindera umbellata, *Th.*
 カナタキ
Lindera sericea, *Bl.*
 クロモシ
Lindera triloba, *Bl.*
 シロモシ
 ハタウロン
Lindera obtusiloba, *Bl.*
 ダンカサシ
 ウロンシナ

馬兜鈴科
 雙葉細辛
 細辛
 杜衡

Aristolochia kaempferi, *Willd.*
 マンノスツクサ白花
Aristolochia debilis, *S. et Z.*
 マンノスツクサ
 オハグロバナ
Aristolochia sp.
 シヤガタラムトリンイ
EUPHORBIAEAE 大戟科
Euphorbia humifusa, *Willd.*
 ニシキサウ
Euphorbia lathyris, *L.*
 ホルトサウ
Euphorbia lasiocaula, *Boiss.*
 タカトウダイ
Euphorbia palustris, *L.*
 ノウルシ
Euphorbia helioscopia, *L.*
 トウダイクサ
Euphorbia sieboldiana, *Morr. et Decn.*
 ナツトウダイ
Euphorbia sp.
 ハギクサウ
Euphorbia canariensis, *W.*
 キリレカク
 馬兜鈴
 馬兜鈴
 馬兜鈴一種
 大戟科
 地錦
 續隨子
 大戟
 草薺
 澤漆
 甘遂
 龍骨木

Excoecaria japonica, *J. Muell.*
 シラキ
 コクドノカシ
Sapium sebiferum, *Roxb.*
 ナンキンナシ
 タウナシ
Ricinus communis, *L.*
 タウロト
Rottera japonica, *S. et Z.*
 アカメカシン
Acalypha pauciflora, *Horn.*
 エノキグサ
 アミガササウ
Mercurialis leiocarpa, *S. et Z.*
 ヤメアキ
Elaeocoea cordata, *Bl.*
 アズナキ
Securinega japonica, *Miq.*
 コトシズンキ
Phyllanthus urinaria, *L.*
 キンネンチヤブナ
Daphniphyllum macropodum, *Miq.*
 チヅリン
Daphniphyllum sp.
 コメチヅリン

烏臼木
 蓖麻
 楸
 山靛
 罌子桐
 楠

Poinsettia pulcherrima, *Gra.*
 セウセウホク
Xylophylla sp.
 カンキチク
BUXACEAE 黄楊科
Buxus japonica, *J. Muell.*
 クサツゲ
 ヒメツゲ
Buxus sp.
 アサマツゲ
Buxus sp.
 サンゴジツゲ
Pachysandra terminalis, *S. et Z.*
 フンキサウ
EMPETRACEAE 岩高蘭科
Empetrum nigrum, *L.*
 ガンカウラン
 ツガザクラ
CANNABINEAE 大麻科
Humulus japonicus, *S. et Z.*
 カナメシラ
Humulus cordifolius, *Miq.*
 カランナサウ
Cannabis sativa, *L.*
 アサ
 馬兜鈴
 馬兜鈴
 馬兜鈴一種
 大戟科
 地錦
 續隨子
 大戟
 草薺
 澤漆
 甘遂
 龍骨木
 黄楊木
 黄楊
 錦熟黄楊
 錦熟黄楊一種
 岩高蘭科
 大麻科
 大麻科
 大麻科
 大麻科
 大麻科

ULMACEAE 榆科

- Zelkova keaki, Sieb. ケヤキ 櫟
- Ulmus campestris, Sm. ヤギリ 榆 一種
- Ulmus sp. ヤンズニン 一種
- アツヒ ヲヒヤウ
- Ulmus parvifolia, Jacq. アキニン 椰 榆
- Celtis sinensis, Pers. エノキ 朴 樹
- Aphananthe aspera, Planch. ムクノキ 榎 樹
- Morus alba, L. クワ 桑
- Broussonetia papyrifera, Vent. カニンキ 楮
- Broussonetia kasinoki, Sieb. カニンキ 構
- Fatoua pilosa, Gaubl. タンクサ

ARTOCARPEAE 無花果科

- Ficus pyrifolia, Burm. イヌビロ 天仙果
- コイチジク
- var. B. ホンノイヌビロ 天仙果
- キツカウボク 細葉種
- Ficus sp. トキハイヌビロ 小笠原島産 天仙果 常緑品種
- Ficus macrophylla, P. S. オーストリアイヌビロ
- Ficus erecta, Th. オホイチタビ 薜荔 一種
- クヒイチタビ
- ビユツタ
- Ficus Nipponica, Fr. et Tam. イタビカヅラ 薜荔
- ヒメイチタビ
- Ficus carica, L. イチジク 無花果
- イチジク
- タウガキ
- Ficus carica, L. フランスイチジク 葉ノ缺裂 深キ者 無花果
- Ficus superba, Miq. アコウ 榕 樹
- ジンカウボク

- Ficus sp. ガシマル 榕 樹 一種

URTICACEAE 蕁麻科

- Urtica dioica, L. ホンノイラクサ 蕁 麻 細葉ノ若葉
- Urtica thunbergiana, S. et Z. イラクサ 蕁 麻
- イタ〜ズサ
- Nanoclide japonica, Bl. カレンサウ ヒンムカキヲホシ
- Laportea bulbifera, Wedd. ムカヒイラクサ 蕁 麻 一種
- Pilea petiolaris, Bl. ミクサ
- Elatostema densiflora, Fr. et Sav. トキボロコ
- Elastotema involuerata, Fr. et Sav. ウンシニサウ 赤車使者
- クチナンシヤウ
- Boehmeria nivea, Hook. et Arn. カラムシ 苧 麻
- マオ
- Boehmeria longispica, Steud. ヤンマオ 苧 麻 一種

- Boehmeria biloba, Wedd. ラセイタサウ 苧 麻 一種

PIPERACEAE 胡椒科

- Houttuynia cordata, Th. トクダシ 蕺 菜
- シウヤク
- Saururus loureiri, Decn. ハンゲセウ 三 白 草
- カタシロクサ
- Piper futo-kadsura, S. et Z. フウトウカシニ 土 萋 藤
- ウルコセウ
- Piper sp. タノエウフウトウカヅラ 小笠原島産 土 萋 藤 一種
- CHLORANTHACEAE 金粟蘭科
- Chloranthus inconspicuus, Sw. チャラン 金 粟 蘭
- Chloranthus branchystachyus, Bl. センリヤウ 草 珊 瑚
- Chloranthus serratus, Roem. フタリンシカ 及
- Chloranthus japonicus, Sieb. ヒトリシツカ 及
- マエノキサウ 已 一 種

CUPULIFERAE 殼斗科

- Quercus dentata, Th. カンク 榎
- Quercus pinnatifida, Fr. et Sav. ノコロボカンク 榎 變種
- Quercus glandulifera, Bl. コナク 枹
- Quercus serrata, Th. ノメキ 櫟
- Quercus gilva, Bl. イチキガシ 石
- Quercus glabra, Th. マチクシノイ 櫟
- Quercus phyllioides, A. Gray. イマメガシ ウメガシ 櫟
- Quercus glauca, Th. シラカンク 櫟
- Quercus sp. オホシカンク 櫟
- Quercus sp. ウラシロカシ 櫟
- Quercus sp. シラカンク 櫟

Quercus sessilifolia, Bl. 櫟 一種

Quercus cuspidata, Th. シムノキ 柯 樹

Castanea vulgaris, Lam. ナリ 栗 樹

Castanea sp. サンドグリ 茅栗 一種

Fagus sylvatica, L. フナノキ 山毛櫟

Fagus sieboldi, Enll. ソバダクシ 山毛櫟

Fagus sp. イヌブナ シロブナ 山毛櫟

CORYLACEAE 榛科

Carpinus laxiflora, Bl. イヌシクシ 榛

Carpinus sp. アカシクシ 榛

Carpinus sp. アカシクシ 榛

Carpinus sp. カナシクシ 榛

Carpinus sp. サナシクシ 榛

Corylus heterophylla, Fisch. ノシクシ 榛

Corylus sp. シラカンク 榛 一種

JUGLANDACEAE 胡桃科

Juglans sieboldiana, Mac. ホシシクシ 山胡桃

Juglans sp. タウゲルシ 胡桃

Juglans sp. テウセンダクシ 胡桃

Juglans sp. コメシクシ 陳倉胡桃

Juglans sp. テウチダクシ 胡桃 一種

Juglans sp. アメリカダクシ 胡桃 一種

Pterocarya rhoifolia, S. et Z. カンダクシ 胡桃

MYRICACEAE 楊梅科

Myrica rubra, S. et Z. ヤマハナ 楊梅

BETULACEAE 樺木科

Betula alba, L. シラカンク 樺木

Alnus sp. ホシノシクシ 赤楊

Alnus maritima, Nutt. ノシクシ 赤楊

SALICINAE 楊柳科

Salix japonica, Th. シダシクシ 柳

Salix sp. オホシダクシ 垂柳

Salix buergeriana, Mig. カシクシ 楊

Salix sp. キヤナキ 芽色黄ナリ 若北海道産 楊 一種

Salix sp. サルコヤナキ 楊 一種

Salix sp. オホサルコ 楊 一種

Salix sp. コリヤナキ 楊 一種

Salix sp. イシヤナキ 楊 一種

Populus tremula, L. ヤマナラシ 白楊

Populus sp. ハコヤナキ ヨメフリ 白楊

GYMNOSPERMAE 裸子類

CONIFERAE 松柏科

- Pinus densiflora, S. et Z. 赤松
- Pinus densiflora, Var.
 - ① シダレマツ 垂枝状
 - ② タンエフシヤウ
 - ③ アカバンタイシヤウ 地ニ枝ヲ分チ形稍圓キ者
 - ④ アホミドリマツ 洋種赤松ニニ同芽ヲ出シ其色青ニシテ一年
 - ⑤ ハウワウマツ 舶種赤松其葉ニ銀ニシテ長シ
 - ⑥ アカイチエフマツ 赤松ノ葉ニ葉合着シ一葉ノ狀ヲナス
 - ⑦ フリヅルマツ 葉真勾ル者
 - ⑧ クジヤクマツ 赤松ニシテ葉形ニ針ヲナシ粉綠色ヲ帯フル者
 - ⑨ シラガマツ 赤松ノ葉脚白班ヲナシ班狀齊整ナラズ
 - ⑩ ハゼマツ 赤松ニシテ老樹ノ皮ハ剥落スル者
 - ⑪ アカセンモウセウ シヤガタラマツ赤松ニシテ其葉刺繻形ヲナス
 - ⑫ フイリマツ 其葉縦ニ白班ヲナス者

- Pinus thunbergii, Parl., オマツ
- ⑬ ワウゴンマツ
- ⑭ センザイマツ 松卵ヲ多ク結フ者
- ⑮ サンゴノマツ 赤松ニシテ其葉三鋸ノ者
- Pinus parviflora, S. et Z.
 - ⑯ クロバシマツ 葉密ニシテ枝ヲ分チ圓形ヲナス
 - ⑰ クロイチエフマツ 黒松ノ二葉合着シテ一葉ノ狀ヲナス
 - ⑱ クロセンモウマツ 黒松ニシテ葉形細縹ヲナスモノ
 - ⑲ ジヤノメマツ 黒松ノ葉ノ中央ニ白班アル者
 - ⑳ トラフマツ 黒松ノ葉脚白班ノモノ
 - ㉑ シモフリマツ 葉ニ粉白ヲ帯フ
- Pinus parviflora, S. et Z.
 - ㉒ エフマツ 葉五鋸ニシテ短ク色粉ヲ帯フ者
- Pinus parviflora, Var.
 - ㉓ コムコエフマツ ㉒ エフマツノ變種ニシテ甚ダ短少ノ葉ヲ交フルモノ
- Pinus sp.
 - ㉔ ヒメコマツ 葉五鋸ニシテ柔カナル者

- Pinus koraiensis, S. et Z. 海松
- ナウセンマン
- カンシヤウ

- Larix leptolepis, Gord. 落葉松
- フシマツ 此材ヲ赤マカマツト云
- ニツクワウマツ
- カラマツ

- Abies polita, S. et Z.

- トガホ
- トガ
- ハリホ

- Abies firma, S. et Z.

- Abies menziesii, Lond.

- トウロ
- エンマツ
- ツハンダ

- Abies homolepis, S. et Z.

- シラネ
- シロツガ
- シロホ
- ウラジロホ

- Abies tsuga, S. et Z.

- シガ
- Abies sp.

- コマツ ガツガノ一種
- 小葉ノ者

- Abies menziesii, Lond.

- トウロ
- エンマツ
- ツハンダ 日光
- トウマツ 非海産

- Cunninghamia sinensis, R. Brn.

- カウヤウザン
- オランダモ

- Seiadopytis verticillata, S. et Z.

- カウヤウキ
- Cryptomeria japonica, Don.

- スギ

- Cryptomeria japonica, Var.

- ホンノウスギ

- Cryptomeria japonica, Var.

- ビロウスギ

- Thuyopsis dolabrata, S. et Z.

- ヒン
- アスナロ
- アスビ
- シロビ日光

- Thuyopsis sp.

- ヒメアスナロ
- Thuyopsis saururus, S. et Z.

- ネズコ
- クロビ
- ゴラウビ

- ゴラウビ

<i>Biota orientalis</i> , <i>Endl.</i>	側柏	<i>Taxus cuspidata</i> , <i>S. et Z.</i>	水松
ロンテガシハ		イチキ 一位又蘭倉	
<i>Chamaecyparis pisifera</i> , <i>S. et Z.</i>	花柏	アラハギ	
サンラ		スワウノキ 日光	
<i>Chamaecyparis obtusa</i> , <i>S. et Z.</i>	扁柏	<i>Taxus</i> sp.	
ヒノキ		キヤラホク	
①カマクラヒス		<i>Torreya nucifera</i> , <i>S. et Z.</i>	榧
②ワウコンヒス		カヤ	
③ラシヤヒス		<i>Cephalotaxus drypacea</i> , <i>S. et Z.</i>	粗榧
④クシヤクヒス		イヌガヤ	
<i>Chamaecyparis</i> sp.		ハボガヤ	
スイリウヒン		<i>Cephalotaxus drypacea</i> , <i>Var.</i>	粗榧 變種
<i>Juniperus chinensis</i> , <i>L.</i>	檜	テウセンガヤ	
①ムヤクシン	矮檜	タウガヤ	
②ハビヤクシン	檜	<i>Ginkgo biloba</i> , <i>L.</i>	公孫樹
③イブキ	柏	イテウ	銀杏 實名
<i>Juniperus rigida</i> , <i>S. et Z.</i>	杜松	ギンナンノキ	竹柏
ネス		<i>Podocarpus nageia</i> , <i>Rob.</i>	羅漢松
ムロ		ナギ	
<i>Juniperus rigida</i> , <i>Var.</i>	杜松 變種	<i>Podocarpus macrophylla</i> , <i>Don.</i>	
ヨノネス		マキ 榎	
<i>Juniperus</i> sp.	温杉	<i>Podocarpus macrophylla</i> , <i>Var.</i>	マキ 變種
ヤワラスギ		セクノハノキ	
		CYCADACEAE	蘇鐵科

鳳尾松 無種子實名
房州種 幹圓ク大キ者
琉球種 幹細長ノ品

Ephedra sp.
マワウ
目録單子葉之部 嗣出 麻 黄

芝公園神道
學舎建設出願

芝公園神道
學舎建設出願

二月八日 明治八年(紀元二五三五年) 大教院神道總代芝公園芝市內ニ神道諸宗專門學舎ノ建設ヲ出願ス。○芝公園書類。

芝公園神道學舎建設出願 大教正水野獨園權大教正田中賴庸等芝公園大教院內ニ神道諸宗專門學舎建設ヲ願出ヅ。芝公園書類明治八年二月ノ條ニ、

知事 庶務課
參事 社寺取扱
奏任出仕

教部省六等出仕鈴木魯殿

芝山内へ神道諸宗專門學舎建設之義、大教院諸衆ヨリ申立之趣ヲ以、圖面添御掛合之趣致承知候、然處増上寺本坊脇ハ別紙圖面掛ケ紙之通見込有之、岳蓮社寄之地ハ差支無之候得とも、當府ヨリ直ニ御引渡ハ難相成候條、何分其筋へ御申立相成可然哉、此段及回答候也。

二月廿三日

帝都時代ノ遊園

大教院詰神道各宗惣代之者兩名より、該院部内専門學舎取建申度、仍る地所之儀別紙之通願出候、右者御差支も無之候ハ、申立之通御渡相成度、別紙繪圖面共相添、此段及御掛合候也。

八年二月十五日

教部會六等出仕
鈴木魯

東京府知參事御中

追多別紙は御回答之節、御返却有之度候也。

八年一月十七日伺濟、神道諸宗専門學舎之儀、急速取建申度、地所之儀ハ大教院部内ニ引纏候得は、平素取縮ハ勿論、勉學筋便宜ニ付、増上寺山内靈屋裏林地之内、朱引之場所御渡相成度、尤林地道敷從前之通ニテハ不辦理ニ候間、附替申度、別紙學舎建築場所并道筋繪圖面相添相願候條、速ニ其筋へ御通達被下度候也。

明治八年二月八日

諸宗管長惣代
大教正

萩野獨園

神道管長惣代
權大教正

田中頼庸

教部大輔穴戸璣殿

淺草公園電
信局用地町
名

三月廿二日

○明治八年(紀
元二五三五年)

淺草公園電信局用地

○市内

ニ町名番號ヲ付

ス。○淺草公
園諸願伺。

淺草公園電
信局用地町
名

淺草公園電信局用地町名 淺草寺地中日音院地先電信局用地ヲ淺草北仲町ニ編入シタル也、事淺草公園諸願伺ニ見ユ。

知事

參事

奏任出仕

庶務課
地券取扱

淺草寺地中日音院地先電信局用地、是迄其町番號等組入無之處、券狀可相渡ニ付テハ不都合之旨、兼テ地券取扱方申聞候趣も有之ニ付、淺草北仲町へ合併九番地と可致哉之旨、戶長方別紙之通伺出、既ニ同局へ相渡候上ハ伺之通ニテ可然ニ付、指令案左ニ候候也。

三月廿二日

書面伺之通可取計候事。

三月

第五大區八小區淺草雷神門前右之方淺草寺地中日音院地先五間ニ四間之場所明治四辛未年十二月申電信局御用地ニ相成、翌壬申年十一月分方聞小間三間三步三厘四毛相立、月々區入費割合出金ニ御座候、然ル處右地所之儀ハ電信局而已飛地ニ相成、爾今町銘唱方無之、御建築以來從前之姿ニ有之候處、今般右地所番號無之候多は御不都合之趣、地券御取扱ニ被仰聞候、依之淺草北仲町へ合併、同町九番地下可仕哉、右者淺草寺地中十二ヶ院境内之内ニ一且町銘御取消之場所ニ付、此段相伺候也。

明治八年三月

右區戶長
柏木燾太郎

〔附記一〕 上野公園馬繫所

帝都時代ノ遊園

附記、一
上野公園
馬繫所